NTT docomo

# Galaxy S23
# Galaxy S23 Ultra

取扱説明書

SC-51D ／ SC-52D

# はじめに

**「SC-51D」／「SC-52D」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。**
**ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。**

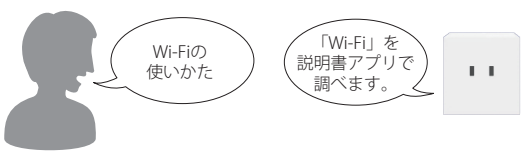
## 取扱説明書について

■**「クイックスタートガイド」（本体付属品）**
各部の名称と機能について説明しています。

■**「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）（本端末のアプリ）**
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
フリーワード検索や表示中のページから設定画面やアプリを直接起動できるなど、本端末をより便利にお使いになれます。




【ご利用方法】
- ホーム画面で ⊞ →「ツール」→「取扱説明書」
- 初めてご利用になる際には、画面の指示に従って本アプリのダウンロードとインストールをする必要があります。
- 「my daiz」から「取扱説明書」（eトリセツ）アプリを呼び出すこともできます。




■**「取扱説明書」（PDFファイル）**
機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロードできます。

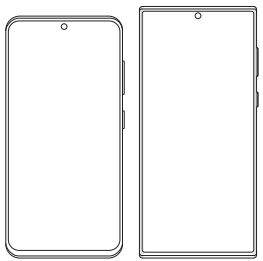
**お知らせ**

- 本書においては、「SC-51D」／「SC-52D」を「本端末」と表記しています。
- 本書は、お買い上げ時の内容を記載しています。
- 本端末は、品質改善や機能の追加のため、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。その際、操作方法が変更になったりすることがありますので、機能の追加や操作方法の変更などに関する情報は、ドコモのホームページをご覧ください。また、古いOSバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- お客様のご契約内容により、ドコモへのお問い合わせ先が異なります。お問い合わせ先について詳しくは、裏表紙をご覧ください。
- 本書では SC-52Dの「Green」カラーの表示を例に説明しています。一部の手順や図や仕様は、「SC-51D」／「SC-52D」の記載を分けて説明しています。またホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合で説明しています。
- 本書は特に記載のある場合を除き、nanoSIMカードを取り付けた状態の画面表示・操作方法を説明しています。
- 本書の内容やホームページのURLに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

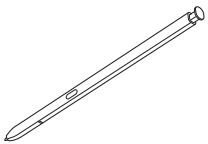
# 本体付属品

## 本体付属品

■ SC-51D本体 ／ SC-52D本体



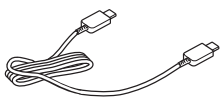
■ Sペン SC07（SC-52Dのみ）



■ SIM取り出しツール（試供品）



■ USBケーブル（C to C）（試供品）



■ クイックスタートガイド

■ データ移行用試供品取扱説明書

本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのオンラインショップでも確認、購入いただけます。
https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

# 目次


## 本体付属品

本体付属品 …… 1

## 注意事項

本端末のご利用について …… 4
おすすめ機能 …… 5
安全上のご注意（必ずお守りください） …… 5
取り扱い上のご注意 …… 14
防水／防塵性能 …… 18

## ご使用前の準備

各部の名称と機能（SC-51D） …… 20
各部の名称と機能（SC-52D） …… 21
nanoSIMカード …… 22
充電 …… 27
電源を入れる／切る …… 29
初期設定 …… 30
本端末で利用する暗証番号について …… 31

## 基本操作

基本操作 …… 33
便利な機能 …… 35
文字入力 …… 39
画面表示とアイコン …… 42
最近使用したアプリの一覧 …… 44
分割画面表示を利用する …… 45
スグアプ …… 46

## ホーム画面

ホームアプリの切り替えかた …… 47
docomo LIVE UX …… 47
One UIホーム …… 52
アプリ画面 …… 53
アプリ一覧 …… 54
エッジパネル …… 57

## 電話／電話帳

電話をかける …… 58
電話を受ける …… 60
通話中の操作 …… 61
通話履歴 …… 62
伝言メモ …… 63
国際電話（WORLD CALL）を利用する …… 64
通話設定 …… 64
電話帳 …… 67

## メール／ウェブブラウザ

ドコモメール …… 70
＋メッセージ …… 70
Eメール …… 74
Gmail …… 75
緊急速報「エリアメール」 …… 76
ウェブブラウザ …… 77

## カメラ／ギャラリー

カメラ …… 78
ギャラリー …… 85

## アプリ

dメニュー …… 87
Playストア …… 87
Galaxy Store …… 88
おサイフケータイ …… 88
iDアプリ …… 90
GPS／ナビ …… 91
時計 …… 92
カレンダー …… 93
Samsung Notes …… 93
ボイスレコーダー …… 95
電卓 …… 95
ドコモデータコピー …… 96

## 本体設定

設定メニュー …… 97
接続 …… 98
接続デバイス …… 103
モードとルーチン …… 104
サウンドとバイブ …… 104
通知 …… 106
ディスプレイ …… 106
壁紙とスタイル …… 107
テーマ …… 108
ロック画面 …… 108
セキュリティおよびプライバシー …… 109
安全および緊急 …… 113
アカウントとバックアップ …… 114
ドコモのサービス／クラウド …… 115
Google™ …… 115
デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロール …… 116
バッテリーとデバイスケア …… 116
アプリ …… 118
一般管理 …… 118
ユーザー補助 …… 119
ソフトウェア更新 …… 121

ヒント……122
端末情報……122
**ファイル管理**
ストレージ構成……123
ファイル操作……123
**データ通信**
Bluetooth®通信……125
NFC通信……126
**外部機器接続**
パソコンとの接続……127
プリンターとの接続……128
その他の機器との接続……129
**海外利用**
国際ローミング（WORLD WING）の概要……130
海外で利用可能なサービス……130
海外でご利用になる前に……131
滞在先で電話をかける／受ける……132
国際ローミングの設定……134
帰国後の確認……135
**付録**
トラブルシューティング（FAQ）……136
ソフトウェアアップデート……140
保証とアフターサービス……141
主な仕様（SC-51D）……142
主な仕様（SC-52D）……143
携帯電話機の電波防護への適合性について（SC-51D）……144
携帯電話機の電波防護への適合性について（SC-52D）……148
輸出管理規制……152
知的財産権……152
**索引**
索引……154

# 注意事項

## 本端末のご利用について

- 本端末は、5G・LTE・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しているSIMロックが設定されていない端末です。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない場所、屋外でも電波の弱い場所、5Gサービスエリアおよび LTE サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、5G・LTE・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い場所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- nanoSIMカードとeSIMの同時利用については、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、定期的にメモを取ったり、パソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ご利用になるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されたりする可能性があります。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 初期設定にて、ドコモが提供するアプリが自動的にインストールされる場合があります。その際、モバイルネットワークをご利用の場合にはパケット通信料が発生する可能性があります。アプリはお客様から事前に同意をいただき当社に提供いただいたお客様の情報及びその他の当社が保有しているお客様の情報を用いてお客様のニーズを推測し自動的に選定されます。お客様の情報の取り扱いについては当社プライバシーポリシーに定める通り適正に管理します。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 紛失に備え画面ロックのパスワードなどを設定し、本端末のセキュリティを確保してください（P.109）。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやSNSなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Google LLC が提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因するすべての不具合について、当社としては一切の責任を負いかねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- ご利用の料金など詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本端末は有機ELディスプレイを使用しています。長時間同じ画像を表示させるとディスプレイに残像が発生することがありますが故障ではありません。残像発生防止のため、長時間同じ画像を表示し続けないようにしてください。
- ディスプレイの明るさを必要以上に明るい設定にしたり、極端に長く使用したりすると部分的に明るさが落ちたり、色が変化する場合があります。また、見る方向によって色や明るさのむら、色の変化が見える場合があります。これらは、有機ELディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

## おすすめ機能

| | |
|---|---|
| Sペン（SC-52Dのみ） | Sペンを使って図や文字などを描いたり、多様な機能を簡単に実行したりすることができます。<br>→P.36 |
| モードとルーチン | よく行う操作を、条件を指定してルーチンとして自動的に行うように設定できます。→P.104 |
| プロモード | 静止画や動画撮影でプロ向けの細かい設定をして撮影出来たり、プロ向けカメラアプリを利用して撮影出来たりします。→P.81 |
| eSIM | 本端末はeSIMに対応しております。eSIMの設定はSIMマネージャーで行います。→P.26 |

**お知らせ**

- おすすめ機能の詳細は、本端末に搭載の「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）の表紙から「おすすめ機能」をタップすると確認できます。

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

**■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。**

**■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。**

**■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

| | |
|---|---|
| ⚠ 危険 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
| ⚠ 警告 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷（※1）を負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠ 注意 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷（※2）を負う可能性が想定される場合および物的損害（※3）の発生が想定される」内容です。 |

※1　重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2　軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3　物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

| | |
|---|---|
|  | 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。 |
|  | 分解してはいけないことを示す記号です。 |
|  | 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。 |
|  | 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。 |
|  | 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。 |
|  | 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。 |

## 1.本端末、アダプタ、ワイヤレスチャージャー、nanoSIMカード、Sペン（SC-52Dのみ）の取り扱いについて（共通）

### ⚠ 危険




**高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。




**電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。




**砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P.18「防水／防塵性能」




**水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。**
**また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P.18「防水／防塵性能」




**本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。**
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
・ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
・上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
・ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける
・電車やバスなどの座席シートに挟み込む




**本端末の内蔵電池を取り外そうとしないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **本端末の背面カバーは取り外せません。取り外そうとしないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

分解禁止 **分解、改造をしないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水濡れ禁止 **水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→ P.18「防水／防塵性能」

水濡れ禁止 **充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→ P.18「防水／防塵性能」

指示 **オプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
指定以外のものや、製造・販売元・仕様が不明確なものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

## ⚠ 警告

禁止 **落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。**
火災、やけどなどの原因となります。

禁止 **ワイヤレスチャージャーや本端末に金属製のもの（金属を含む材質のシールなど）を貼り付けないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **ワイヤレスチャージャーと本端末の間に、金属製のもの（金属を含む材質のストラップやクリップなど）を置かないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **ワイヤレスチャージャーで充電する場合は、本端末に装着しているカバーなどは取り外してください。**
カバーの材質や厚み、本端末とカバーの間に挟まったゴミなどの異物によって、正常に充電ができず、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。**
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示 **所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。**
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

指示 **ガソリンスタンド構内などでの使用については、各施設の指示に従ってください。**
ガソリンスタンド構内などでは充電をしないでください。
また、ガソリンスタンド構内などでご使用になる際は落下などに注意し、特に給油中は使用しないでください。
可燃性ガスなどへの引火により、爆発や火災などの原因となります。

指示 **使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は安全に注意し、次の作業を行ってください。**
・電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く。
・本端末の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

## ⚠ 注意

禁止 **破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。**
落下して、けがなどの原因となります。

禁止 **湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→ P.18「防水／防塵性能」

禁止 **子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。**
誤飲、けが、感電などの原因となります。

禁止 **乳幼児やペットが届く場所に置かないでください。**
**nanoSIMカードトレイやSIM取り出しツールなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。**
誤飲、けが、感電などの原因となります。

指示 **本端末を継続して使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、衣類のポケットに入れたり、眠ってしまうなどして、意図せず継続して触れることがないようご注意ください。**
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、継続しての使用や充電中は、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接継続して触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となりますので、衣類のポケットに入れたり就寝時などはご注意ください。

### 2.本端末の取り扱いについて

## ⚠ 危険

禁止 **火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **本端末内部の物質が目や口などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

## ⚠ 警告

禁止 **フラッシュ／ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。**
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止 **自動車などの運転者に向けてフラッシュ／ライトを点灯、発光しないでください。**
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

禁止 **点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。**
けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止 **本端末内のnanoSIMカードトレイの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片（カッターの刃やホチキスの針など）、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**
**また、nanoSIMカードの挿入場所や向きを間違えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。**
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。**
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示 **病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。**
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。**
**また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。**
ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

指示 **心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。**
突然の着信バイブレータ（振動）や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **ディスプレイ部や背面カバー、カメラのレンズなどのガラスを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。**
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示 **内蔵電池内部の物質が漏れたり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

指示 **ペットなどが本端末に噛みつかないようご注意ください。**
内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

## ⚠ 注意

禁止 **モーションセンサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。**
けがなどの事故の原因となります。

禁止 **ディスプレイを破損し、内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。**
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止 **一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。
不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止 **内蔵電池内部の物質が漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。**
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質が目や口などに入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口などに入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

指示 **nanoSIMカードの取り外しの際は、指などの身体の一部を傷つけないよう、SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端にご注意ください。**
SIM取り出しツールまたはペーパークリップの先端に触れると、けがなどの原因となります。

指示 **自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示 **本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
→ P.12「材質一覧」

指示 **本端末の受話口／スピーカー部、リアカメラ部、スピーカー部、フロントカメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。**
付着物により、けがなどの原因となります。

指示 **ディスプレイを見る際は、十分に明るい場所で、ある程度の距離をとってください。**
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

## 3.アダプタ、ワイヤレスチャージャーの取り扱いについて

### ⚠ 警告

禁止
**アダプタやワイヤレスチャージャーのコードが傷んだら使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止
**DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止
**雷が鳴り出したら、アダプタやワイヤレスチャージャーには触れないでください。**
感電などの原因となります。

禁止
**コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止
**アダプタやワイヤレスチャージャーのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止
**コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止
**ACアダプタに変圧器（海外旅行用のトラベルコンバーターなど）を使用しないでください。**
発火、発熱、感電などの原因となります。

禁止
**本端末にアダプタを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止
**水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れたものをワイヤレスチャージャーで充電しないでください。**
**また、風呂場や加湿器のそばなどの水に触れる場所では、充電しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止
**濡れた手でアダプタのコードや充電端子、電源プラグ、ワイヤレスチャージャーに触れないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示
**指定の電源、電圧で使用してください。**
**また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。**
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示
**DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。**
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。
指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示
**電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示
**アダプタをコンセントやアクセサリーソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。**
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示
**電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜く場合は、アダプタのコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。**
アダプタのコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示
**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、ワイヤレスチャージャーのご使用にあたって医師とよく相談してください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示
**本端末にアダプタを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。**
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示
**充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。**
**また、変形を元に戻しての使用もやめてください。**
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。




**使用しない場合は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。**
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。




**水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が付着した場合は、直ちに電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いてください。**
付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。




**お手入れの際は、電源プラグをコンセントやアクセサリーソケットから抜いて行ってください。**
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

### ⚠ 注意




**コンセントやアクセサリーソケットにつないだ状態でアダプタに継続して触れないでください。**
やけどなどの原因となります。

## 4.nanoSIMカードの取り扱いについて

### ⚠ 注意




**nanoSIMカードを取り扱う際は指などの身体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。**
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

## 5.Sペンの取り扱いについて（SC-52Dのみ）

### ⚠ 危険




**火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

### ⚠ 警告




**Sペンを人に向けないでください。**
けがや失明などの原因となります。

### ⚠ 注意




**Sペンを本端末に取り付けているときに、Sペンを持って本端末を振り回さないでください。**
けがなどの事故の原因となります。

## 6.医用電気機器近くでの取り扱いについて

### ⚠ 警告




**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。




**自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器をご使用になる場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。




**身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。**
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。




**医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

## 7.材質一覧

■ SC-51D

| 使用箇所 | | 使用材質 | 表面処理 |
|---|---|---|---|
| サイドキー、音量 UP キー、音量 DOWN キー | | アルミニウム | 陽極酸化 |
| ディスプレイ（タッチスクリーン） | | ガラス | AF コーティング |
| USB Type-C 接続端子 | | コルソン合金 | パラジウム - ニッケルメッキ |
| USB Type-C 接続端子周辺部 | | LCP | — |
| スピーカー | | アルミニウム | 陽極酸化 |
| 外装ケース（側面、上部、下部） | | アルミニウム | 陽極酸化 |
| nanoSIM カードトレイ | | PC | — |
| nanoSIM カードトレイ（側面） | | アルミニウム | 陽極酸化 |
| nanoSIM カードトレイ（パッキン） | | シリコン | — |
| リアカメラウィンドウ | | ガラス | AF コーティング |
| リアカメラ周辺部 | | アルミニウム | 陽極酸化 |
| フラッシュ／ライト | | ガラス | AF コーティング |
| 背面カバー | | ガラス | AF コーティング |
| SIM 取り出しツール | | SUS304 | バレル研磨 |
| USB ケーブル（C to C） | | | |
| | 接続プラグ（金属部） | SUS304 | 陽極酸化 |
| | 接続プラグ（樹脂部） | PC | — |
| | ケーブル | TPE | — |

■ SC-52D

| 使用箇所 | | 使用材質 | 表面処理 |
|---|---|---|---|
| サイドキー、音量 UP キー、音量 DOWN キー | | アルミニウム | 陽極酸化 |
| ディスプレイ（タッチスクリーン） | | ガラス | AF コーティング |
| USB Type-C 接続端子 | | コルソン合金 | パラジウム - ニッケルメッキ |
| USB Type-C 接続端子周辺部 | | LCP | — |
| スピーカー | | アルミニウム | 陽極酸化 |
| 外装ケース（側面、上部、下部） | | アルミニウム | 陽極酸化 |
| nanoSIM カードトレイ | | PC | — |
| nanoSIM カードトレイ（側面） | | アルミニウム | 陽極酸化 |
| nanoSIM カードトレイ（パッキン） | | シリコン | — |
| リアカメラウィンドウ、レンジ AF センサーウィンドウ | | ガラス | AF コーティング |
| リアカメラ周辺部、レンジ AF センサー周辺部 | | アルミニウム | 陽極酸化 |
| フラッシュ／ライト | | ガラス | AF コーティング |
| 背面カバー | | ガラス | AF コーティング |
| S ペン SC07 | | | |
| | 本体 | PC | 塗装 |
| | ボタン | アルミニウム | 陽極酸化 |
| | ノック部 | アルミニウム | 陽極酸化 |
| | ペン先 | エラストマー | — |
| SIM 取り出しツール | | SUS304 | バレル研磨 |
| USB ケーブル（C to C） | | | |
| | 接続プラグ（金属部） | SUS304 | 陽極酸化 |
| | 接続プラグ（樹脂部） | PC | — |
| | ケーブル | TPE | — |

## 8.試供品（SIM取り出しツール）の取り扱いについて

### ⚠ 危険

禁止 **高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

### ⚠ 警告

禁止 **落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **SIM取り出しツールの先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。**
けがや失明などの原因となります。

### ⚠ 注意

禁止 **湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。**
誤飲、けが、感電などの原因となります。

禁止 **乳幼児やペットが届く場所に置かないでください。**
**SIM取り出しツールなどの小さい部品の保管場所には特にご注意ください。**
誤飲、けが、感電などの原因となります。

禁止 **ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。**
落下して、けがなどの原因となります。

指示 **本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質については以下をご参照ください。
→ P.12「材質一覧」

# 取り扱い上のご注意

## 共通のお願い

■ **本端末は防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物を入れたり、付属品、オプション品にこれらを付着させたりしないでください。**
アダプタ、ワイヤレスチャージャー、nanoSIMカードは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所や雨などがかかる場所でのご使用はおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「保証とアフターサービス」（P.141）をご確認ください。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。**
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末に無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。

■ **オプション品は、NTT ドコモが指定したものを使用してください。**
指定以外のものを使用すると、故障、破損の原因となります。

■ **対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

■ **落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

## 本端末についてのお願い

■ **ディスプレイを強く押したり、先の尖ったもので操作したりしないでください。**
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は0℃～ 35℃、湿度は0% ～ 95%の範囲でご使用ください。

■ **家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）をお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ **お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。**
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ **通常はnanoSIMカードトレイを閉じた状態でご使用ください。**
水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。

■ **指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。**
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。

■ **磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。

■ **本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。**
近接センサーを使用する各種機能が動作しない、ワイヤレスチャージャーで充電できないなど、正常に動作しない場合があります。
近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
→「各部の名称と機能」（P.20）

■ **内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。**
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」（P.141）をご確認ください。

■ **充電は、適正な周囲温度（0℃～ 35℃）の場所で行ってください。**

■ 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

■ 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管

なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

| 表示 | 電池の種類 |
|---|---|
| Li-ion 00 | リチウムイオン電池 |

## アダプタ、ワイヤレスチャージャーについてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（0℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 家庭用電子機器（テレビ・ラジオなど）の近く

■ 充電中にアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

■ 毛布などを被せた状態でワイヤレスチャージャーを使用しないでください。

■ 指定の機器や専用ACアダプタ以外は、ワイヤレスチャージャーに使用しないでください。

■ 本端末にアダプタやUSB接続ケーブルを接続している状態でワイヤレスチャージャーに置かないでください。

■ 磁気カードや磁気を帯びたものをワイヤレスチャージャーに近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、交通系ICカードなどのデータが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤動作の原因となります。

## nanoSIMカードについてのお願い

■ nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用いただけない場合があります。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録されたデータは、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったnanoSIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

## Sペンについてのお願い（SC-52Dのみ）

■ ディスプレイの表面に貼り付ける保護フィルムの材質によっては、誤動作の原因となる可能性があります。

■ Sペンに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、Sペンの故障、破損の原因となります。

■ 極端な高温、低温は避けてください。
温度は0℃～35℃、湿度は0%～95%の範囲でご使用ください。

■ 擦り切れたペン先は使用しないでください。
故障の原因となります。

■ Sペンの先が欠けていたり、削られている場合は使用しないでください。
ディスプレイの破損、誤動作の原因となります。

■ 指定のSペンまたはタッチペン以外を使用しないでください。
ディスプレイの破損、誤動作の原因となります。

■ **Sペンは他の機器には使用しないでください。**
Sペンまたは機器の故障、破損の原因となります。

■ **電池の種類は次のとおりです。**
LT0

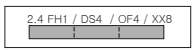
■ **磁気カード、スピーカー、テレビ、磁石があるアクセサリなどの磁気を帯びたものをSペンに近づけないでください。**
Sペンの故障や、誤作動の原因となります。

## Bluetooth機能を利用する場合のお願い

■ **本端末（Sペン SC07を含む）は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。**

■ **Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

- **周波数帯について**
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が利用する周波数帯は次のとおりです。




| | |
|---|---|
| 2.4 | ：2400MHz帯を利用する無線設備を表します。 |
| FH/DS/OF/XX | ：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDM、その他の方式であることを示します。 |
| 1 | ：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。 |
| 4 | ：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。 |
| 8 | ：想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。 |
| | ：2400MHz ～ 2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。 |

利用可能なチャネルは国により異なります。
航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- **Bluetooth機器使用上の注意事項**
本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

## 無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。**

■ **無線LAN機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

- **無線LANについて**
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。
  - WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては利用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

- **2.4GHz機器使用上の注意事項**
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

- **5GHz ／ 6GHz機器使用上の注意事項**
本端末は、5GHzの周波数帯において、5.2GHz帯（W52）、5.3GHz帯（W53）、5.6GHz帯（W56）の3種類の帯域を利用できます。
  - 5.2GHz帯（W52 ／ 36、40、44、48ch）
  - 5.3GHz帯（W53 ／ 52、56、60、64ch）
  - 5.6GHz帯（W56 ／ 100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140、144ch）

5.2 ／ 5.3 ／ 6GHz帯無線LANの屋外利用は法律で禁止されています（5.2GHz帯高出力データ通信システムのアクセスポイント／中継局と通信する場合を除く）。

## FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについてのお願い

■ **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。**

■ **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。**
**また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

■ **航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。**
**その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。**

## 試供品（SIM取り出しツール）についてのお願い

■ **無理な力がかからないように使用してください。**
故障、破損の原因となります。

■ **SIM取り出しツールを、nanoSIMカードトレイイジェクトホール以外の穴などに挿入しないでください。**
故障、破損の原因となります。

■ **廃棄の際は、それぞれの地域ルールに従って分別廃棄を行ってください。**

■ **SIM取り出しツールは他の携帯端末には使用しないでください。**
携帯端末の故障、破損の原因となります。

## 注意

■ **改造された本端末（Sペン SC07を含む）は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。**
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク 〒」が本端末の電子銘板に表示されております。
電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面で⊞→「設定」→「端末情報」→「認証情報」

Sペンは電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク 〒」を下記に記載いたします。




本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。**
法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ **本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。**
**海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。**

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

## 防水／防塵性能

**本端末（Sペン SC07を含む）は、nanoSIMカードトレイを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX8※2の防水性能、IP6X※3の防塵性能を有しています。**

※1　IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、通信機器としての機能を有することを意味します。

※2　IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの所に携帯電話を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに通信機器としての機能を有することを意味します。

※3　IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

### 本端末が有する防水性能でできること

**■1時間の雨量が20mm程度の雨の中で、傘をささずに通話ができます。**

**■常温の水道水で手洗いすることができます。**

- 規定（P.18）以上の長い時間水中に沈めたりしないでください。
- ブラシやスポンジ、石鹸、洗剤などは使用しないでください。
- 泥や土が付着した場合は洗面器などに溜めた水道水の中で数回ゆすって汚れを落とし、流水で洗い流してください。
- 洗った後は所定の方法（P.19）で水抜きしてください。
- 強くこすらずに洗ってください。

### 防水／防塵性能を維持するために

**■水の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。**

- 常温の水道水以外（プールの水や海水含む）の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、USB Type-C接続端子などを先の尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- nanoSIMカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が入る原因となります。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は、ドコモ指定の故障取扱拠点で有料にて承ります。

## ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉




**また、次の注意事項を守って正しくお使いください。**

- 試供品は防水性能を有しておりません。
- 規定（P.18）以上の長い時間水中に沈めたりしないでください。本端末はIPX8の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水などがかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。きれいな水で洗った後柔らかく清潔な布で拭いて、完全に乾かした後使用することで防水性能を維持できます。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で使用したり、水面に叩きつけたりしないでください。タッチなど一部機能が動作しない場合があります。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- 送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカーなどに水滴を残さないでください。通話不良となるおそれがあります。
- nanoSIMカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。対処については、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。
- 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、nanoSIMカードトレイの取り付け／取り外しはしないでください。
- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたりしないでください。
- 防水／防塵性能は永続的に維持されるものではなく、使用期間や使用環境による自然劣化により、性能が低下する場合がございます。

実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

## 水抜きについて

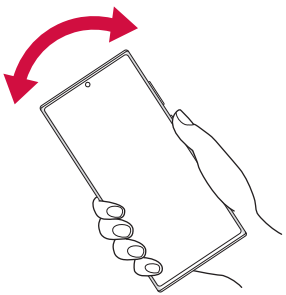
本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。
ディスプレイに付いた水を強く拭かないようにしてください。

■ 本端末の水抜きについて

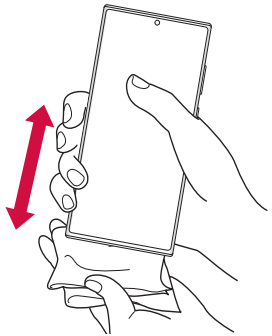
① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



③ 送話口／マイク、受話口／スピーカー、スピーカー、排気口などの穴、USB Type-C接続端子、キー、Sペンスロットなどの隙間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて確実に拭き取ってください。



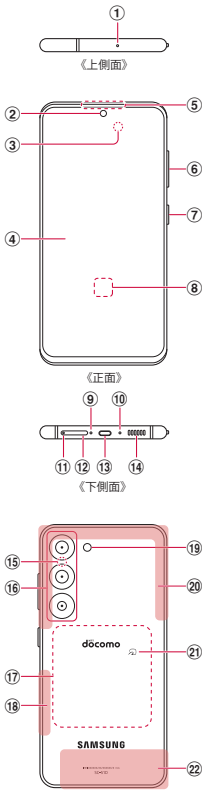
④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
- 水を拭き取った後に本端末内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 隙間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

## 充電のときには

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。
- 本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 本端末が濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を十分に拭き取り自然乾燥させてから、USB Type-C接続端子に接続してください。
- ACアダプタは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。

# ご使用前の準備

## 各部の名称と機能（SC-51D）



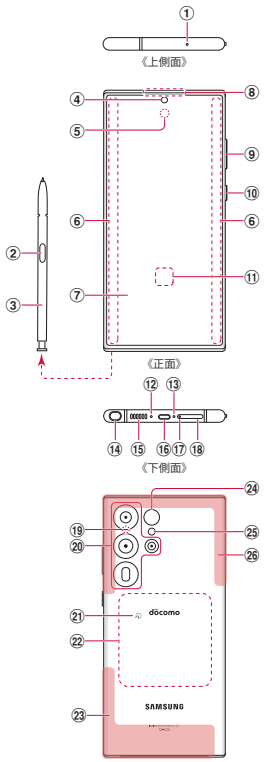

① **送話口／マイク（上部）**※1
② **フロントカメラ（P.78）**
③ **近接・照度センサー**※2**：**通話中に顔の接近を検知して誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
④ **ディスプレイ（タッチスクリーン）（P.33）**
⑤ **受話口／スピーカー**※3
⑥ **音量UPキー／音量DOWNキー：**各種音量の調節やカメラ撮影、マナーモードの設定などに使用します。
⑦ **サイドキー（P.29）：**電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使用します。
電源が切れている状態で長押しすると電源が入ります。電源が入っている状態で長押しすると、メニューが表示され、電源OFF、再起動、緊急通報、サイドキー設定の操作ができます。
⑧ **指紋センサー（P.111）**
⑨ **送話口／マイク（下部）**※1
⑩ **排気口**
⑪ **nanoSIM カードトレイイジェクトホール**
⑫ **nanoSIM カードトレイ（P.22）**
⑬ **USB Type-C接続端子：**充電時やイヤホンの接続時などに使用します。USB Power Delivery に対応しています。
⑭ **スピーカー**※3
⑮ **マイク（背面）**※1
⑯ **リアカメラ（P.78）**
⑰ **ワイヤレス充電位置：**ワイヤレス充電を行うときは、こちらの位置を合わせてください。
⑱ **5Gアンテナ**※4
⑲ **フラッシュ／ライト**
⑳ **5G／LTE／GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ**※4
㉑ **マーク（P.89）**
㉒ **5G／LTEアンテナ**※4

※1　指などでふさがないようご注意ください。本端末が正常に動作しないことがあります。
※2　センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。
※3　音楽再生などでスピーカーを使用する際は、耳のそばに近づけないように注意してください。
※4　本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

**お知らせ**

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。
- カメラのレンズを直射日光などの強い光にあてないようにしてください。強い光にあてると、カメラのイメージセンサーの故障の原因となります。イメージセンサーの故障は回復できず、撮影した写真にドットなどが発生する場合があります。
- 排気口周辺を保護フィルムやシールなどで覆うと、通話中や動画再生中にノイズが発生する場合があります。

## 各部の名称と機能（SC-52D）




① **送話口／マイク（上部）**※1
② **ペンボタン**
③ **Sペン**
④ **フロントカメラ（P.78）**
⑤ **近接・照度センサー**※2**：**通話中に顔の接近を検知して誤動作を防止したり、画面の明るさの自動制御に使用したりします。
⑥ **エッジスクリーン**
⑦ **ディスプレイ（タッチスクリーン）（P.33）**
⑧ **受話口／スピーカー**※3
⑨ **音量UPキー／音量DOWNキー：**各種音量の調節やカメラ撮影、マナーモードの設定などに使用します。
⑩ **サイドキー（P.29）：**電源を入れる／切るときや、画面を点灯／消灯するときに使用します。
電源が切れている状態で長押しすると電源が入ります。電源が入っている状態で長押しすると、メニューが表示され、電源OFF、再起動、緊急通報、サイドキー設定の操作ができます。
⑪ **指紋センサー（P.111）**
⑫ **排気口**
⑬ **送話口／マイク（下部）**※1
⑭ **Sペンスロット**
⑮ **スピーカー**※3
⑯ **USB Type-C接続端子：**充電時やイヤホンの接続時などに使用します。USB Power Delivery に対応しています。
⑰ **nanoSIMカードトレイイジェクトホール**
⑱ **nanoSIMカードトレイ（P.22）**
⑲ **マイク（背面）**※1
⑳ **リアカメラ（P.78）**
㉑ **マーク（P.89）**
㉒ **ワイヤレス充電位置：**ワイヤレス充電を行うときは、こちらの位置を合わせてください。
㉓ **5G／LTEアンテナ**※4
㉔ **レンジAFセンサー**
㉕ **フラッシュ／ライト**
㉖ **5G／LTE／GPS／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ**※4

※1　指などでふさがないようご注意ください。本端末が正常に動作しないことがあります。
※2　センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。センサーが正常に動作しないことがあります。
※3　音楽再生などでスピーカーを使用する際は、耳のそばに近づけないように注意してください。
※4　本体に内蔵されています。手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

**お知らせ**

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。
- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。
- カメラのレンズを直射日光などの強い光にあてないようにしてください。強い光にあてると、カメラのイメージセンサーの故障の原因となります。イメージセンサーの故障は回復できず、撮影した写真にドットなどが発生する場合があります。
- ディスプレイ曲面部分の色は、見る角度によって変わる場合があります。
- 排気口周辺を保護フィルムやシールなどで覆うと、通話中や動画再生中にノイズが発生する場合があります。

## nanoSIMカード

**nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。**

- 本端末では、nanoSIMカードのみご利用できます。ドコモminiUIMカード、ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- nanoSIMカードが取り付けられていないと、本端末で電話の発着信やSMSの送受信、パケット通信などの機能が利用できません。
- 日本国内では、nanoSIMカードを取り付けないと緊急通報番号（110番、119番、118番）に発信できません。
- nanoSIMカードについて詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

### nanoSIMカードの暗証番号について

nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号が設定されています（P.31）。

## nanoSIMカードの取り付け／取り外し（SC-51D）

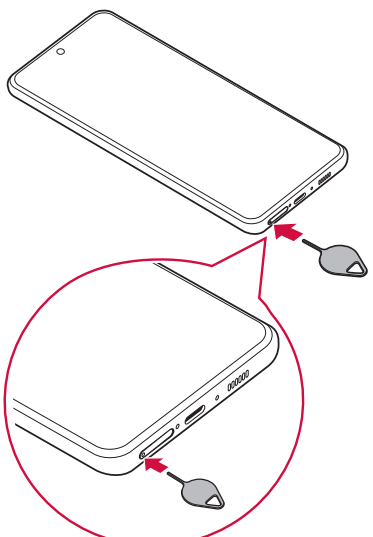
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出しツール（試供品）が必要です。
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、なるべく電源を切ってから行ってください。

### nanoSIMカードを取り付ける

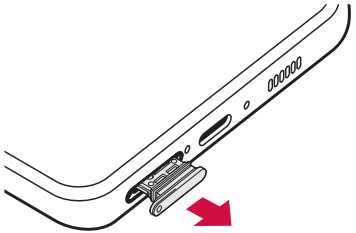
**1 SIM取り出しツールの先端をnanoSIMカードトレイイジェクトホールに水平に差し込む**

nanoSIMカードトレイが少し出てきます。

- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

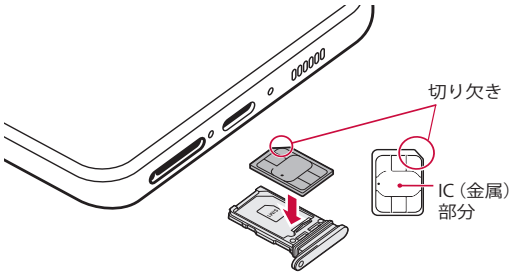


**2** nanoSIMカードトレイをまっすぐ引き出す



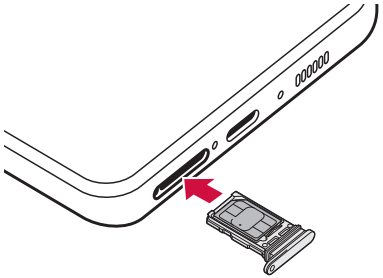
**3** nanoSIMカードのIC面を上にして、nanoSIMカードトレイにはめ込む

- nanoSIMカードをnanoSIMカードトレイにしっかり取り付けてください。




**4** nanoSIMカードトレイを本端末に差し込む

- nanoSIMカードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとnanoSIMカードトレイが破損するおそれがあります。



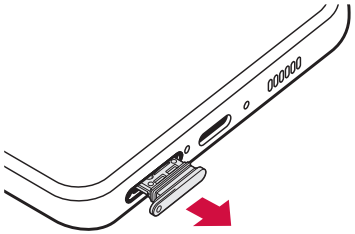
## nanoSIMカードを取り外す

**1** SIM取り出しツールの先端をnanoSIMカードトレイイジェクトホールに水平に差し込む（P.22）

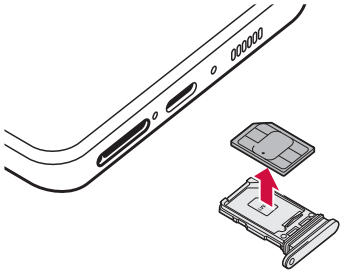
nanoSIMカードトレイが少し出てきます。

- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

**2** nanoSIMカードトレイをまっすぐ引き出す

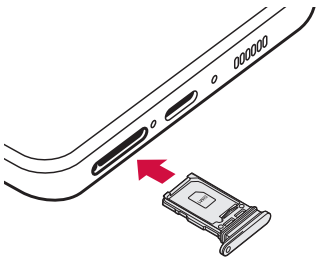


**3** nanoSIMカードをnanoSIMカードトレイから取り外す



**4** nanoSIMカードトレイを本端末に差し込む

- nanoSIMカードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとnanoSIMカードトレイが破損するおそれがあります。



**お知らせ**

- nanoSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- nanoSIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、nanoSIMカードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したnanoSIMカードはなくさないようご注意ください。
- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。

ペーパークリップの例



## nanoSIMカードの取り付け／取り外し（SC-52D）

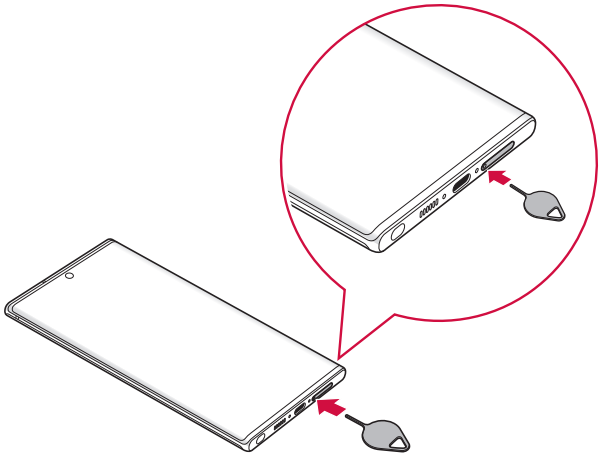
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、付属のSIM取り出しツール（試供品）が必要です。
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、なるべく電源を切ってから行ってください。

### nanoSIMカードを取り付ける

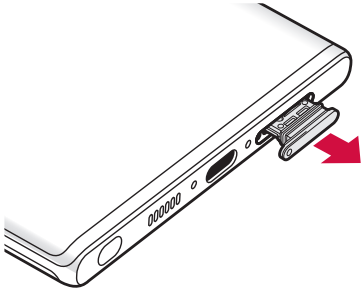
**1** SIM取り出しツールの先端をnanoSIMカードトレイイジェクトホールに水平に差し込む

nanoSIMカードトレイが少し出てきます。

- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

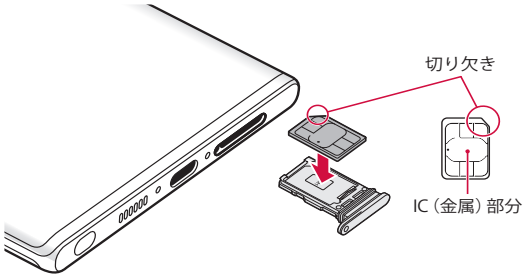


**2** nanoSIMカードトレイをまっすぐ引き出す



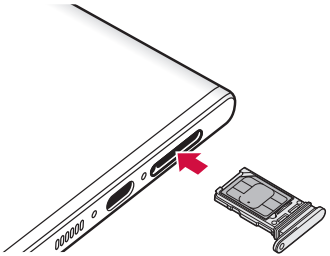
**3** nanoSIMカードのIC面を上にして、nanoSIMカードトレイにはめ込む

- nanoSIMカードをnanoSIMカードトレイにしっかり取り付けてください。




**4** nanoSIMカードトレイを本端末に差し込む

- nanoSIMカードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとnanoSIMカードトレイが破損するおそれがあります。



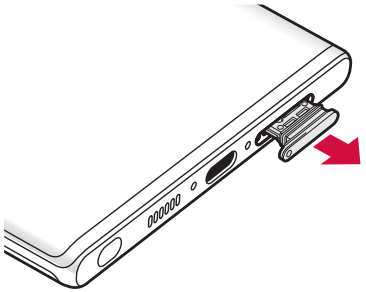
## nanoSIMカードを取り外す

**1** SIM取り出しツールの先端をnanoSIMカードトレイイジェクトホールに水平に差し込む（P.24）

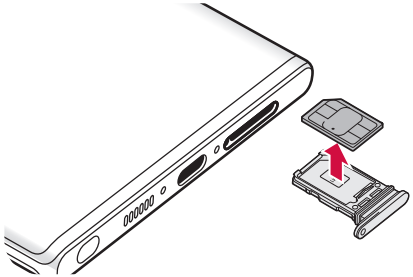
nanoSIMカードトレイが少し出てきます。

- まっすぐ差し込まないと破損や故障の原因となります。

**2** nanoSIMカードトレイをまっすぐ引き出す

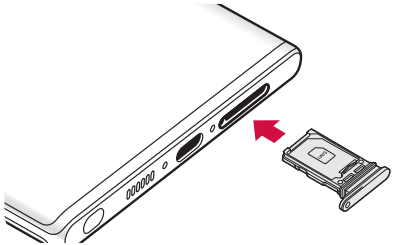


**3** nanoSIMカードをnanoSIMカードトレイから取り外す



**4** nanoSIMカードトレイを本端末に差し込む

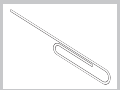
- nanoSIMカードトレイは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとnanoSIMカードトレイが破損するおそれがあります。



**お知らせ**

- nanoSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- nanoSIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、nanoSIMカードが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したnanoSIMカードはなくさないようご注意ください。
- SIM取り出しツールを紛失した場合には、ペーパークリップで代用できます。

  ペーパークリップの例



## eSIMを設定する

本端末はeSIMに対応しております。eSIMをご利用の場合は下記手順でeSIMを設定してください。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「SIMマネージャー」

- 通信事業者のQRコードがある場合は「eSIMを追加」→「サービスプロバイダから提供されたQRコードをスキャン」をタップして料金プランを追加できます。
- 「優先SIM」でどのSIMを優先させるかの設定ができます。
- 「その他のSIM設定」をタップすると、eSIMのロック設定などができます。

## 充電

### ■ 内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 充電しながらアプリ利用などを長時間行うと、内蔵電池の寿命が短くなることがあります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。

Li-ion 00

### ■ 充電について

- ACアダプタ 08（別売）はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタ 08の詳細については、ACアダプタ 08の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のACアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電中でも本端末の電源を入れておけば、本端末を操作することができます。ただし、その間は充電量が減るため、充電時間が長くなります。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。
- 本端末に対応する最新の充電機器は、ドコモのオンラインショップでご確認ください。
  https://onlineshop.smt.docomo.ne.jp/options/search.html

### ■ 内蔵電池の使用時間の目安

- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度などで異なります。使用時間の目安については、「主な仕様」（P.142）をご参照ください。

### ■ 内蔵電池の充電時間の目安

- 充電時間の目安については、「主な仕様」（P.142）をご参照ください。

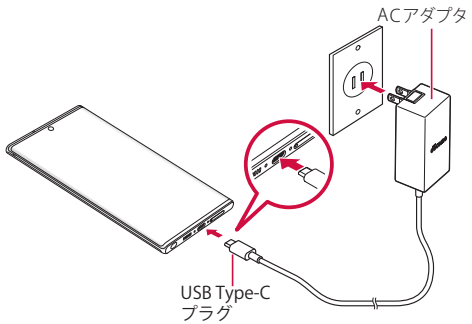
**お知らせ**

- 充電時に「Check BATTERY」が表示された場合は、ドコモ指定の故障取扱拠点またはオンライン修理受付で修理手続きを行ってください。
- USB Type-C接続端子が濡れている状態で充電すると、本端末の故障の原因となります。端子が乾いている状態で充電してください。

## 本端末を充電する

### ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 08（別売）を使って充電する方法を説明します。




1. 本端末のUSB Type-C接続端子に、ACアダプタのType-Cプラグを水平に差し込む
2. ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む
3. 充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
4. 本端末からACアダプタのType-Cプラグを水平に引き抜く

### DCアダプタで充電する

DCアダプタは、自動車のアクセサリーソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。
取り扱いについて詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

### 急速充電を使用する

本端末をより高速に充電できます。
- 急速充電を使用するには、対応している充電器が必要です。通常の充電器では使用できません。
- 本端末が高温になった場合は、充電速度が遅くなったり、停止したりする場合があります。
- 画面をオフにすると、より速く充電できます。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「バッテリーとデバイスケア」

**2** 「バッテリー」→「その他のバッテリー設定」→「急速充電」

### ワイヤレスチャージャーで充電する

Samsung純正ワイヤレスチャージャー（市販品）で充電する場合は、製品に付属されている取扱説明書をご覧ください。
Samsung純正ワイヤレスチャージャーでの充電についてはSamsungのWebサイトをご参照ください。
- マークがある製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）による無接点充電規格に適合しています。

**お知らせ**
- ホーム画面で⊞→「設定」→「バッテリーとデバイスケア」→「バッテリー」→「その他のバッテリー設定」→「急速ワイヤレス充電」→ をタップすると、急速ワイヤレス充電ができます。急速ワイヤレス充電を行うには、対応する充電機器が必要です。
- 本端末に市販のカバーなどを装着している場合は、外してください。

### USBケーブル A to C を使って充電する

USBケーブル A to C 02（別売）を使って本端末とパソコンを接続すると、本端末をパソコンで充電することができます。
- パソコンとの接続のしかたは、「USB ケーブル A to C で接続する」（P.127）をご参照ください。
- 本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

## 本端末で他の機器を充電する

### ワイヤレスバッテリー共有を使用する

本端末の内蔵電池を使って他の機器を充電できます。本端末の充電中でも他の機器を充電できます。
本端末に市販のカバーなどを装着している場合は、本機能が正しく動作しない可能性がありますので、充電する前にカバーなどを外してください。
- 本機能の使用中はイヤホンを使用しないでください。近くの機器に影響を与える可能性があります。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「バッテリーとデバイスケア」

**2** 「バッテリー」→「ワイヤレスバッテリー共有」→

**3** 本端末の背面の中央部分に、充電したい他の機器を置く

**4** 充電が完了したら、他の機器を本端末から離す

お知らせ

- 充電が開始されると、音やバイブで通知されます。
- 本端末を正しい充電位置に調整し、充電が始まることをご確認ください。正しい位置で充電しないと、本端末が充電できなかったり、過熱したりする場合があります。
- ワイヤレス充電コイルの位置は機器ごとに異なるので、機器に応じて充電位置を調整してください。
- 本機能の使用中に一部の機能が動作しない可能性があります。
- 本機能はWPC（）の対応機器、Galaxy Wearableに対応しておりますが、すべての機器での動作を保証するものではありません。
- 正常に充電するために、充電中には本端末や他の機器を動かさないでください。
- 本端末の充電中に他の機器を充電する場合は、充電速度が遅くなったり、正しく充電されない場合があります。
- 充電速度や充電効率は、他の機器や充電環境に依存することがあります。
- 電池残量が一定レベルを下回ると、給電が停止されます。
- ホーム画面で→「設定」→「バッテリーとデバイスケア」→「バッテリー」→「ワイヤレスバッテリー共有」→「バッテリー制限」をタップすると、充電を停止させるバッテリー制限のパーセンテージを設定できます。
- 本機能は電池残量が少ないと使用できません。
- 「ワイヤレスバッテリー共有」をONにした状態で他の機器に接続されない状態が一定時間続くと本機能は自動的にOFFになります。
- 本機能を使用すると、お使いのネットワーク環境によっては、ネットワークに影響を与える可能性があります。

# 電源を入れる／切る

## 電源を入れる

**1 サイドキーを2秒以上押す**
- 起動画面が表示され、続いてロック画面が表示されます。
- 初めて電源を入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います（P.30）。

**2 画面をスワイプ**

## 電源を切る

**1 サイドキーを1秒以上押す**

**2 「電源OFF」→「電源OFF」**
- 本端末が振動し、電源が切れます。

## 画面ロックを設定／解除する

画面ロックを設定し、タッチスクリーンやキーの誤動作を防止できます。
- 「画面のタイムアウト」（P.106）の設定により画面の表示が消えてしばらく経過すると、自動的に画面ロックが設定されます。

### 画面ロックを設定する

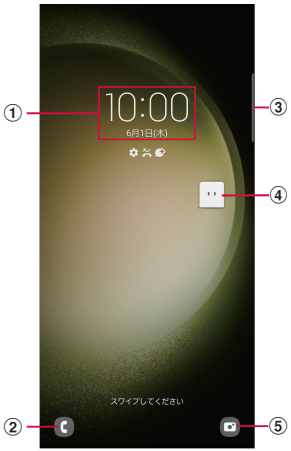
**1 サイドキーを押す**
- 画面の表示が消え、画面ロックが設定されます。

### 画面ロックを解除する

**1 画面ロック中にサイドキーを押す**
- ロック画面が表示されます。

**2 画面をスワイプ**

## ロック画面について




ロック画面（表示例）

① **時計ウィジェット**
② **電話起動ボタン**
③ **エッジパネルハンドル**
- 画面の中央に向かってスワイプするとエッジパネルが表示されます（P.57）。

④ **マチキャラ（例：my daiz）**
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

⑤ **カメラ起動ボタン**

**お知らせ**

- 画面ロック中に不在着信などの通知情報があると、ロック画面に通知情報が表示される場合があります。
- 画面ロックの解除方法は変更できます（P.109）。

## 初期設定

**電源を入れた後に「ようこそ！」と表示された場合は、画面の指示に従って、使用する言語やGoogle／Samsungアカウントなどの設定、およびドコモサービスの初期設定を行います。**
**ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なる場合があります。**

**1 「ようこそ！」の「開始」をタップ**
- 言語を変更する場合は、「日本語」をタップします。
- ユーザー補助設定を変更する場合は、「ユーザー補助」をタップして設定します。
- 以降は画面の指示に従って以下の確認・設定を行ってください。
  - 確認すべき項目
  - 別のデバイスを使ったセットアップ
  - Wi-Fiネットワークを選択
  - アプリとデータのコピー
  - Googleアカウントを追加
  - Googleサービス
  - 端末を保護
  - その他のアプリ

**2 ドコモ初期設定画面が表示されたら「次へ」**
- 以降は画面の指示に従って以下の確認・設定を行ってください。
  - 機能の利用確認
  - dアカウント
  - かんたん一括設定 あんしん・便利

**3 Samsungアカウントの設定を行う**

**4 Samsungサービスの権限の設定を行う**

**5 ホーム切替の設定を行う →「次へ」**

**6 表示設定の選択を行う→「次へ」**

**7 「完了」**
- 画面に従って操作するとホーム画面が表示されます。

**お知らせ**

- 設定した各機能は後から変更できるものもあります。
- オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態（5G／4G／GSM）であることをご確認いただくか、Wi-Fiネットワークに接続されていることをご確認ください。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

## Googleアカウントの設定を行う

Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名／パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「アカウントとバックアップ」
2 「アカウントを管理」→「アカウントを追加」→「Google」
3 画面の指示に従って設定

## dアカウントの設定を行う

dアカウントとは、スマートフォン、タブレット、パソコンなどでdポイントやdマーケットなどのドコモが提供するサービスを利用する時に必要なID／パスワードです。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」
2 「dアカウント設定」
3 画面の指示に従って設定

## Samsungアカウントの設定を行う

Samsungアカウントを設定すると、端末リモート追跡を利用して本端末をリモートコントロールしたり、本端末とSamsungアカウントとの間でデータを同期したりすることができます。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「アカウントとバックアップ」
2 「アカウントを管理」→「アカウントを追加」→「Samsungアカウント」
3 画面の指示に従って設定

**お知らせ**

- Samsungアカウントに設定したパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。また、パスワードを忘れた場合は、「ヘルプ」→「パスワードを忘れた場合」をタップして、画面の指示に従って操作してください。

## 本端末で利用する暗証番号について

**本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。**

- 入力した画面ロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「●」で表示されます。

**■ 各種暗証番号に関するご注意**

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、nanoSIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、裏表紙のお問い合わせ先までご相談ください。

**■ 画面ロック用PIN／パスワード**
本端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

**■ ネットワーク暗証番号**
ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
ネットワーク暗証番号の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

**■ PINコード**
nanoSIMカード／eSIMには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者によるnanoSIMカード／eSIMの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となるように設定できます。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
  PINロック解除コード（8桁）を入力→「OK」→新しいPINコードを入力→「OK」→再度新しいPINコードを入力→「OK」をタップします。

■ PINロック解除コード（PUK）
PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。
- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、nanoSIMカード／eSIMがロックされます。ロックされた場合は、裏表紙のお問い合わせ先までお問い合わせください。

## PINコードを設定する

本端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」

2 「その他のセキュリティ設定」→「SIMカードロック設定」

3 「SIMカードをロック」→PINコードを入力→「OK」
- 「SIMカードをロック」がONになります。

## PINコードを変更する

「SIMカードをロック」（P.32）を設定している場合に、PINコードを変更できます。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」

2 「その他のセキュリティ設定」→「SIMカードロック設定」

3 「SIMカードのPINを変更」→画面の指示に従って現在のPINコードと新しいPINコードを入力

# 基本操作

## 基本操作

**タッチスクリーン、Sペン（SC-52Dのみ）モーションを使って多様な操作ができます。**

- タッチスクリーンに電気を帯びた物質や金属性の物質が触れないように注意してください。静電気により本端末がうまく動作しないことがあります。
- 充電中に本端末を使用すると、タッチスクリーンが動作しないことがあります。この場合は、本端末を充電機器から取り外してください。
- 本端末を持って操作する場合は、アンテナが組み込まれている部分を手で覆わないようにしてください。

## タッチスクリーンの使いかた

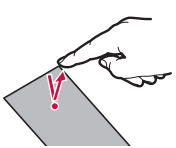
### ■ タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - タッチスクリーンが濡れたままでの操作
  - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
  - 水中での操作

本端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作できます。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

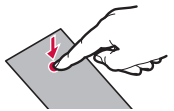
### ■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。
また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。



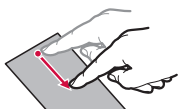
### ■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。



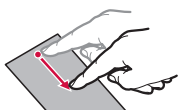
### ■ ドラッグする

表示項目やアイコンなどを指で触れたまま移動します。



### ■ スワイプする

表示画面を指で軽くなぞる動作です。



### ■ スクロールする

表示内容を指で触れながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。



### ■ フリックする

表示内容を指で触れながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。



■ ピンチアウトする／ピンチインする

表示されている画像やホームページなどを2本の指で触れながら、指の間隔を広げたり（ピンチアウト）、狭めたり（ピンチイン）して表示内容の拡大／縮小ができます。



## ナビゲーションバーの使いかた

画面下部に表示されるナビゲーションバーに、画面を操作するためのアイコンが表示されます。アイコンの名称と動作は次のとおりです。



| | |
|---|---|
| | **履歴ボタン**<br>最近使用したアプリの一覧が表示されます。 |
| | **ホームボタン**<br>ホーム画面が表示されます。ロングタッチすると、Googleアシスタントが起動します。 |
| | **戻るボタン**<br>直前の画面に戻ります。また、ポップアップ画面、オプションメニュー、通知パネルなどを閉じます。一部のアプリを終了できます。 |

**お知らせ**

- ホーム画面で⊞→「設定」→「ディスプレイ」→「ナビゲーションバー」をタップすると、「ナビゲーションタイプ」や「ボタンの順序」の設定などができます。「ナビゲーションタイプ」を「スワイプジェスチャー」に設定すると、ナビゲーションバーを非表示にし、画面スペースをより広く利用できます。
- ホーム画面で⊞→「設定」→「アプリ」→「標準アプリを選択」→「デジタル アシスタント アプリ」→「端末アシスタンスアプリ」をタップすると、○（ホームボタン）をロングタッチしたときに起動するアプリを選択できます。

## ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本端末の縦／横の向きや傾きなどを感知するモーションセンサーによって、ディスプレイの表示方向を自動的に切り替えることができます。

**1** 通知パネルを開く（P.43）

**2**

**お知らせ**

- ホーム画面や一部の機能など、表示方向が自動的に切り替わらない機能やアプリもあります。

## 画面の表示内容を画像として保存する

表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。

**1** 画像として保存したい画面を表示

**2** サイドキーと音量DOWNキーを同時に押す

**お知らせ**

- 一部のアプリではスクリーンキャプチャが動作しない場合があります。
- キャプチャした画像は「ギャラリー」／「フォト」アプリで確認できます。
- ホーム画面で⊞→「設定」→「便利な機能」→「モーションとジェスチャー」→「スワイプキャプチャ」をONにすると、本端末の画面上を手の側面で右から左、または左から右にスワイプしてスクリーンキャプチャできます。
- ホーム画面で⊞→「設定」→「便利な機能」→「画面キャプチャと画面録画」→「キャプチャ後にツールバーを表示」をONにすると、スクリーンキャプチャ後にメニューが表示されます。表示されたメニューから（スクロールキャプチャ）をタップすると、画面をスクロールして表示できる領域を1枚の画像としてキャプチャし続けることができます。「ツールバーから共有後に削除」をONにすると、画面キャプチャを共有後、自動的に削除できます。
- Sペンのエアコマンド機能の「キャプチャ手書き」を使用してもスクリーンキャプチャできます（P.37）（SC-52Dのみ）。

## 画面の表示内容を録画する

表示中の画面を動画として録画できます。

1 **通知パネルを開く**（P.43）

2 

3 **サウンド設定をして「録画を開始」**
- カウントダウンが表示され、録画が開始されます。

4 

**お知らせ**
- 一部のアプリでは画面を録画できない場合があります。
- キャプチャした動画はMP4形式で保存され、「ギャラリー」／「フォト」アプリで確認できます。
- 動画の停止は通知パネルからもできます。
- をタップすると、録画中に描画ができます。
- をタップすると、フロントカメラを使った撮影も合わせて録画できます。
- Sペン使用時に、Sペンのポインターも合わせて録画できます。をタップすると、Sペンのポインターが矢印の形に変わり、より目立つようになります（SC-52Dのみ）。
- ホーム画面で→「設定」→「便利な機能」→「画面キャプチャと画面録画」をタップすると、サウンドをつけるかどうかや画質などが設定できます。

# 便利な機能

## 便利な機能の使いかた

本端末を動かすなどの動作で、次の操作ができます。
- 一部のアプリでは本機能を利用できない場合があります。
- 便利な機能を利用する前に、ホーム画面で→「設定」→「便利な機能」→利用する便利な機能をONにする必要があります。

**■ ラボ**
開発中の機能を使用できます。一部アプリの一部の機能は正常に動作しない場合があります。

**■ Sペン（SC-52Dのみ）**
Sペンを使ったさまざまな機能について設定します（P.36）。

**■ サイドキー**
サイドキーを2回押したときの動作を設定できます。

**■ モーションとジェスチャー**
→ P.36

**■ 片手モード**
「片手モード」をONにし、画面表示サイズの縮小方法で「ジェスチャー」を選択すると、画面の下端中央で下にスワイプして、画面サイズを縮小することができます。
「ボタン」を選択すると、ホームボタンをすばやく2回タップして、画面サイズを縮小することができます。

**■ スマートな提案**
端末の使用状況に基づいて操作の候補が表示されるように設定できます。

**■ 画面キャプチャと画面録画**
画面キャプチャと画面録画について設定します（P.34、P.35）。

**■ コンテンツを共有時に連絡先を表示**
共有パネルから特定の相手とコンテンツを直接共有できます。

**■ ビデオコールエフェクト**
ビデオコール時のエフェクトを設定します。

**■ Game Launcher**
「Game Launcher」をONにすると、アプリ画面に「Game Launcher」アプリのアイコンが表示され、すべてのゲームを自動的にまとめて管理できます。

**■ 動画の明るさ**
対応するアプリで動画を視聴するときに、一時的に画面を明るくして色を鮮やかにします。

**■ デュアルメッセンジャー**
同じアプリをそれぞれ個別のアカウントで使用します。
ホーム画面にはもう1つのアプリアイコンが表示されます。
デュアルメッセンジャーが利用可能なアプリはデュアルメッセンジャー画面に表示されているアプリのみです。

## モーションとジェスチャー

■ **持ち上げて画面ON**
端末を持ち上げると画面がONになります。

■ **ダブルタップして画面をON**
ダブルタップ操作で画面をONにするかどうかを設定します。

■ **ダブルタップして画面をOFF**
ダブルタップ操作で画面をOFFにするかどうかを設定します。
※ ホーム画面が「One UIホーム」の場合のみ動作します。

■ **閲覧中は画面を常にON**
画面を見ている間は表示が消えないように設定します。

■ **端末を持ち上げたときにお知らせ**
不在着信がある状態で、画面の表示が消えているときに本端末を持ち上げると振動して通知します。

■ **スワイプキャプチャ**
手の側面で画面上を右から左、または左から右にスワイプすると、画面の表示内容を画像として保存できます。

**お知らせ**

- 本端末に過度な動き（揺れ、衝撃など）を与えた場合、センサーの特性によってモーションが正しく動作しない場合があります。
- 暗い色の手袋などを着用したり、センサーの認識範囲外で動作をした場合は、センサーの特性により便利な機能が正しく動作しない場合があります。

# Sペン（SC-52Dのみ）

指を使って実行できる基本的なタッチ、ドラッグ、拡大／縮小などの操作をSペンを使って実行できます。また、Sペンを使って図や文字などを描いたり、多様な機能を実行したりすることができます。

## Sペンの取り出しかた

- Sペンのヘッド部はノック式です。取り出す際は、ヘッド部を押してSペンが少し出てきたら取り出してください。
- Sペンを取り出す際はまっすぐ取り出してください。
- Sペンを取り付ける際は、Sペンのヘッド部が飛び出していないか確認してください。
- Sペンを取り出すとエアコマンドまたはSamsung Notesが起動します（P.37）。
- 画面OFF時にSペンを取り出すと、画面オフメモが起動します（P.37）。

## Sペンの充電方法

- Sペンのエアアクション機能を使う前にSペンを充電してください。SペンをSペンスロットに入れると充電が行われます。
- SペンをSペンスロットから取り外すとステータスバーに が表示されます。
- 以下の場合などは、Sペンと本端末の接続が切断され、ステータスバーに が表示されます。SペンをSペンスロットに入れなおすと再接続できます。
  - Sペンの電池残量がない
  - Sペンが本端末から離れた位置にある
  - Sペンと本端末の間に障害物がある
  - Sペンを取り出した状態でエアアクションを一度OFFにし、再度ONにした

**お知らせ**

- 本端末の背面が磁気を帯びたものと接触している場合、本端末がSペンを認識できなかったり、Sペンの充電がうまくいかない場合があります。
- Sペンの電池残量がなくても、エアアクション以外のSペンの機能（画面のタップやエアコマンド）は利用できます。
- 他のSペン SC07を使用する場合は、ホーム画面で →「設定」→「便利な機能」→「Sペン」→「その他のSペン設定」の「複数のSペンを許可」をONにします。Sペンの設定をリセットする場合は、Sペン設定画面で →「Sペンをリセット」をタップします。

## Sペン利用上のご注意

- Sペン使用時には過剰な圧力をかけないようにしてください。ディスプレイが破損する可能性があります。
- Sペンの利用時には曲げたり、力を入れすぎたりしないでください。
- Sペンを画面に対して鋭角に使用すると、本端末がSペンの機能を認識しない場合があります。
- ご利用のアプリによっては、Sペンの機能を使用できない場合があります。

**お知らせ**

- Sペンが正常に動作しなくなったときは、Samsungカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

## Sペンの主な機能

Sペンを使って次の操作ができます。

- Sペンの機能を利用する前に、ホーム画面で→「設定」→「便利な機能」→「Sペン」→利用するSペンの機能をONにする必要があります。

### ■ エアアクション

Sペンでアプリを遠隔操作できます。
Sペンのペンボタンを長押ししてアプリ起動やSペン機能の利用ができます。アプリ使用中にペンボタンを押したり、ペンボタンを押しながらSペンを振ると、写真撮影やカメラ切り替えなどの操作ができます。にペンをかざすと、表示しているアプリで利用できるエアアクションを確認できます。

- ホーム画面で→「設定」→「便利な機能」→「Sペン」→「エアアクション」をタップするとエアアクションの設定ができます。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| ON／OFF | Sペンと本端末の接続状況やSペンの充電状況が表示されます。 |
| どこでもアクション | ペンボタンを押しながら様々なアクションが利用できます。 |
| アプリの操作 | エアアクションに対応したアプリでペンボタンを押したときに実行する操作を選択します。 |
| アプリの共通操作 | カメラやメディアアプリでペンボタンを押したときやSペンのジェスチャー（上下左右などに振る）で実行する操作を設定します。 |

### ■ 画面オフメモ

画面オフメモを利用するには画面OFF中にSペンをSペンスロットから取り出してください。

- SペンスロットからSペンを取り出した状態で画面がOFFの場合はペンボタンを押しながら画面をタップします。
- 「保存」をタップすると、画面オフメモがSamsung Notesに保存されます。
- 画面オフメモで描画した内容をAlways On Display（P.39）に貼り付けるには、→「Always On Displayに固定」をタップします。

### ■ ショートカット

画面にSペンを近づけているときにペンボタンを押すと、エアコマンド画面で以下のエアコマンドが利用できます。

- エアコマンドを終了するには再度ペンボタンを押します。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| ノートを作成 | Samsung Notesを起動します。 |
| 全てのノートを表示 | Samsung Notesが起動し、すべてのノートが表示されます。 |
| スマート選択 | Sペンで範囲を選択しキャプチャができます。また、をタップすると、選択した範囲の画面の動画でのキャプチャができます。 |
| キャプチャ手書き | 画面のキャプチャを撮り、撮ったキャプチャに文字を手書きで書くことができます。 |
| ライブメッセージ | ライブメッセージを作成します（P.38）。 |
| AR手描き | AR手描きが利用できます（P.85）。 |
| 翻訳 | 単語やフレーズの上にSペンを近づけると、その翻訳を確認できます。翻訳元／翻訳先の言語は画面上部の翻訳ツールバーで選択できます。<br>-「翻訳」を利用するには、Wi-Fiまたはモバイルネットワークが必要です。<br>-「翻訳」では、支援されていない言語があります。<br>-「翻訳」は抽出した文や語句のみ有効です。 |
| PENUP | PENUPを利用できます（P.55）。 |
| 追加 | エアコマンドにアプリおよび機能を追加します。<br>ショートカットは最大10個登録できます。 |
| | タップするとSペンの設定メニューが表示されます。 |

## Sペンの設定

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「便利な機能」→「Sペン」

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| エアアクション | | Sペンでアプリを遠隔操作できます。 |
| エアコマンド | | |
| | メニューのスタイル | エアコマンドメニューのスタイルを選択できます。 |
| | ショートカット | →P.37 |
| | エアコマンドアイコンを表示 | ◉（エアコマンドアイコン）の表示／非表示を切り替えます。 |
| | ペンボタンでエアコマンドを開く | 画面にSペンを近づけてペンボタンを押すと、エアコマンドメニューが開きます。 |
| Sプレビュー | | 画面にSペンを近づけると、情報のプレビュー、テキストや画像の拡大表示、画面のスクロールなどをします。また画面にSペンを近づけたときにポインターを表示するかどうかを設定できます。 |
| Sペンでテキスト入力 | | Sペンを使用して検索欄などのテキストエリアに書き込むことができます。 |
| Sペン取り外し時の動作 | | Sペンを取り外したときにエアコマンドとSamsung Notesのどちらを表示させるか、何も表示させないかを設定します。 |
| 画面オフメモ | | →P.37 |
| クイックノート | | ペンボタンを長押ししながら、Sペンで画面を2回タップすると新しいノートが開きます。 |
| その他のSペン設定 | | |
| | Sペンでロック解除 | Sペンで画面ロックの解除をするかどうかを設定します。 |
| | 複数のSペンを許可 | Sペンが本端末に挿入されていても、別のSペンを使用して画面に書き込むことができます。 |
| | Sペンとの接続を維持 | Sペンを本端末から取り出した直後にエアアクションを使用できるようにSペンとの接続を維持します。 |
| | Sペンを置き忘れた際に警告 | 画面がOFFのときにSペンが取り外された状態で一定時間経過すると、通知音およびポップアップで通知するかどうかを設定します。<br>最初の通知音が鳴った後にそのまま放置した場合、画面をONにするまで、通知音がさらに1回鳴ります。その後は、Sペンを挿入して再度取り外すまで通知はされません。 |
| | サウンド | Sペンで画面に書き込むときなどに音を鳴らすかどうかを設定します。 |
| | バイブ | Sペンを挿入／取り外したときに振動で通知するかどうかを設定します。 |
| Sペンについて | | Sペンに関する機能やアプリ情報を確認できます。 |
| お問い合わせ | | Samsung Membersを利用できます。 |

## ライブメッセージを利用する

手書きで書いたメッセージをアニメーション動画として保存し、メールなどの添付ファイルとして送信できます。

**1** エアコマンドからライブメッセージを起動する

**2** 背景に使用する素材を選択する
- 背景の色を選択する場合は背景色を選択→「スケッチを開始」をタップします。
- ギャラリーから画像や動画を選択する場合は、画像や動画を選択→「完了」をタップします。

**3** ライブメッセージ画面に描画する

**4** 「完了」
- ライブメッセージがアニメーションGIFまたはMP4としてギャラリーアプリに保存されます。
- 「共有」をタップすると、ライブメッセージを添付して送付できます。

**お知らせ**
- ライブメッセージが保存可能な最大容量に達すると、描画ができなくなります。
- ライブメッセージ画面で、ペンの種類やペンの色、ペンの太さ、録画形式を設定できます。
- ライブメッセージはギャラリーアプリからも共有できます。

## Always On Displayを設定する

画面OFF時に、時計や通知を表示します。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「ロック画面」

2 「Always On Display」→

3 表示条件などを設定

お知らせ

- Always On Displayの表示を終了するには、サイドキーを押すか、画面をダブルタップします。

# 文字入力

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボード（Samsungキーボード）を表示し、キーボードのキーをタップします。

お知らせ

- Googleの音声サービスを利用すると、音声で文字を入力できます。
- 使用状態によって各キーボードの表示や動作が異なる場合や、利用するアプリや機能専用のキーボードが表示される場合があります。

## キーボードの種類（入力方法）を切り替える

1 キーボード表示中にナビゲーションバーの

2 利用したいキーボードを選択

お知らせ

- ナビゲーションバーの の表示／非表示を切り替えるには、ホーム画面で⊞→「設定」→「一般管理」→「キーボードリストと初期設定」→「標準キーボード」の「キーボードボタンを表示」をONにします。

## キーボードのタイプを選択する

1 キーボード表示中に

2 「言語とタイプ」→入力言語を選択

3 キーボードタイプを選択

## Samsungキーボード（日本語）で入力する

Samsungキーボード（日本語）は、「QWERTY」、「テンキーフリックなし」、「テンキーフリック」、「テンキー 8フリック」の4種類のキーボードを利用できます。

- QWERTY：パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。
- テンキーフリックなし：一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを、目的の文字が入力されるまで数回タップします。
- テンキーフリック、テンキー 8フリック：フリック操作で入力するキーボードです。



QWERTY



テンキーフリックなし

① キーボード追加機能が表示されます。
絵文字／スタンプ／顔文字／記号の入力、クリップボード、スプリットキーボード、音声入力やキーボードの設定などの機能を利用できます。
- ･･･をタップすると、キーボード追加機能に追加できる機能が表示されます。
- 文字が入力されている場合は、予測変換候補／通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。･･･をタップすると、予測変換候補／通常変換候補の表示領域を広げます。･･･をタップすると、元の表示に戻ります。

② 数字／記号入力モードに切り替えます。

③ 入力言語を切り替えます。

④ スペースの入力や予測変換候補の選択ができます。
- ひらがな漢字入力で文字が入力されている場合に、タップすると予測変換候補を選択できます。

⑤ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑥ 操作状態や選択中の入力欄に対応したキーが表示され、入力した文字の確定や、改行、次の入力欄への移動などができます。

⑦ カーソルを左または右に移動します。
- 「ワイルドカード予測」をONに設定している場合は、タップするとワイルドカード予測を利用できます。

⑧ 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます（フリック入力時は切り替わりません）。

⑨ 大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。

**お知らせ**

- 「日本語」以外で「テンキーフリック」を設定する場合には、ホーム画面で⊞→「設定」→「一般管理」→「Samsungキーボード設定」→「レイアウト」→「ボタンと記号のレイアウト」→「代替」→「適用」→「OK」をタップした後、「Samsungキーボード設定」→「言語とタイプ」から設定したい言語もしくは「数字と記号」を選択し、「テンキーフリック」をタップしてください。

## 文字列を選択／コピー／切り取り／貼り付ける

**1 キーボード表示中に入力した文字列をロングタッチ**
- ●などが表示されます。ドラッグすると、カーソルを移動できます。

**2 利用する項目をタップ**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 切り取り | 選択した文字列を切り取ります。 |
| コピー | 選択した文字列をコピーします。 |
| 貼り付け | コピーした／切り取った文字列を貼り付けます。 |
| すべて選択 | 入力したすべての文字を選択します。 |

**お知らせ**

- 画面を横向きにした場合は、表示が異なる場合があります。
- アプリによっては、本機能を利用できない場合や、利用できない機能がある場合があります。また、アイコンの表示が異なる場合や、手順2以外の項目が表示される場合があります。
- 文字入力欄で文字が入力されていないエリアをロングタッチするとメニューが表示され、上記以外の項目も利用できます（アプリによっては利用できない場合があります）。

## 文字入力／変換機能を設定する

### Samsungキーボードの設定を行う

Samsungキーボードを利用して文字を入力する際の入力動作の設定や、ユーザー辞書の登録などができます。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「一般管理」→「Samsungキーボード設定」

**2** 設定したい項目をタップ

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 言語とタイプ | 入力言語とそのキーボードタイプを設定します。 |
| 日本語入力オプション | フリック入力、単語学習、ワイルドカード予測、音声入力などの設定をします。 |
| 予測テキスト | 予測テキストを使用するかどうかを設定します。 |
| 絵文字の候補を表示 | 絵文字の候補を表示するかどうかを設定します。 |
| 入力中にスタンプの候補を表示 | 入力中にスタンプの候補を表示するかどうかを設定します。 |
| 自動置換 | 自動置換について設定します。 |
| テキストの修正提案 | 英文の修正提案を利用するかどうかを設定します。 |
| よく使うフレーズ | よく使うフレーズを追加できます。 |
| 他の入力オプション | 自動スペース入力などについて設定します。 |
| キーボードのツールバー | キーボードのツールバーを表示するかどうかを設定します。 |
| 高コントラストキーボード | 高コントラストキーボードを使用するかどうかを設定します。 |
| テーマ | キーボードのテーマを設定します。 |
| モード | キーボードのモードを設定します。 |
| サイズと透明度 | キーボードのサイズと透明度を設定します。 |
| レイアウト | 数字キーと代替文字を表示するかなどを設定します。 |
| 文字サイズ | キーボードの文字サイズを設定します。 |
| カスタム記号 | キーボードで表示する記号を変更できます。 |
| スワイプ、タッチ、フィードバック | スワイプ、タッチ、フィードバックについて設定できます。 |
| 手書き入力（SC-52Dのみ） | Sペン検出時に手書きパッドを表示するかどうかや候補タイプを設定します。 |
| Sペンでテキスト入力（SC-52Dのみ） | Sペンを使用して検索欄などのテキストエリアに書き込むことができます。 |
| 画面キャプチャをクリップボードに保存 | 画面キャプチャ時にクリップボードに保存するかどうかを設定します。 |
| 使用する他社のコンテンツを選択 | キーボード追加機能で他社のコンテンツを利用するかどうかを設定します。 |
| 初期設定にリセット | キーボード設定のリセットや予測テキストの学習データの消去などができます。 |
| Samsungキーボードについて | Samsungキーボードのバージョンを確認します。 |
| お問い合わせ | Samsung Members を利用できます。 |

## アプリの権限設定

アプリの権限をアプリごとに設定できます。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「アプリ」

**2** 各アプリをタップ→「権限」

**3** 権限を設定したいアプリをタップして権限を設定

# 画面表示とアイコン

## アイコンの見かた

ディスプレイ上部のステータスバーには、本端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側にステータスアイコンが表示されます。




### 主な通知アイコン

通知アイコンには、複数件の通知があったことを示す、アイコンが重なったデザインで表示されるものもあります。

| 通知アイコン | | 参照先 |
|---|---|---|
| | 発信中／着信中／通話中 | P.58 |
| | 不在着信あり | P.63 |
| | 新着Gmailあり | P.75 |
| | 新着＋メッセージあり | P.70 |
| | データ受信中／完了 | P.126 |
| | データ送信中／完了 | P.126 |
| | 留守番電話サービスの伝言メッセージあり | P.66 |
| | アラーム通知あり | P.92 |
| | カレンダーのアラーム通知あり | P.93 |
| | ソフトウェアアップデートの設定／確認中 | P.140 |
| | 非表示の通知情報あり | - |
| | スクリーンキャプチャで保存した画像あり | P.34 |
| | ワイヤレスバッテリー共有で接続デバイスを充電中 | P.28 |

### 主なステータスアイコン

| ステータスアイコン | | 参照先 |
|---|---|---|
| （弱⇔強） | 電波状態※1 | - |
| | 音声サービス利用不可 | - |
| | 圏外 | - |
| | 機内モード設定中 | P.100 |
| | 5Gネットワーク使用可能／通信中 | - |
| | 4G（LTE）ネットワーク使用可能／通信中※2 | - |
| | Wi-Fiネットワーク使用可能／通信中 | P.98 |
| | IEEE802.11ax（Wi-Fi 6）使用可能／通信中 | - |
| | インターネット接続がされないネットワーク接続状態／ユーザー認証が必要なWi-Fiネットワークに接続し、ユーザー認証が未成立の状態です。インターネットには接続できません。 | P.98 |
| | Wi-Fiテザリング機能ON | P.102 |
| | Bluetooth機能ON※3 | P.125 |
| | マナーモード（バイブ）設定中 | P.105 |
| | マナーモード（サイレント）設定中 | P.105 |
| | アラーム設定中 | P.92 |
| （低⇔高） | 電池レベル | P.27 |
| | 充電中 | P.27 |
| ／ ／ | カメラやマイク使用中 ／ カメラ使用中 ／ マイク使用中 | - |

※1　通信サービスのご利用状況によっては異なるアイコンが表示されます。
※2　本端末は、LTE接続時は常に「4G+」が表示されます。
※3　通知パネル表示時（P.43）に表示されます。

## 通信状態のアイコン表示

音声サービス／データサービスの利用可能／利用不可のアイコン表示については下記のとおりです。

| アイコン | 音声サービス | データサービス |
|---|---|---|
|  | 利用可能 | 利用可能 |
|  | 利用不可 | 利用可能 |
|  | 利用可能 | 利用不可 |
|  | 利用不可 | 利用不可 |

## 通知パネルについて

ステータスバーを下にスクロール／フリックすると通知パネルが表示され、通知情報などを確認したり、アイコンをタップして機能を設定したりすることができます。通知パネルを上にスクロール／フリックすると通知パネルを閉じることができます。




通知パネルの表示内容




通知パネルの表示内容（展開時）

① 現在の日付と時刻が表示されます。

② 各種機能のオン／オフを切り替えます（クイック設定ボタン）。通知パネルを展開している状態で、左右にフリックすると、表示されていないクイック設定ボタンを確認できます。

③ SmartThingsに対応するデバイスを管理できます。

④ 進行中情報や通知情報が表示されます。情報を確認したり、タップしてアプリを起動したりすることができます。通知をロングタッチすると、通知の詳細設定や、通知の受け取り方法などの設定ができます。

⑤ 通知について設定します（P.106）。

⑥ 設定メニューが表示されます（P.97）。

⑦ メディアの出力先を管理できます。

⑧ 通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消去できます。
- 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。

⑨ 接続中の通信事業者名が表示されます。
⑩ アプリやコンテンツなどを検索できます。
⑪ クイック設定ボタンの追加、表示レイアウトの変更、通知の設定などができます。
⑫ 電源OFFや再起動などの操作ができます。
⑬ クイック設定ボタン一覧のページ枚数と現在の位置を示します。
⑭ ディスプレイの明るさを調整します（P.107）。

※ ロック画面で表示した通知パネルの通知の一部が非表示になる、および通知されなくなることがあります。

**お知らせ**

- クイック設定ボタンは、ONに設定されている場合は青色で表示されます。

## 最近使用したアプリの一覧

**1** （履歴ボタン）

- アプリのサムネイルをタップすると、アプリを起動できます。
- サムネイルを上にフリックすると、一覧から削除できます。
- 「全て閉じる」をタップすると、一覧をすべて削除できます。
- アプリのサムネイル上部のアイコンをタップすると、以下の操作ができます。
  - 「アプリ情報」：アプリの設定ができます。
  - 「分割画面表示で起動」：分割画面表示（P.45）を利用できます。
  - 「ポップアップ表示で起動」：一部のアプリをポップアップ表示で起動できます。
  - 「起動状態を維持」：アプリをロックし、「全て閉じる」をタップしても一覧から削除されず起動したままにできます。

**お知らせ**

- アプリのサムネイル上部のアイコンをタップしたときに表示される項目は、アプリによって異なる場合があります。

## アプリを画面に固定する

画面にアプリを固定して、他のアプリを利用できないようにすることができます。
- あらかじめ「アプリを固定」（P.110）をONにしておく必要があります。

**1** （履歴ボタン）

**2** 固定したいアプリのサムネイル上部のアイコン→「このアプリを固定」

**3** 「OK」

**お知らせ**

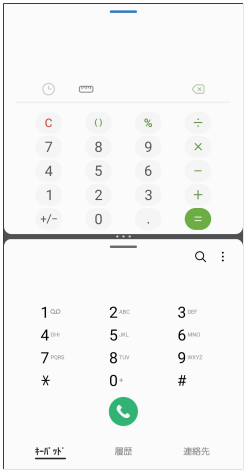
- アプリの固定を解除するには、（履歴ボタン）と（戻るボタン）を同時にロングタッチします。

## 分割画面表示を利用する

**画面を分割し、2つのアプリを同時に表示して使用することができます。**

- 表示するアプリをあらかじめ起動しておいてください。

※ ご使用のアプリによっては、分割画面表示で利用できない場合があります。




分割画面表示例

**1 分割画面の上側に表示するアプリを起動した状態で ▮▮▮（履歴ボタン）**

- アプリのサムネイルが表示されます。

**2 アプリのサムネイル上部のアイコン →「分割画面表示で起動」**

- 画面が上下に分割されます。

**3 「アプリを選択」画面からアプリを選択**

- アプリが画面の下側に表示されます。

**お知らせ**

- 横画面の場合は左右に分割して表示されます。
- 中央に表示される仕切り線の▪▪▪をドラッグすると、アプリの表示範囲を変更できます。
- 分割画面表示を終了するには、中央に表示される仕切り線の▪▪▪を上または下にフリックします。
- ▬をタップするとポップアップ表示などの機能を使用できます。
- 分割画面表示で中央に表示される仕切り線の▪▪▪→☆→「アプリパネル」をタップすると、エッジパネル「アプリ」で使用できるアプリペアを作成できます。

## スグアプ

**スマホを振るなどの直感操作で、スグにアプリの起動ができる「スグアプ」の設定を行います。**

**1 ホーム画面で⊞→「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」**

**2 「スグアプ設定」**

■ スグアプ

アプリを設定しておくことで、振るだけでアプリを起動することができます。また、端末を振ってアプリを起動した画面上に他のアプリアイコンを表示することができます。

- 1回振り：本端末を1回振ることで起動するアプリを設定できます。
- アイコン同時表示（1回振り）：1回振り機能を使用時に同時に画面上に表示するアプリを設定できます。
- 2回振り：本端末を2回振ることで起動するアプリを設定できます。
- アイコン同時表示（2回振り）：2回振り機能を使用時に同時に画面上に表示するアプリを設定できます。
- スグアプ動作抑止：スグアプによるアプリ起動を抑止するアプリを設定できます。

**お知らせ**

- スグアプは以下の場合には正しく動作しません。
  - 寝ている体勢の場合
  - 走る、階段の上り下りをするなどの激しい運動をしている場合
- 1回振りには「d払い」アプリが初期設定されています。
- 画面OFF、ロック画面にはスグアプの機能を利用することができません。
- 画面ONのまま鞄やポケットに入れると、まれにモーションが実行されたとみなされ、アプリが起動する場合があります。
- スグアプの機能が利用可能な状態であるときに、お知らせアイコンを表示しています。通知パネル内から通知詳細情報を確認することができます。
- スグアプの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 1回振り、2回振りに設定したアプリによってはアイコン同時表示が利用できない場合があります。

# ホーム画面

## ホームアプリの切り替えかた

●（ホームボタン）をタップして表示されるホーム画面を変更します。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「アプリ」→「標準アプリを選択」→「ホームアプリ」

2 「docomo LIVE UX」／「One UI ホーム」

## docomo LIVE UX

ドコモが提供するホームアプリです。ホーム画面を直感的にカスタマイズすることができます。
docomo LIVE UXの詳細については、ホーム画面で⊞→ ⋮ →「ヘルプ」を参照するか、以下のホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/live_ux/index.html

## ホーム画面の見かた

ホーム画面では、アプリを起動したり、ウィジェットを利用したりすることができます。
全てのアプリはアプリ一覧に格納されており、アプリアイコンショートカットがホーム画面に配置されます。

- ホーム画面を左右にフリックするとページを切り替えられます。
- アプリの通知があるとき、アイコンやフォルダの右上にドット（点）または数字が表示される場合があります。




ホーム画面の表示内容（表示例）

① **ウィジェット**
- ウィジェット（Google検索）を起動できます。
- ウィジェットによってはロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行できます。

② **アプリアイコン**
- タップすると、アプリを起動できます。
- ロングタッチするとショートカットメニューが表示され、特定の操作を実行したり、アプリ情報を確認したりできます。 ═ が表示された場合は、ロングタッチして任意の場所までドラッグすると、特定の操作のショートカットをホーム画面に追加できます。

③ **インジケーター**
- ホーム画面の現在の表示位置を示します。
  ※ 画面をフリックする時のみ表示されます。

④ **ドック**
- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。

⑤ **エッジパネルハンドル**
- 画面の中央に向かってスワイプするとエッジパネルが表示されます（P.57）。

⑥ **マチキャラ**
- タップすると知りたいことに対話で応えてくれます。

⑦ **カスタマイズエリア**
- アプリ、ウィジェット、フォルダなどを配置できます。

⑧ **フォルダ**
- 複数のアプリアイコンなどが格納されています。

⑨ **アプリ一覧ボタン**
- すべてのアプリを表示します。アプリを検索、おすすめアプリ（P.50）も利用できます。

## ホーム画面の管理

### アプリアイコンなどの移動

**1** ホーム画面で移動するアプリアイコンやウィジェットなどをロングタッチ

**2** 移動したい位置までドラッグ
- ホーム画面の端までドラッグすると、隣のページへ移動できます。

### アプリアイコンを追加

**1** ホーム画面で⊞

**2** ホーム画面に追加したいアイコンをロングタッチ

**3** 「ホーム画面に追加」
- 同じアイコンを複数貼り付けることも可能です。

### アプリアイコンをホーム画面から削除

**1** ホーム画面で削除するアイコンなどをロングタッチ

**2** 画面上部の「削除」までドラッグ
- ホーム画面からアイコンは削除されますが、アプリ自体はアンインストールされません。

### ウィジェットなどの削除

**1** ホーム画面で削除するウィジェットなどをロングタッチ

**2** 画面上部の「削除」までドラッグ

### アプリのアンインストール

**1** ホーム画面でアンインストールするアプリアイコンをロングタッチ
- フォルダ内のアプリをアンインストールする場合は、フォルダをタップしてからアンインストールするアプリをロングタッチします。

**2** 画面上部の「アンインストール」までドラッグ →「OK」
- アプリをアンインストールできない場合、「アンインストール」は表示されません。
- アンインストールすると、アプリ一覧からもアプリが削除されます。

## フォルダ名の変更

**1** ホーム画面でフォルダを選択

**2** フォルダ名をタップ

**3** フォルダ名を入力
- キーボードに表示される「完了」をタップします。

## ホーム画面の設定

**1** ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ→「ホーム設定」

**2** 項目を選択

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 通知ドット | アプリにお知らせがあるときのドット（点）のON／OFFなどができます。 |
| ホーム画面にアプリのアイコンを追加 | 新しいアプリをインストールした際に、ホーム画面に自動でアイコンを貼り付けるか、アプリ一覧のみに表示するか選択できます。<br>※ デフォルトではインストールしたアプリはアプリ一覧の最後に表示されます。 |
| ホーム設定アイコン | ホーム画面上ののON／OFFができます。 |
| 壁紙設定 | ホーム画面とロック画面の壁紙を変更できます。 |
| マチキャラ設定 | マチキャラのON／OFFや、キャラ変更等マチキャラに関する設定ができます。 |
| おすすめアプリ設定 | アプリ一覧画面に表示される「あなたにおすすめ」の表示設定ができます。 |
| my daiz NOW表示設定 | ホーム画面の一番左にあるmy daiz NOWの表示設定ができます。 |
| マイマガジン起動設定 | マイマガジンの上フリック起動のON／OFFができます。 |
| ホームの使い方 | ホーム画面のチュートリアルを確認できます。 |
| ヘルプ | ホーム画面の詳しい使い方を確認できます。 |

## アプリ一覧画面

をタップすると表示されます。アプリ一覧画面ではアプリの並べ替えやフォルダの作成、アプリ名でアプリを検索することができます。また、今のあなたにおすすめのアプリを厳選してみることができます。



アプリ一覧画面

① **アプリ検索バー**
- タップすると文字入力でアプリを検索することができます。

② **あなたにおすすめ**
- おすすめアプリから、厳選したアプリを最大4つ表示します。

③ **すべてのアプリ**
- 端末にインストールされているすべてのアプリが表示されます。タップするとアプリが起動します。

④ **もっと見る**
- おすすめアプリ（P.50）へ遷移します。

## アプリー覧画面の管理

### アプリアイコンの移動

1 アプリー覧画面で移動するアイコンをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグ

### フォルダ名の変更

1 アプリー覧画面でフォルダを選択

2 「名前の編集」をタップ

3 フォルダ名を入力
- キーボードに表示される「完了」をタップします。

## おすすめアプリを利用

お客様の利用状況に合わせて、アプリやサービスをおすすめします。

1 ホーム画面で→「ツール」

2 「おすすめアプリ」
- 初めて使用するときは利用の確認画面が表示され、「おすすめアプリを見る」をタップすると説明画面が表示されます。説明画面で「おすすめアプリー覧へ」をタップするとアプリの一覧画面が表示され、おすすめアプリの通知もオンになります。

3 利用するアプリやサービスを選択
- アプリの紹介画面またはサービスページが表示されます。

**お知らせ**

- おすすめアプリー覧画面で→各設定の／をタップすると、設定をオン／オフに切り替えることができます。
- おすすめアプリの許諾に同意した状態で、ホーム画面でをタップすると、おすすめアプリー覧の抜粋版が表示されるようになります。おすすめアプリー覧をもっと見たい場合は「もっと見る」をタップします。

## マイマガジン

マイマガジンは、世の中で話題になっているニュース・記事から、お客さまひとりひとりの趣味・嗜好に沿った記事、そしてお得なクーポンや、暇つぶしに最適なマンガまでをまとめて閲覧できる、あんしん・あんぜんのニュースアプリです。読む記事の傾向やプロフィール情報によって使えば使うほどお客さまの好みに近づいていきます。表示ジャンルやお知らせの通知、星座や天気の地域など、お好みの設定にカスタマイズすることもできます。

### 記事の見かた

1 ホーム画面で
- 初期画面が表示された場合は、「規約に同意してはじめる」をタップします。
- ジャンル別の記事一覧画面が表示されます。
- 左右にフリックするとジャンルを切り替えられます。

2 読みたい記事をタップ
- 記事一覧画面で記事をタップすると、その記事の詳細を読むことができます。

## my daiz NOW

my daiz NOWは、あなたの好みや行動に合わせて便利な情報をお届けするサービスです。天気や交通情報、グルメ情報などの生活に便利な情報が簡単にチェックできます。

### 画面の見かた




my daiz NOW（表示例）

**1 ホーム画面で右にフリック**

- 上下スワイプで表示するカードを切り替えることができます。
- 左にフリックするとホーム画面に戻ります。

**2 読みたいカードをタップ**

- カードをタップすると、より詳細な情報が閲覧できます。
- 画面左上に表示されるmy daiz（キャラクター）をタップすると、知りたいことに対話で応えてくれます。

### 表示設定

**1 ホーム画面のアイコンなどがない部分をロングタッチ→「ホーム設定」**

**2 「my daiz NOW表示設定」の をOFF**

## ホームアプリの情報

docomo LIVE UXのバージョン情報などが確認できます。

**1 ホーム画面で → ⋮**

**2 「アプリ情報」**

- docomo LIVE UXのアップデートがある場合は、アプリケーション情報画面に「今すぐアップデート」が表示され、タップするとdocomo LIVE UXをアップデートできます。

## One UIホーム




ホーム画面の表示内容（表示例）

① **ウィジェット（例：天気予報、Google検索）**
- ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリ）の起動や操作を行います。

② **ショートカット**
- アプリなどを起動できます。

③ **ホーム画面の現在の位置**

④ **ドック**
- ホーム画面のページを切り替えても常に表示されます。
- ショートカットやフォルダなどを配置できます。

⑤ **エッジパネルハンドル**
- 画面の中央に向かってスワイプするとエッジパネルが表示されます（P.57）。

⑥ **マチキャラ（例：my daiz）**
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。

※ お買い上げ時の状態だと、ホーム画面上にマチキャラが表示されない状態になっています。
マチキャラの表示手順：
1 ホーム画面を上にフリック→「ドコモ」→「my daiz」
2「フローティング表示」設定画面が表示されるため、「my daiz」の項目をONにする。

**お知らせ**
- ホーム画面で画面を上にフリックすると、アプリ画面（P.53）が表示されます。
- ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ→「設定」→「アプリ画面ボタンをホーム画面に表示」をタップすると、ホーム画面にアプリボタンを表示するかどうかを設定できます。

### ショートカットやウィジェットを追加する

1 **ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ**
- アプリのショートカットを追加する場合は、ホーム画面で画面を上にフリックし、ホーム画面にドラッグします。

2 **「ウィジェット」**

3 **ホーム画面に追加したい項目をタップ→「追加」**

### フォルダを作成する

1 **ホーム画面でショートカットをロングタッチ→まとめたいショートカット上にドラッグ**

2 **「フォルダ名」をタップ→フォルダ名を入力**
- キーボードに表示される「完了」をタップします。

### 壁紙の変更

1 **ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ**

2 **「壁紙とスタイル」**

3 **「壁紙を変更」**

4 **設定したい壁紙を選択**

5 **画面の指示に従って設定**

**お知らせ**
- 「カラーパレット」をタップすると、アプリのボタンなどの色を変更できます。
- 「ダークモードがONの場合、壁紙を暗くする」をONにすると、壁紙にダークモードを適用できます（P.106）。
- 「壁紙を変更」→「Galaxy Themes」をタップすると、Galaxy Themesから壁紙をダウンロードできます。

## テーマの変更

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチ
2 「テーマ」
3 画面の指示に従って操作

**お知らせ**

- ショートカット、ウィジェット、フォルダを削除するには、ショートカット、ウィジェット、フォルダをロングタッチ →「削除」をタップします。
- ネットワークに接続するウィジェットや壁紙、テーマの場合、パケット通信料が発生する場合や有料の場合があります。

## アプリ画面

ホームアプリが「One UI ホーム」のアプリ画面について説明します。

1 ホーム画面で画面を上にフリック
- アプリ画面が表示されます。




アプリ画面の表示内容（表示例）

① **検索**
- 文字を入力するとアプリを検索できます。
- 検索欄をタップし、 をタップすると音声で検索できます。

② **フォルダ**
- 複数のアプリが格納されています。

③ **アプリ**

④ **メニュー**
- アプリを並べ替えたり、ホーム画面やアプリ画面の設定を変更したりすることができます。

⑤ **マチキャラ（例：my daiz）**
- メール受信や着信などの情報をお知らせします。
- お買い上げ時の状態だと、ホーム画面上にマチキャラが表示されない状態になっています（P.52）。

⑥ **アプリ画面の現在の位置**

## ショートカットのホーム画面への追加

1 アプリ画面で、ホーム画面に追加したいアプリをロングタッチ
- アプリをロングタッチしたときに表示されるショートカットメニューから、「ホームに追加」をタップしてもショートカットを追加できます。

2 ホーム画面が表示されたら追加したい位置までドラッグして離す

## アプリの並べ替え

1 アプリ画面で移動したいアプリをロングタッチ

2 移動したい位置までドラッグして離す

## アプリの削除／無効化

1 アプリ画面で削除／無効にしたいアプリをロングタッチ

2 「アンインストール」／「無効」

3 「OK」／「無効」

**お知らせ**

- 無効にしたアプリを有効にしたい場合は、アプリ画面で「設定」→「アプリ」→ →「無効」→「OK」→ 有効にしたいアプリをタップ →「有効」をタップします。

## アプリ一覧

- ホームアプリを「docomo LIVE UX」に設定した場合で説明しています。
- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できます。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。

| アプリ | 説明 |
|---|---|
| dポイント | dポイントを「確認する」「ためる」「つかう」ことができるアプリです。 |
| d払い | ドコモが提供するスマホ決済サービス「d払い」を利用するためのアプリです。対象の街のお店で、アプリに表示されたバーコードを提示するだけで、簡単・便利・おトクにお買い物をすることができます。 |
| dcard | dカードのご利用明細、たまったdポイント、おトクな情報のエントリーを簡単に確認できるアプリです。また、ドコモが提供する電子マネー「iD」の設定ができます。 |
| Disney DX | Disney DX（ディズニー DX）は、お得な特典や、ディズニープラスをもっと楽しむための豊富なコンテンツがお楽しみいただけるアプリです。<br>ドコモからディズニープラスに入会いただくことですべての機能のご利用が可能です。 |
| dメニュー | 「dメニュー」へのショートカットアプリです。<br>dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスに簡単にアクセスすることができるポータルサイトです。→P.87 |
| dマーケット | 音楽、動画、書籍などのデジタルコンテンツの販売や、ショッピングサイトなどさまざまなサービスを提供しています。<br>dマーケットの詳細については、以下のホームページをご覧ください。<br>https://dmarket.docomo.ne.jp/common/about/index.html |
| Amazonショッピング | Amazonでよりお得に、より便利にオンラインショッピングをご利用いただける公式アプリです。 |
| Kindle | Amazonで購入した書籍を読むための電子書籍リーダーアプリです。 |

| アプリ | 説明 |
| --- | --- |
| マイマガジン | マイマガジンは、日々新しい情報や驚きに触れあえる、あんしん・あんぜんの無料ニュースアプリです。→P.50 |
| my daiz | 出発時間に合わせて天気や電車の遅延を知らせたり、さまざまな問いかけに対話で応えてくれるサービスです。あなたに合ったタイミングで、あなたに合った情報をお届けします。 |
| iDアプリ | ドコモが提供する電子マネー「iD」を利用するためのアプリです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざして簡単・便利にショッピングができます。→P.90 |
| dフォト | スマホやパソコンにある写真・動画を「無料で5GBまで」ドコモのクラウドにお預かりするサービスです。撮影した写真をフォトブックにする「プリントサービス機能」のご利用には、別途お申し込みとdフォト プリントアプリのインストールが必要です。 |
| Facebook | Facebookは、友達や家族、同僚や同級生たちとのつながりを深めたり、今世界で何が起こっているかを知ることができます。 |
| Google | クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。 |
| Chrome | Googleのウェブブラウザアプリです。 |
| Gmail | Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。→P.75 |
| マップ | Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます。→P.91 |
| YouTube | 動画の再生・投稿ができます。 |
| ドライブ※ | 画像や動画などをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。 |
| Google TV※ | Google Playから映画などを購入できます。 |
| Meet※ | ビデオ通話を行います。 |
| SmartThings※ | SmartThingsに対応するデバイスを管理できます。 |
| マイファイル | 静止画や動画、音楽などのデータを表示・管理できます。→P.123 |
| ボイスレコーダー※ | 音声を録音できます。→P.95 |
| Samsung Health※ | 健康管理をサポートするアプリです。 |

| アプリ | 説明 |
| --- | --- |
| Galaxy Wearable※ | Galaxyの周辺機器を本端末に接続する時に使用し、それらの機能も管理するアプリです。 |
| PENUP※（SC-52Dのみ） | Sペンで描いた絵を使って、創作活動と交流を同時に楽しめるソーシャルネットワークサービスです。サンプルイラストの書き方を動画で学べたり、写真をもとにトレースしてSペンで描くこともできます。 |
| ARゾーン※ | さまざまなARアプリが使用できます。→P.84 |
| ラジオ | 今いるエリアで放送しているラジオ局を本端末で聴くことのできるサービスです。ご利用いただくには市販のラジオアンテナ付きイヤホン（USB Type-C）が必要です。 |
| 辞書 | 辞書を利用して単語などを調べることができます。 |
| ヒント | 本端末のヒントが確認できます。 |
| カレンダー | スケジュールを管理できます。→P.93 |
| Samsung Notes※ | ノートを作成します。→P.93 |
| Game Launcher | ゲームの管理をします。→P.35 |
| Samsung Global Goals※ | グローバルゴールを支援するためのアプリです。 |
| Samsung Free※ | パーソナライズされたニュースなどが表示されます。 |
| 連絡先 | Samsungが提供する「連絡先」アプリを利用して、連絡先の管理ができます。 |
| 取扱説明書 | 本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。 |
| メモ | メモを作成・管理できるアプリで、スケジュールアプリとデータを共有しています。 |
| データコピー | 機種変更時のデータ移行ができるアプリです。→P.96 |
| データ保管BOX | データ保管BOXをご利用いただくためのアプリです。データ保管BOXは、必要なファイルをアップロードし、クラウド上で手軽に管理できるサービスです。 |
| 時計※ | アラーム、世界時計などを利用できます。→P.92 |
| 電卓※ | 電卓を利用して、さまざまな計算ができます。→P.95 |
| あんしんセキュリティ | 無料で使えるウイルス対策機能に加え、危険サイト、危険Wi-Fi、迷惑電話などのセキュリティ対策や、ダークウェブモニタリングをご利用いただけるアプリです。 |

| アプリ | 説明 |
| --- | --- |
| 災害用キット | 「災害用伝言板」や緊急速報「エリアメール」(P.76)「どこでも災害・避難情報」「復旧エリアマップ」をご利用いただくためのアプリです。 |
| スケジュール | スケジュールを作成・管理できるアプリで、メモアプリとデータを共有しています。 |
| スマホ診断 online | 「電池がすぐなくなる」「おサイフケータイが使えない」など、故障かな？と思ったときに、いつでもどこでも簡単にスマホやタブレットの故障有無を診断できるアプリです。診断結果にもとづいた改善提案やお手続き方法もご案内します。 |
| おすすめアプリ | おすすめアプリを表示します。→ P.50 |
| おサイフケータイ | 複数の登録済みおサイフケータイ対応サービスを、一覧で表示できるアプリです。おすすめサービスの登録や登録済みサービスの残高、ポイントの確認もできます。→ P.88 |
| Office※ | Android 向けの Microsoft Office アプリです。 |
| OneDrive | Microsoft OneDrive アプリです。オンラインストレージを利用できます。 |
| LinkedIn※ | ビジネスでのつながりに特化したビジネス用ソーシャルネットワークサービスです。 |
| Outlook※ | 電子メール機能や予定表などの機能が実装されている、個人情報管理用 Microsoft Office アプリです。 |
| カメラ | 静止画や動画を撮影できます。→ P.78 |
| ギャラリー | 静止画や動画を閲覧・整理できます。→ P.85 |
| ドコモメール | ドコモのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。dアカウントを利用すれば、タブレットや PC ブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。→ P.70 |
| ドコモ電話帳 | ドコモが提供する電話帳アプリです。docomo アカウントの電話帳データをクラウド上で管理できます。→ P.67 |
| フォト※ | 写真や動画を閲覧できます。Google フォトに同期してバックアップしたり、他人と共有したりすることもできます。 |
| ブラウザ※ | ウェブブラウザアプリです。→ P.77 |

| アプリ | 説明 |
| --- | --- |
| 設定 | 本端末の各種設定ができます。→ P.97 |
| 電話 | 「電話」アプリを利用して、電話の発着信ができます。 |
| Galaxy Store | アプリのダウンロードや、インストールしたアプリのアップデートができます。→ P.88 |
| Play ストア | Google Play からアプリをダウンロードできます。→ P.87 |
| Samsung Members※ | Samsung 製品に関する必要な回答を得ることや、イベント、ユーザーコミュニティ、診断、およびカスタマーサービスを活用することができます。 |
| YT Music※ | YouTube Music が利用できます。 |
| +メッセージ | 携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージを送受信できるメッセージングアプリです。テキスト以外にも画像や動画、スタンプ等を送ることができます。→ P.70 |

※「工場出荷状態に初期化」を行うと、アンインストールされます。再度ダウンロードする際には、Wi-Fi 接続が必要な場合があります。

**お知らせ**

- このアプリ一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリには一部アンインストールできるアプリがあります。一度アンインストールしても「Playストア」(P.87)などで再度ダウンロードできる場合があります。
- 通知情報があるアプリのアイコンに、数字（通知情報の件数）が表示される場合があります。

## エッジパネル

エッジパネルから各アプリのショートカットなどを利用できます。
ホーム画面でエッジパネルハンドルを中央にドラッグするとエッジパネルが表示されます。




エッジパネル（表示例）

① エッジパネルハンドル
② エッジパネル

### エッジパネルを設定する

エッジパネルをONにすると、画面ON時に、エッジパネルハンドルが表示され、中央にドラッグするとエッジパネルを表示できます。エッジパネルには、アプリや機能などを表示できます。また、使用するエッジパネルを追加したり、エッジパネルやエッジパネルハンドルの位置などを設定したりできます。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「ディスプレイ」→「エッジパネル」
- エッジパネルの設定メニューが表示されます。

**2** ○

### エッジパネルを追加する

使用したいエッジパネルを追加します。

**1** エッジパネルの設定メニューで「パネル」
- パネル画面が表示されます。

**2** 追加したいエッジパネルにチェックを付ける

### エッジパネルをダウンロードする

Galaxy Storeからエッジパネルをダウンロードできます。

**1** エッジパネルの設定メニューで「パネル」

**2** 「Galaxy Store」
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

### エッジパネルを編集する

エッジパネルに表示するアプリや機能などを編集します。

**1** エッジパネルの設定メニューで「パネル」

**2** エッジパネル下の「編集」
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

### エッジパネルハンドルを設定する

エッジパネルハンドルの位置や色、サイズなどを設定できます。

**1** エッジパネルの設定メニューで「ハンドル」

**2** 各項目を設定

**お知らせ**

- エッジパネルが複数選択されている場合は、エッジパネルの設定メニューで「パネル」→⋮→「並べ替え」をタップするとエッジパネルの並び順を変更できます。
- エッジパネルで⚙をタップすると、パネル画面が表示されます。
- エッジパネル「アプリ」で、アイコンを左にドラッグすると、アプリを起動したり、ポップアップ表示などで起動できます。

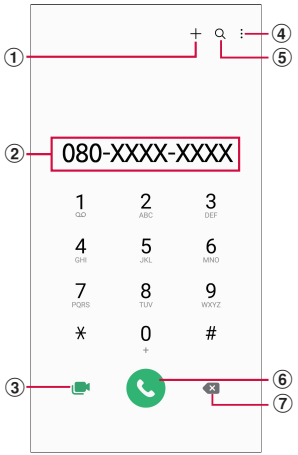
# 電話／電話帳

## 電話をかける

**1** ホーム画面で

**2** 相手の電話番号を入力

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。




電話画面

① **連絡先登録／更新**※
電話番号を連絡先に追加登録または更新します。

② **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

③ **ビデオコール**※
ビデオコールを発信できます。

④ **メニュー**
メニューを表示します。

⑤ **検索**
最近の検索履歴を表示します。

⑥ **電話発信**
入力した電話番号に電話をかけます。

⑦ **削除キー**※
一番右側の番号またはカーソルの左側の番号を削除します。ロングタッチすると、カーソルの左側の番号をすべて削除できます。

※ 電話番号が入力されている場合に表示されます。

**3**

**4** 通話が終了したら

## お知らせ

- 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にするには、電話番号の前に「186」（通知）／「184」（非通知）を入力します。「発信者番号通知」（P.66）を利用して、あらかじめ通知／非通知を設定することもできます。
- 銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、あらかじめメインの電話番号と追加番号を一度に入力して発信するためには、「2秒間の停止を追加」または「待機を追加」を使用します。
  - 電話画面で、電話番号を入力 →  →「2秒間の停止を追加」→ 任意の番号を入力 →  をタップすると、電話がつながって約2秒後にプッシュ信号（番号）が自動的に送信されます。
  - 電話画面で、電話番号を入力 →  →「待機を追加」→ 任意の番号を入力 →  をタップすると、電話がつながって「はい」をタップしたときにプッシュ信号（番号）が送信されます。
- VoLTEは、通話やビデオコールを高品質でご利用いただけます。
  VoLTEのご利用には、自分と相手が以下の条件を満たす必要があります。
  - VoLTE対応機種であること
  - VoLTE利用可能エリアであること
  - 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」※が「5G／4G／3G／GSM（自動接続）」「4G／3G／GSM（自動接続）」のいずれかに設定されていること

  ※ ホーム画面で →「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」
- VoLTE（HD+）は、通話やビデオコールの音声がVoLTEよりさらに高音質でご利用いただけます。
  VoLTE（HD+）のご利用には、VoLTEのご利用条件に加えて、自分と相手がVoLTE（HD+）対応機種である必要があります。
- ビデオコールは、お互いの映像を見ながら通話ができます。また、音声通話と切り替えられます。
  - ビデオコールの発信時は音声通話料およびパケット通信料がかかります。また、着信時にもパケット通信料がかかります。
  - 映像はベストエフォート通信（通信の混雑具合に応じた最適速度となる）のため、通信環境により品質は異なります。
  - 音声通話中にビデオコールへ切り替えができなかった場合は、画面上にビデオコール切り替えに失敗した旨が表示され、音声通話が継続されます。
  - ビデオコールの映像は、ご利用機種により表示処理に違いがあるため、本端末で表示される自分の映像と相手に表示される映像の範囲が異なる場合があります。

## 緊急通報

| 緊急通報 | 電話番号 |
|---|---|
| 警察への通報 | 110 |
| 消防・救急への通報 | 119 |
| 海上での通報 | 118 |

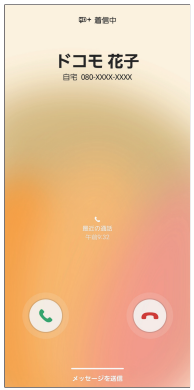
## お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定に関わらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、VoLTE（LTEネットワーク）のみ利用できます。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信できる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内ではnanoSIMカードを取り付けていない場合、またはeSIMを設定していない場合、PINコードの入力画面、PINコードロック・PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 「番号指定ブロック」（P.64）を設定した状態で緊急通報110番、119番、118番に発信すると、番号指定ブロックはOFFになります。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。
- ビデオコールでは緊急通報は利用できません。

## 電話を受ける

### 1 電話がかかってくる

- 着信中の画面が表示されます。




着信中の画面
（音声通話）




着信中の画面
（ビデオコール）

### 2 /を表示される円の外側までドラッグ

- 通話が開始されます。

着信拒否する場合

/を表示される円の外側までドラッグします。

着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝える場合

画面下部の「メッセージを送信」を上方向にドラッグし、拒否理由をタップします。

- 拒否理由は変更できます（P.66）。
- 「新しいメッセージを作成」をタップすると、SMSを作成できます。

「伝言メモ」で応答する場合（音声通話のみ）

画面下部の「メッセージを送信」を上方向にドラッグし、「伝言メモ」をタップします。

ビデオコールで自分の映像を相手に送信したくない場合

「自分を非表示」をタップしてから、を表示される円の外側までドラッグします。

ビデオコールを音声通話で受ける場合

を表示される円の外側までドラッグします。

- 音声通話が開始されます。

### 3 通話が終了したら/

**お知らせ**

- 着信中にサイドキー、音量UPキー／音量DOWNキーを押すと、着信音やバイブを停止できます。
- 「通話設定」の「その他の通話設定」（P.65）の「発信者情報を表示」をOFFにすると、着信中の画面の「最近の通話」を非表示にできます。

## アプリ起動中に着信を受ける

アプリの起動中に音声通話の着信があると、ポップアップに着信が表示されます。




着信中の画面

- /をタップすると通話を開始／拒否できます。
- 「メッセージを送信」をタップすると、着信拒否をして相手にSMSで拒否理由を伝えたり、伝言メモで応答したりすることができます。
- 画面をタップすると、全画面表示になります。

## 通話中の操作

**1** 電話がかかってくる
- 着信中の画面が表示されます。

**2** ／を表示される円の外側までドラッグ
- 通話中画面が表示され、通話が開始されます。




音声通話中の画面




ビデオコール通話中の画面

① **高音質表示**

② **メニューアイコン**
タップしてそれぞれの操作を行います。
- 録音／録音を停止：通話を録音できます。
- ビデオコール：ビデオコールに切り替えます。
- Bluetooth：Bluetoothデバイスと接続してハンズフリーで通話します。
- スピーカー：相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
- 消音：自分の声を相手に聞こえないようにします。
- キーパッド／非表示：キーパッドの表示／非表示を切り替えます。キーパッドをタップしてプッシュ信号を送信します。

③ ／
通話を終了します。

④ ／
通話中画面のメニューを表示します（P.62）。

⑤ **自分の画像**
タップすると、自分の画像と相手の画像が入れ替わります。

⑥ **相手の画像**
相手の設定によっては、代替画像が表示されます。

⑦ **カメラ**
自分の画像を相手に送信するかどうかを切り替えます。

⑧ **切替**
相手に送信する映像のカメラを内側／外側で切り替えます。

⑨ **音声通話**
音声通話に切り替えます。

⑩ **消音**
自分の声を相手に聞こえないようにします。

⑪ **スピーカー**
相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。

### お知らせ

- 音声通話中に、相手がビデオコールに切り替えた場合は、ビデオコールへの切り替えを確認するメッセージが表示されます。「承認」をタップするとビデオコール通話中の画面になります。
- ビデオコール通話中にアプリを「電話」アプリから切り替えた場合、相手に映像が送信されなくなります。
- ビデオコール中に「エフェクト」をタップすると、AR絵文字（P.84）やフィルターなどを使用できます。
- をタップすると、画面がロックされ全画面表示になり、タッチ操作ができなくなります。通話を終了するには、をタップして、ロックを解除する必要があります。
- をタップすると、自動フレーミングがONになり、顔や動きを検知し、ズームや方向を自動的に調整します。

## 通話中画面のメニュー

通話中画面で ／ をタップすると以下の項目が表示されます。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 通話を追加※1※2 | 別の相手に電話をかけます。 |
| 通話を保留※1※2 | 通話を保留します。保留中に「通話を再開」をタップすると通話を再開します。 |
| 連絡先を表示／連絡先に追加※2 | 連絡先を表示／連絡先に追加します。 |
| メッセージを送信※3 | メッセージを送信します。 |
| キーパッド※4 | キーパッドを表示します。 |
| Bluetoothデバイスに切り替え／本体に切り替え※4 | Bluetoothデバイスを利用して通話するかどうかを設定します。 |

※1 「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。
※2 音声通話中のみ表示されます。
※3 音声通話中のみ表示されます。接続しているネットワークによって、表示されない場合があります。
※4 ビデオコール通話中のみ表示されます。

**お知らせ**

- 通話相手の声の音量（通話音量）を調節するには、通話中に音量UPキー／音量DOWNキーを押します。
- 音声通話中の画面は、本端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき（ヘッドセットなどを取り付けている場合やスピーカーをONにしている場合を除く）や操作せずにしていると、自動的に消えます。本端末を顔から遠ざけたり、サイドキーを押したりすると、通話中画面を表示できます。

## 通話履歴

**履歴画面では、通話履歴を一覧で確認できます。**

**1 ホーム画面で →「履歴」**

- 履歴画面が表示されます。




履歴画面

① **フィルター**
表示する着信の種類を選択できます。

② **検索**
連絡先を検索します。

③ **名前、電話番号**
- タップすると、発信、メッセージ送信、ビデオコール発信、通話相手との履歴詳細などの確認ができます。
- ロングタッチ →「削除」をタップすると、履歴を削除できます。

④ **履歴の内容**
- 通話履歴の内容（発信／着信／不在着信／ビデオコール）や件数、どれくらい前の履歴か、などが表示されます。

⑤ **切替タブ**
キーパッド、履歴、連絡先の表示を切り替えます。

⑥ **メニュー**
メニューを表示します。

お知らせ

- 不在着信がある場合は ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にスクロール／フリックし、画面の指示に従って操作してください。

## 伝言メモ

**電話に応答できないときに、応答メッセージを流して伝言を録音する伝言メモを設定できます。**

- ビデオコールでは伝言メモは利用できません。

**1** **ホーム画面で → ⋮ →「設定」**

**2** **「伝言メモ設定」→「メッセージで自動応答」**

**3** **「毎回」／「バイブ／サイレント設定中に有効」／「手動」**

- 「応答メッセージを再生するまでの時間」をタップすると応答時間を設定できます。
- 「言語」をタップすると応答メッセージの言語を設定できます。

お知らせ

- 録音された伝言メモがある場合は、通知パネルに通知が表示されます。ステータスバーを下にスクロール／フリックし、「新しい録音メッセージ」をタップすると、伝言メモを確認できます。ホーム画面で → ⋮ →「設定」→「伝言メモ設定」→「録音済み伝言メモ」をタップしても、伝言メモを確認できます。
- 1件あたりの最大録音時間や保存件数については、「主な仕様」（P.143）をご参照ください。

## 国際電話（WORLD CALL）を利用する

**WORLD CALL は国内でドコモの端末からご利用になれる国際電話サービスです。海外での利用については、「海外利用」（P.130）をご参照ください。**

- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されない／正しく表示されないことがあります。この場合、履歴から電話をかけることはできません。

**1 ホーム画面で → 「0」「1」「0」→ 国番号 → 地域番号（市外局番）→ 相手の電話番号を入力**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

**2**

**3 通話が終了したら**

## 通話設定

**ホーム画面で → ⋮ →「設定」をタップすると通話関連機能の設定ができます。**

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク | | |
| | ネットワークサービス | → P.66 |
| | 海外設定 | → P.134 |
| | オフィスリンク設定※1 | オフィスリンクの保留転送、プレフィックスに関する設定を行います。 |
| | 利用者情報の送信 | 利用者情報の送信を行うかどうかを設定します。 |
| 番号指定ブロック | | |
| | ブロックする番号のカテゴリ | ブロックする番号のカテゴリを設定します。 |
| | 電話番号を追加 | 着信とSMSをブロックする電話番号を管理します。 |
| 通話を録音 | | |
| | 録音後に通知を表示 | 通話の録音が完了したときに、通知を受信します。 |
| | 通話の自動録音 | 選択した番号に発着信した通話を自動的に録音します。 |
| | 通話の録音ファイル | 録音したファイル※2が表示されます。 |
| | 古い録音ファイルを削除 | 古い録音ファイルを削除します。 |
| 発着信画面の背景 | | 発着信画面の背景画像を設定します。 |
| 通話通知と着信音 | | |
| | 通話開始時にバイブ | 発信先の相手と通話を開始したときに本端末を振動させるかどうかを設定します。 |
| | 通話終了時にバイブ | 通話終了時に本端末を振動させるかどうかを設定します。 |
| | 通話開始時に音を再生 | 発信時に音を鳴らすかどうかを設定します。 |

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| | 通話終了時に音を再生 | 通話終了時に音を鳴らすかどうかを設定します。 |
| | 通話中にアラーム／通知音を許可 | アラームや通知音を鳴らすかどうかを設定します。 |
| | 着信音 | 着信音を設定します。 |
| | 着信時のバイブ | 着信のバイブパターンを設定します。 |
| | 着信時にバイブ | 着信時にバイブを振動させるかを設定します。 |
| | キーパッドタップ時に音を再生 | ダイヤルキーパッドをタップしたときに操作音を再生します。 |
| | キーパッドタップ時にバイブ | ダイヤルキーパッドをタップしたときにバイブを振動させるかを設定します。 |
| 通話応答／終了 | | |
| | 発信者名を読み上げ | 発信者名を読み上げる条件を設定します。 |
| | 自動応答 | ヘッドセットやBluetoothデバイスが接続された状態で電話がかかってきた場合に、設定した時間が経過すると自動的に応答するかどうかを設定します。 |
| | 音量アップキーを押して着信に応答 | 音量UPキーを押して着信に応答するかどうかを設定します。 |
| | サイドキーを押して通話終了 | サイドキーを押して通話を終了するかどうかを設定します。<br>「サイドキーを押して通話終了」がONの状態で、通話中にスリープモードになった場合は、サイドキーを押してスリープモードを解除してからサイドキーを押すと通話を終了できます。 |
| クイック拒否メッセージ | | → P.66 |
| アプリ使用中の着信画面表示 | | 他のアプリを使用中の着信画面の表示方法を設定します。 |

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| 伝言メモ設定※3 | | |
| | メッセージで自動応答 | → P.63 |
| | 応答メッセージを再生するまでの時間 | → P.63 |
| | 言語 | → P.63 |
| | 録音済み伝言メモ | → P.63 |
| 自動市外局番 | | 電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する局番（エリアコード）を登録できます。 |
| その他の通話設定 | | 番号が未登録の連絡先を非表示などについて設定します。 |
| 権限 | | 電話アプリの権限について確認できます。 |
| 電話アプリについて | | 「電話」アプリについて確認します。 |
| お問い合わせ | | Samsung Membersを利用できます。 |

※1　オフィスリンクは法人のお客様向け内線サービスです。
※2　通話の録音ファイルがあるときのみ表示されます。
※3　ビデオコールではご利用いただけません。

## ネットワークサービスを設定する

**1** ホーム画面で → ⋮ →「設定」→「ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク」→「ネットワークサービス」

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 留守番電話サービス※ | かかってきた電話に応答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。 |
| 転送でんわサービス※ | かかってきた電話に応答できなかったときに、電話を転送するサービスです。 |
| キャッチホン※ | 通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけることができるサービスです。 |
| 発信者番号通知 | 電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を通知します。 |
| 迷惑電話ストップサービス | 相手の番号を登録し、迷惑電話の着信拒否を設定します。 |
| 番号通知お願いサービス | 番号通知お願いサービスを開始／停止します。 |
| 着信通知 | 着信通知を開始／停止します。 |
| 英語ガイダンス | 英語ガイダンスを設定します。 |
| 遠隔操作設定 | 遠隔操作を開始／停止します。 |
| 公共モード（電源OFF）設定 | 電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。 |

※ ビデオコールではご利用いただけません。

## 着信拒否時にSMSで送信する拒否理由を登録する

本端末では、電話の着信を拒否して相手にSMSで拒否理由を伝えることができます。

**1** ホーム画面で → ⋮ →「設定」→「クイック拒否メッセージ」

**2** 拒否メッセージを入力 → ＋

登録済みの拒否メッセージを編集する場合

編集したい拒否メッセージをタップ → 拒否メッセージを編集 →「保存」をタップします。

拒否メッセージを削除する場合

削除したい拒否メッセージの － をタップします。

## 指定した電話番号からの着信やSMSをブロックする

着信やSMSをブロックしたい相手の電話番号を登録したり、番号カテゴリを選択したりできます。

**1** ホーム画面で → ⋮ →「設定」→「番号指定ブロック」

**2** ブロックしたい電話番号を入力 → ＋

- 「ブロックする番号のカテゴリ」→ ブロックしたい番号カテゴリにチェックを付けると、まとめてブロックできます。
- 「履歴」／「連絡先」をタップすると、履歴、連絡先から電話番号を選択して登録できます。

登録済みの電話番号を削除する場合

削除したい電話番号の － をタップします。

# 電話帳

## 電話帳に登録する

ドコモが提供する「ドコモ電話帳」アプリを利用して、名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報の連絡先を管理できます。

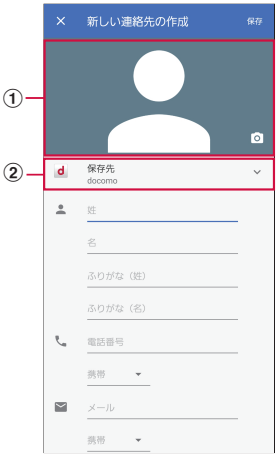
- 電話帳でクラウドサービスをご利用になる際は、「ドコモ電話帳」アプリが必要です。
- 「ドコモ電話帳」アプリを初めて起動する場合（アプリの初期化後を含む）、クラウド機能に関する画面が表示され、設定ができます。

**1** ホーム画面で⊞→「ドコモ電話帳」

- お買い上げ時は、連絡先一覧画面が表示されます。

**2** ＋

- アカウント選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。




連絡先編集画面

① **画像欄**
写真の撮影／選択ができます。

② **保存先**
アカウントを選択できます。

**3** 必要な項目を入力

**4** 「保存」

- 連絡先が表示されない場合は連絡先一覧画面で☰→表示するアカウントをタップして表示の設定を変更します。

## 連絡先の内容を確認／編集する

**1** ホーム画面で⊞→「ドコモ電話帳」



連絡先一覧画面

① **メニュー**
- メニューを表示します。

② **電話帳に設定された写真**

③ **電話帳に登録された名前**

④ **検索**
- 連絡先を検索します。

⑤ **登録**
- 連絡先を登録します（P.67）。

**2** **確認したい連絡先をタップ**
- 連絡先詳細画面が表示されます。
- 連絡先を編集する場合は、✎をタップします。

### 電話帳から電話をかける

**1** **連絡先一覧画面で電話をかけたい相手をタップ**

**2** 📞
- 💬をタップするとメッセージを作成したり、📹をタップするとビデオコールを発信したりすることができます。
- メールアドレスをタップしてアプリを選択するとメールを作成できます。

### 連絡先をお気に入りに追加する

**1** **連絡先詳細画面で☆をタップして、★にする**
- 連絡先一覧画面のインデックスの★に表示されます。

### ラベル（グループ）を追加／編集する

**1** **連絡先一覧画面で☰→「ラベルを作成」**

**2** **アカウントを選択 → ラベル名を入力**

**3** 「OK」

### ラベル（グループ）に連絡先を追加する

**1** **連絡先一覧画面で☰→ 追加したいラベル（グループ）をタップ**

**2** **👤+→ 追加したい連絡先をタップ**
- ラベル（グループ）から連絡先を削除する場合は、削除したい連絡先を含むラベル（グループ）をタップ →⋮→「連絡先を削除」→削除したい連絡先の⊗をタップします。

**お知らせ**
- ラベル（グループ）に追加できる連絡先は、保存先が同じアカウントの連絡先のみです。

## 連絡先をインポート／エクスポートする

nanoSIMカード／ eSIMと本端末の間で連絡先をインポートしたり、連絡先データ（vCard）として送信したりできます。

**1** 連絡先一覧画面で ☰ →「設定」→「インポート」／「エクスポート」

- 画面の指示に従って操作します。

## ドコモ電話帳を設定する

**1** 連絡先一覧画面で ☰ →「設定」

**2** 項目を選択

- 画面の指示に従って操作します。

# メール／ウェブブラウザ

## ドコモメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
送受信したメールはドコモのメールサーバに保存されるので、機種変更時のデータ移行や、本端末紛失時のデータ復旧が簡単に行えます。またdアカウントを利用すれば、タブレットやPCブラウザなど複数のデバイスから同一のメールアドレスを使ってメールの送受信や閲覧が行えます。
ドコモメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/docomo_mail/

**1** ホーム画面で

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

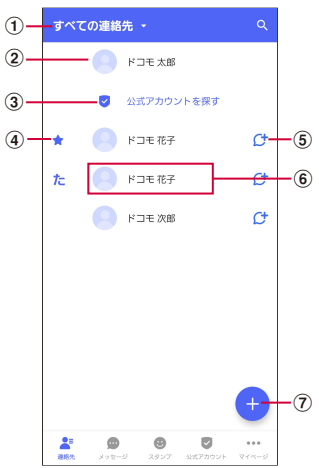
## ＋メッセージ

携帯電話番号を宛先にして、テキストメッセージだけでなく、画像、動画、スタンプ等をチャット形式で送受信できます。また、1対1でのメッセージのやりとりだけではなく、複数人でのグループメッセージのやりとりもできます。
＋メッセージを利用していない相手とは、＋メッセージアプリでショートメッセージサービス（SMS）での送受信をすることができます。
また、公式アカウントを利用することで企業とのメッセージのやりとりを行うことができます。
＋メッセージの詳細については、ホーム画面で「＋メッセージ」→「マイページ」→「ヘルプ」→「使い方ガイド」を参照するか、ドコモのホームページをご覧ください。
https://www.docomo.ne.jp/service/plus_message/

**1** ホーム画面で「＋メッセージ」

- 画面下部のメニューより をタップすると連絡先一覧画面が、 をタップするとメッセージ一覧画面が表示されます。

■連絡先一覧画面




■メッセージ一覧画面



① **切替タブ：**タップすることで、すべての連絡先を表示するか、＋メッセージの利用者（ のアイコンが表示されている連絡先）のみを表示するか、切り替えることができます。
② **マイプロフィール：**お客様の連絡先が表示されています。タップすることでマイプロフィールを表示・編集できます。
③ **公式アカウントを探す：**タップすると公式アカウントストアが表示されます。
④ **お気に入りの連絡先：**お気に入りに設定した連絡先が連絡先一覧の上段、「公式アカウントを探す」の下に表示されます。
⑤ ：＋メッセージを利用している連絡先を表すアイコンです。このアイコンが表示されている連絡先とグループメッセージのやりとりができたり、写真、スタンプ等をやりとりしたりすることができます。
⑥ **連絡先：**タップすることで、連絡先の詳細を確認することができます。
⑦ ：タップすることで連絡先を追加できます。
⑧ **プロフィール画像：**相手のプロフィール画像が表示されます。連絡先に登録されたプロフィール画像より、相手が登録したプロフィールの画像が優先して表示されます。
⑨ **メッセージ：**タップするとメッセージ画面を表示することができます。
⑩ **公式アカウント：**企業が運営しているアカウントです。アイコンが丸囲いの四角で表示されます。
⑪ ：サブメニューを表示します。
- すべて既読：未読メッセージをすべて既読にします。
- メッセージの並べ替え：メッセージの並べ替えを行います。

⑫ ：ドコモの審査を通過したことを示す認証済みマークです。
⑬ ：新しいメッセージと新しいグループメッセージを作成できます。

## メッセージを送信する

**1** ホーム画面で「＋メッセージ」

**2** 画面下部のメニューより「メッセージ」

**3** →「新しいメッセージ／新しいグループメッセージ」
- グループメッセージとは、＋メッセージサービス利用者（連絡先に マークがついている人）複数人でメッセージのやりとりができる機能です。

**4** 宛先を選択
- 連絡先に登録されていない宛先に送信する場合は、「名前や電話番号を入力」をタップし、電話番号を直接入力してください。
- グループメッセージの場合は、宛先を複数選択後、「OK」をタップしてください。

**5** メッセージ入力欄をタップして文字を入力→
- 宛先が＋メッセージ利用者であれば、写真や動画、スタンプを送信できます。




① ：電話アプリが起動し、発信できます。
② ：サブメニューを表示します。
- 連絡先の登録や、通知設定の変更などができます。

③ ：写真やスタンプ、位置情報などを送信するためのシェアトレイを表示します。
- シェアトレイを表示すると、画像送信や音声録音などの機能が使用できます。

④ ：タップするとカメラが起動します。ロングタッチすると、写真が撮影されそのまま送信することができます。
⑤ メッセージ入力欄：メッセージを入力することができます。

⑥ ☺：スタンプ選択画面への切り替え
⑦ ▶：入力したメッセージを送信します。
⑧ 🖼：画像選択画面への切り替え
⑨ Aa：テキスト入力画面への切り替え
⑩ メッセージの配信状態を表示します。
✓✓：相手がメッセージを閲覧済み
- 送受信者両方の「メッセージの既読機能」設定がオンの場合のみ、お互いの既読状態を確認できます。

✓：相手が端末にメッセージを受信済み
（アイコン表示なし）：サーバにメッセージを送信済み
×：メッセージ送信に失敗
⑪ 🎙：音声録音画面への切り替え
⑫ 📍：地図画面への切り替え
⑬ ◦◦◦：連絡先／スケッチ／ファイル共有が選択できます。

**お知らせ**

**ショートメッセージサービス（SMS）についてのお知らせ**

- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます。
- 宛先に“＃”または“✱”がある場合、SMSを送信できません。
- 宛先の電話番号に184／186を付与した場合はSMSを送信できません。

**＋メッセージについてのお知らせ**

- 海外ローミングにより＋メッセージアプリをご利用いただくには、＋メッセージアプリにて海外ローミング時の＋メッセージ利用設定を「オン」に設定していただく必要があります（初期設定は「オフ」に設定されています）。
また、端末のデータローミングの設定を「オン」にしてください。
- 機種変更前、またはMNPによる転入前端末で＋メッセージを利用されていた場合であっても、メッセージの受信を行うには＋メッセージアプリを起動し、＋メッセージ利用規約等に同意いただく必要があります。

## メッセージを読む

送受信したメッセージは、宛先／送信者ごとにスレッドにまとめて表示されます。

1 ホーム画面で「＋メッセージ」
2 画面下部のメニューより「メッセージ」→読みたいメッセージのスレッドを選択
- メッセージを返信する際に使用する各機能については、「メッセージを送信する」のキャプチャ記載ページをご参照ください。

## メッセージを転送する

1 ホーム画面で「＋メッセージ」
2 画面下部のメニューより「メッセージ」→スレッドを選択
3 転送するメッセージをロングタッチ→
4 宛先を選択し、メッセージを入力→

## メッセージを削除する

1 ホーム画面で「＋メッセージ」
2 画面下部のメニューより「メッセージ」→スレッドを選択
3 削除するメッセージをロングタッチ→🗑→「削除」
- 本端末上のメッセージのみ削除され、相手側のメッセージは削除されません。なお、削除したメッセージは元に戻すことができません。
- 画像選択時等、ごみ箱アイコンが表示されない場合があります。その場合は、⋮→「削除」→「削除」をタップしてください。

## スレッドを削除する

1 ホーム画面で「＋メッセージ」
2 画面下部のメニューより「メッセージ」→削除するスレッドをロングタッチ
3 🗑→「削除」
- グループメッセージのスレッドを削除すると、グループから退出されます。

## ＋メッセージの設定を変更する

1 ホーム画面で「＋メッセージ」
2 画面下部のメニューより「マイページ」→「設定」
3 項目を選択

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| メッセージ | メッセージに関する設定や、バックアップ・復元などができます。 |
| 公式アカウント | 公式アカウントの通知音設定ができます。 |
| 写真や動画 | 送受信時の写真や動画などの添付ファイルなどに関する設定ができます。 |
| テーマカラー・背景 | テーマカラーやメッセージ画面の背景が設定できます。 |
| 通知 | 通知に関する設定ができます。 |
| プライバシー | パスコードやブロックなどが設定できます。 |
| その他 | ユーザー情報引き継ぎの設定や＋メッセージサービスの初期化などができます。 |

## 公式アカウント機能を利用する

1 ホーム画面で「＋メッセージ」
2 画面下部のメニューより「公式アカウント」
3 「公式アカウント」画面にて利用したいアカウントをタップ
4 「利用規約に同意し、この公式アカウントを利用します」のチェックボックスをタップ
5 「利用する」

# Eメール

一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPなどに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

## Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。
- 設定するEメールアカウントによって、手順や画面左上のアイコンが異なります。

1 ホーム画面で⊞→「Microsoft」→「Outlook」
- 画面の指示に従ってアカウントを追加してください。

## Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で⊞→「Microsoft」→「Outlook」

2 
- Eメール作成画面が表示されます。

3 「宛先」欄に送信先のメールアドレスを入力
- CC／BCCを追加する場合は、∨をタップしてCC欄またはBCC欄にアドレスを入力します。

4 「件名」欄に件名を入力

5 本文欄に本文を入力

6 

**お知らせ**

- パソコンや他の端末とEメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなどの内容が正しく表示されない場合があります。

## 受信したEメールを確認する

1 ホーム画面で⊞→「Microsoft」→「Outlook」

2 受信メール一覧を下にスライド

3 確認したいEメールをタップ
- 本文画面が表示されます。

**お知らせ**

- →⚙→「通知」でEメールの通知について設定できます。
- 本文画面で送信元をタップして「連絡先に追加」をタップすると、メールアドレスを連絡先に登録したりできます。
- データが添付されている場合はEメール一覧画面に📎が表示されます。ファイル名をタップすると添付データを確認できます。
- 「フィルター」をタップすると、表示するメールのフィルタリングができます。
- 🔍をタップすると、メールの検索ができます。
- 📅をタップすると、予定の作成ができます。
- 本文画面で⋮をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

## Eメールの設定を変更する

### アカウント設定

1 ホーム画面で⊞→「Microsoft」→「Outlook」

2 →⚙→設定したいアカウントをタップ

3 設定したい項目をタップ

### 基本設定

1 ホーム画面で⊞→「Microsoft」→「Outlook」

2 →⚙

3 設定したい項目をタップ

お知らせ

- 「連絡先の同期」をタップすると、連絡先アプリと同期するかどうかを設定できます。
- Outlookの詳細については、→ をタップして、「ヘルプとフィードバック」をご覧ください。

## Gmail

**Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。**

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です（P.31）。メールアドレスの設定画面が表示された場合、画面の指示に従って設定を行ってから操作してください。
- Gmailの詳細については、Gmailの画面で ≡ →「ヘルプとフィードバック」をタップしてご覧ください。

### Gmailを開く

**1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」**

- Gmailの新機能に関する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

**2 読みたいメールをタップ**

- 選択したメールの内容が表示されます。

### Gmailを作成して送信する

**1 ホーム画面で「Google」→「Gmail」**

**2**

- メール作成画面が表示されます。

**3 各項目を入力 →**

## 緊急速報「エリアメール」

**エリアメールは、気象庁が配信する緊急地震速報、津波警報、国・地方公共団体が配信する災害・避難情報を、回線混雑の影響を受けずに受信できるサービスです。**

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェアアップデート中
  - PINコード入力画面表示中
  - 音声通話中（VoLTE音声通話中を除く）

### 緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、内容通知画面が表示され、専用ブザー音または専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

- 専用ブザー音および専用着信音は変更できません。

**1** エリアメールを自動的に受信する

**2** 受信すると専用ブザー音または専用着信音が鳴り、ステータスバーにアイコンが表示され、エリアメールの本文が表示される

### 受信したエリアメールをあとで確認する

**1** ホーム画面で⊞→「ツール」→「災害用キット」

**2** 「緊急速報「エリアメール」」→「エリアメール」→エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択

### エリアメールを削除する

**1** ホーム画面で⊞→「ツール」→「災害用キット」

**2** 「緊急速報「エリアメール」」→「エリアメール」→エリアメール一覧から、任意のエリアメールをロングタッチ

**3** 「削除」→「削除」

# ウェブブラウザ

## ウェブブラウザを使用する

ブラウザアプリを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でブラウザを利用できます。
- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

### ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面で
- ウェブページが表示されます。

**お知らせ**

- アドレスバーやアイコンが表示されていない場合は、画面を下にフリック／スワイプすると表示されます。
- ブラウザ画面では、ピンチアウト／ピンチイン操作で画面の拡大／縮小、スクロール／フリック操作で画面のスクロール、ロングタッチ操作でテキストのコピーなどができます。

### 新しいタブを開く

1 ホーム画面で
2 ① → ＋
3 ウェブサイトを表示

### シークレットタブを開く

ブラウザの履歴や検索履歴を残さずに、ブラウザの閲覧ができます。

1 ホーム画面で
2 ⋮ →「新しいシークレットタブ」
3 ウェブサイトを表示

**お知らせ**

- シークレットモードをOFFにする場合、① → ① をタップします。
- シークレットモードで閲覧中の画面は通常モードと色が異なります。
- シークレットタブで閲覧したウェブページは、閲覧履歴や検索履歴に表示されません。また、Cookieは本端末に保存されません。ただし、シークレットタブで閲覧中にダウンロードしたファイルやブックマークなどは保存されます。

## 履歴やブックマークを管理する

### 履歴からウェブページを表示する

1 ホーム画面で
2 ⋮ →「履歴」
3 表示したいウェブページをタップ

### ウェブページをブックマークに追加する

1 ホーム画面で
2 ブックマークに追加するウェブページを表示
3 ⋮ → ☆

### ブックマークからウェブページを表示する

1 ホーム画面で
2 ⋮ →「ブックマーク」
- ブックマークの一覧が表示されます。

3 表示したいウェブページをタップ

### ブックマーク／履歴のメニュー

ブックマーク／履歴をロングタッチすると画面上部にメニューが表示されます。画面の指示に従って操作してください。

## ウェブブラウザを設定する

1 ホーム画面で
2 ⋮ →「設定」
3 設定したい項目をタップ

# カメラ／ギャラリー

## カメラ

### カメラをご利用になる前に

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見えたり、暗く見えたりする点や線が存在する場合があります。また、特に光量が不足している場所での撮影では、白い線やランダムな色の点などのノイズが発生しやすくなりますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラを起動したとき、画面に縞模様が出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- カメラで撮影した静止画や動画は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影するときは、本端末が動かないようにしっかり手で持って撮影してください。撮影時に本端末が動くと、撮影画像がぶれる原因になります。
- 撮影するときは、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- カメラ利用時は電池の消費が多くなります。電池残量が少ない状態で撮影を行った場合、画面が暗くなったり、撮影画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- 静止画の連続撮影や動画の長時間撮影など、カメラを長時間起動していると本端末が温かくなり、カメラが自動的に終了することがありますが、故障ではありません。しばらく時間をおいてからご使用ください。
- 広角レンズを使用することで写真や動画に歪みが出ることがありますが、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- マナーモード（バイブ、サイレント）設定中でも静止画撮影のシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴りますのでご注意ください。

**著作権・肖像権について**

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

### 撮影画面の見かた

**1** ホーム画面で「カメラ」

- 位置情報タグに関する画面が表示された場合は、内容を確認して画面に従って操作してください。
- 設定の状況によって、表示されるアイコンが異なります。




静止画撮影画面

① **設定**
- タップすると、設定メニューが表示されます。 → P.80

② **フラッシュ設定**
- フラッシュをOFF／自動／ONに切り替えます。

③ **タイマー**
- セルフタイマーを設定します。

④ **縦横比**
- 画面表示の縦横比を変更できます。

⑤ **モーションフォト**
- モーションフォト（写真を撮影する前の短いシーンのビデオクリップを撮影できます。）のON／OFFを切り替えます。

⑥ **フィルター**
- 撮影の際にフィルターや美肌効果が利用できます。

⑦ **カメラズーム**
- ズーム倍率を切り替えます。ズームはリアカメラでのみ利用可能です。
- 撮影する画像サイズによって、切り替えができない場合があります。

⑧ **カメラモードの切替** → P.81

⑨ **サムネイル**
- タップすると、ギャラリーが起動します。

⑩ **シャッター（静止画撮影）ボタン** → P.79

⑪ **リアカメラとフロントカメラの切替**
- 自分撮りができます。
- 撮影画面で上下にフリックしても切り替えられます。

**お知らせ**
- 撮影画面をタップすると、フォーカスアイコンと明るさ調整バーが表示されます。
- 自分撮りの画面で をタップすると、ワイド自分撮りで自分撮りができます。
- サイドキーを2回押してもカメラを起動できます。
- カメラを起動した状態で何も操作しないまま一定の時間が経過すると、カメラは終了します。
- カメラアプリの一部の機能は、フロントカメラでは利用できない場合があります。

## 静止画の撮影

**1 ホーム画面で「カメラ」**

**2 被写体にカメラを向ける**
- ディスプレイ上でピンチアウト／ピンチインするとズーム調節できます。

**3**
- シャッター音が鳴り、撮影されます。
- 撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 撮影時に をUSB端子側にスワイプしてロングタッチすると、最大で100枚の写真を連続撮影することができます。
- をロングタッチすると、動画撮影ができます。手を離すと録画は終了します。
- をロングタッチし、 にドラッグするとカメラモードを「動画」に切り替えて動画撮影を継続できます。

**お知らせ**
- 音量UPキー／音量DOWNキーを押しても静止画を撮影できます。
- フロントカメラでの撮影画面で をタップする代わりに、手のひらをフロントカメラに向けても、静止画撮影ができます。

## 動画の撮影

**1 ホーム画面で「カメラ」**

**2 「動画」**
- 撮影画面で左にフリックしても切り替えられます。
- をタップするとスーパー手振れ補正のON／OFFができます。

**3 被写体にカメラを向ける →**
- 開始音が鳴り、動画撮影が始まります。
- ディスプレイ上でピンチアウト／ピンチインするとズーム調節できます。
- 動画撮影中に をタップすると、静止画も撮影できます。
- 撮影を一時停止するには をタップします。一時停止中に をタップすると、撮影を再開できます。

**4 撮影を停止するときは、**
- 終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

**お知らせ**
- 動画を撮影する前に、ストレージに十分な空きがあることを確認してください。
- 音量UPキー／音量DOWNキーを押しても動画を撮影／停止できます。

## カメラの設定

**1** ホーム画面で「カメラ」

**2** ⚙

- カメラモードにより設定できない項目があります。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| シーン別に最適化 | 「シーン別に最適化」ボタンを撮影画面に表示するかどうかなどを設定します。→ P.83 |
| 撮影ガイド | 写真をまっすぐきれいに撮影できるように、オンスクリーンガイドを表示します。→ P.83 |
| QRコードをスキャン | QRコードをスキャンするかどうかを設定します。 |
| シャッターボタンをスワイプ | シャッター（静止画撮影）ボタンをUSB端子側にスワイプしてロングタッチするときの操作を設定します。<br>• 「GIFを作成」を選択すると、USB端子側にスワイプしてロングタッチしている間のGIF動画を作成できます。 |
| 透かし | 画面に透かしを追加するかなどを設定します。 |
| 画像の拡張オプション | HEIF形式で撮影したり、プロモードで保存したりできます。 |
| プレビュー通りに自分撮りを保存 | 自分撮りの画像や動画を反転させずにプレビュー通りに保存します。 |
| 自動FPS | フレームレートを自動的に最適化させて暗い場所で明るい動画を撮影できます。 |
| 動画手振れ補正 | 動画撮影時の手振れ補正機能のON／OFFを設定します。 |
| 動画の拡張オプション | 動画の撮影方法、保存方法、録音方法について設定できます。 |
| 追尾オートフォーカス | 撮影画面で選択した被写体を追尾してフォーカスを合わせ続けます。 |
| グリッドライン | 撮影位置を決めるためのグリッドを表示します。 |
| 位置情報タグ | 位置情報を付加するかどうかを設定します。<br>• GPSの電波を正しく受信するため、受信しにくい場所での使用は避けてください。→ P.91<br>• 撮影した静止画をインターネットにアップロードすると、意図しない第三者からも付加された位置情報を確認される場合があります。位置情報が漏れるのを防ぐには、OFFに設定してください。 |
| 撮影方法 | シャッターボタンを使用する以外での撮影方法を設定できます。 |
| 設定を保持 | カメラを前回使用時と同じカメラモードなどで起動するかどうかを設定します。 |
| タッチ操作バイブ | 撮影時などに本端末を振動させるかどうかを設定します。 |
| プライバシーに関する注意 | プライバシー保護について確認します。 |
| 権限 | カメラアプリの権限を確認します。 |
| 設定をリセット | カメラの設定をリセットします。 |
| カメラについて | カメラアプリのバージョンを確認します。 |
| お問い合わせ | Samsung Membersを利用できます。 |

**3** 設定が終了したら、く

**お知らせ**

- 以下の場合は追尾オートフォーカス機能が動作しない場合があります。
  - 被写体が大きすぎる、小さすぎる場合
  - 被写体が極端に動きすぎる場合
  - 逆光、暗い場所で撮影している場合
  - 被写体の色やパターンと背景が同じ場合
  - 被写体に日よけのように水平なパターンが含まれる場合
  - 極端にカメラが揺れている場合
  - 動画の解像度が高い場合
  - 光学ズームを使ってズームイン、ズームアウトしている場合
- カメラモードによっては、HEVC形式で撮影や保存ができない場合があります。

## カメラモードを切り替える

**1** ホーム画面で「カメラ」

**2** カメラモードを選択

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| ポートレート | | 背景をぼかした写真などのエフェクト撮影ができます。→ P.83 |
| 写真 | | 色合いや明るさを最適化するように露光を自動調整して撮影します。 |
| 動画 | | 動画を撮影します。 → P.79 |
| その他 | | |
| | BIXBY VISION | Bixby Visionが利用できます。 → P.82 |
| | ARゾーン | AR機能が利用できます。 → P.84 |
| | EXPERT RAW | プロ向けカメラアプリ「EXPERT RAW」が利用できます（初回ダウンロードが必要です）。 |
| | プロ | ISO感度、露出値、およびシャッタースピードなどを手動で調整します。 |
| | プロ動画 | ISO 感度、露出値などを調整して動画を撮影します。また、マイクの収音方向を選択して高音質な録音もできます。<br>• 本端末にUSBやBluetoothでマイクが接続されている場合は、これらのマイクを使用した録音もできます。 |
| | ナイト | 非常に暗い場所でも明るい写真を撮影できます。撮影画面の右下の秒数をタップすると、鮮明に撮影できる条件を選択できます。<br>• ズーム倍率「1.0x」未満を利用時、撮影状況により、明るさや色の再現で十分な結果が得られないことがあります。 |
| | 食事 | 強調する領域を指定したり色調を変更して写真を撮影します。 |
| | パノラマ | 水平または垂直の方向に本端末を動かしてパノラマ写真を撮影します。<br>• ガイドから白枠がずれないように、本端末を一方向にゆっくりと動かしてください。<br>• 被写体の背景が無地の壁や虚空などの場合は、正しく撮影できないことがあります。 |
| | スーパースローモーション | スーパースローモーションで再生できる動画を撮影します。 → P.84 |
| | スローモーション | スローモーションで再生できる動画を撮影します。 |
| | ハイパーラプス | さまざまな速度で録画して、オリジナルのタイムラプス動画を作成します。録画するシーンや本端末の動きに応じて、速度を自動的に調整することもできます。<br>• が表示されていると、夜間撮影用のタイムラプス動画が作成できます。 |
| | ポートレート動画 | 背景をぼかした動画などのエフェクト撮影ができます。→ P.83 |
| | ディレクターズビュー | 一度に、カメラを切り替えて様々な角度で動画を撮影できます。→ P.84 |
| | シングルテイク | シングルテイクで撮影します。→ P.81 |

## シングルテイクで撮影する

一度の撮影で、さまざまな静止画や動画が自動生成されます。

**1** ホーム画面で「カメラ」

**2** 「その他」→「シングルテイク」

**3** をタップし、カメラを動かして撮影する
- 自動的に撮影が停止します。

**4** サムネイルをタップ
- 生成されたさまざまな撮影結果を確認します。

**お知らせ**

- をタップすると、シングルテイクの撮影でどのタイプの結果を表示させるか（撮影オプション）を選択できます。
- 選択した撮影オプションや周囲の撮影環境によっては、意図した結果が得られない場合があります。

## Bixby Visionを利用する

Bixby Visionでは認識した画像を元に関連情報などを表示できます。

**1** ホーム画面で「カメラ」

**2** 「その他」→「BIXBY VISION」

- Bixby Vision画面で⋮→「設定」をタップし、Bixby Visionで認識させる対象をあらかじめ選んでください。

**3** モードを選ぶ

**4** 対象にカメラを向ける

- 関連情報が表示されます。

### Bixby Visionを設定する

**1** ホーム画面で「カメラ」

**2** 「その他」→「BIXBY VISION」

**3** ⋮→「設定」

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| ユーザー補助モード | シーンの説明、テキストの読み上げ、色の検出などのモードを追加します。 |
| モード | 認識させるモードを設定します。 |
| アプリ画面にBixby Visionを表示 | Bixby Visionのアイコンをアプリ画面に追加します。 |
| キャプチャボタンを表示 | 対象物やテキストなどを検出するキャプチャボタンを表示するかどうか設定します。 |
| プライバシーに関する注意 | プライバシーに関する注意が表示されます。 |
| 提携会社のプライバシーポリシー | 各サービスのプライバシーポリシーを確認します。 |
| 権限 | BIXBY VISIONに関する権限を確認できます。 |
| Bixby Visionについて | Bixby Visionのバージョンなどを確認します。 |

**お知らせ**

- 本機能を使用するにはネットワーク接続が必要です。
- 👁をタップすると、ギャラリーなどの画像に対してBixby Visionを利用できます。
- 画像のサイズやフォーマット、解像度などによっては、本機能が利用できなかったり、検索結果が得られない場合があります。

### ライブ翻訳を利用する

**1** Bixby Vision 画面で「翻訳」

**2** 翻訳したい対象が認識領域に入るようにカメラを向ける

**3** 画面上で翻訳元言語と翻訳先言語を選択する

- 翻訳したい対象の文字が翻訳されて表示されます。

## ポートレートで撮影する

背景をぼかして静止画を撮影できます。ポートレートはフロントカメラでも利用できます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「ポートレート」

3 → 調整バーで背景ぼかしなどを調節
- 調整バーのアイコンをタップすると、ぼかし以外のエフェクトを利用できます。

4 撮影する
- 撮影した静止画は自動的に保存されます。

**お知らせ**

- 本端末と被写体を離して撮影してください。
- 十分な光がある場所で撮影してください。
- ポートレートで撮影した画像は「ギャラリー」で「バックグラウンドエフェクトを変更」をタップすると、撮影後に背景のぼかしなどのエフェクトを変更できます。
- 以下の場合は背景のぼかしが適用されない場合があります。
  - 本端末や被写体が動いている場合
  - 被写体が薄いまたは透明である場合
  - 被写体が背景と同じ色である場合
  - 被写体や背景が平らである場合

## ポートレート動画で撮影する

被写体の人物の背景にエフェクトをかけて動画を撮影できます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「その他」→「ポートレート動画」

3 → 調整バーで背景ぼかしなどを調節
- 調整バーのアイコンをタップすると、ぼかし以外のエフェクトを利用できます。

4 撮影する
- 撮影した動画は自動的に保存されます。

**お知らせ**

- 本端末と被写体を離して撮影してください。
- 十分な光がある場所で撮影してください。
- 以下の場合は背景のぼかしが適用されない場合があります。
  - 本端末や被写体が動いている場合
  - 被写体が薄いまたは透明である場合
  - 被写体が背景と同じ色である場合
  - 被写体や背景が平らである場合

## インテリジェント機能を利用する

### シーン別に最適化を利用する

カメラが自動的に撮影対象を検出し、写真の色設定を自動的に調整し最適な写真を撮影できます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 撮影画面で →「シーン別に最適化」→

**お知らせ**

- 「シーン別に最適化」のアイコンは検出した撮影対象に応じたアイコンが表示されます。
- 本機能はカメラモードが「写真」の場合のみ有効です。
- テキストが認識され、撮影画面に が表示された場合は、 →「保存」をタップすると、正面から見たような歪みのないキャプチャを撮影できます。

### 撮影ガイドを利用する

写真をまっすぐきれいに撮影できるように、オンスクリーンガイドを表示します。

1 ホーム画面で「カメラ」

2

3 「撮影ガイド」→ く

4 をベストショットの に合わせる
- ガイドが黄色くなります。

5 撮影する

**お知らせ**

- 本機能はカメラモードが「写真」の場合のみ有効です。

## スーパースローモーションで撮影する

スーパースローモーションでは、見逃したくない瞬間をスローモーションで撮影することができます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「その他」→「スーパースローモーション」

3 
- をタップしてにすると、撮影対象が検出領域で検出され、自動的にスーパースローモーションで撮影されます。検出領域をドラッグすると、領域を移動したり領域のサイズを変更できます。

**お知らせ**

- 十分な光がある場所で撮影してください。十分な光がない屋内で撮影した場合は、次のような撮影結果になる場合があります。
  - 光が少ないことにより画面が暗くなる
  - 蛍光灯のような光の下で撮影することにより、画面がちらつく
  - ノイズが発生する
- 撮影中に本端末が動いた場合は、意図しない瞬間が認識され、スーパースローモーションとして撮影されることがあります。
- 撮影方法でを選択した場合は、下記の状態になっていると意図しない瞬間が認識され、スーパースローモーションとして撮影されることがあります。
  - 本端末が動いた時
  - 四角い枠の内側で、撮影したい対象の近くで他の物体が動いている場合
  - 蛍光灯などちらつく光の下で撮影する場合

### 撮影した動画をアニメーションGIFまたはMP4で保存する

1 ホーム画面で「ギャラリー」

2 スーパースローモーション動画を選択

3 画面を上にドラッグ

4 「おすすめの編集」から保存したい動画を選択

5 「保存」→「GIF」／「MP4」→「OK」
- 動画がアニメーションGIFまたはMP4として保存されます。

**お知らせ**

- アニメーションGIFの解像度は元の動画より低下する場合があります。

## ディレクターズビューで撮影する

一度に、カメラを切り替えて様々な角度で動画を撮影できます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「その他」→「ディレクターズビュー」

3 サムネイルからカメラを選択

4 
- 録画中にカメラを切り替えることもできます。

5 ■

**お知らせ**

- をタップしてが表示された状態で撮影すると、フロントカメラとリアカメラの映像を別々に保存できます。

## ARゾーンを利用する

AR絵文字やAR手描きなどのAR機能が利用できます。

### AR絵文字を編集する

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「その他」→「ARゾーン」→「AR絵文字スタジオ」
- 画面の指示に従ってAR絵文字を編集します。

### AR絵文字を作成する

顔を認識させてAR絵文字を作成し、「ギャラリー」などで利用できます。作成した絵文字は顔の動きを認識して動きます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「その他」→「ARゾーン」→「AR絵文字カメラ」

3 
- 画面の指示に従ってAR絵文字を作成します。

### AR絵文字スタンプを作成する

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「その他」→「ARゾーン」→「AR絵文字スタンプ」
- 画面の指示に従ってAR絵文字スタンプを作成します。

**お知らせ**
- 「AR絵文字スタンプ」画面で ⋮ →「編集」→削除するスタンプを選択 →「削除」→「削除」とタップすると、作成したAR絵文字スタンプを削除できます。

### AR手描きを利用する

認識させた人物や空間上の物体に追従させながら、手描きで書くことができ、その様子を動画でも撮影できます。

1 ホーム画面で「カメラ」

2 「その他」→「ARゾーン」→「AR手描き」

3 ⏺

4 手描きで描画する

5 ■
- 手描きで描画した動画が保存されます。

**お知らせ**
- リアカメラで利用するには、別途AR用のアプリのインストールが必要です。

## ギャラリー

本端末などに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。

1 ホーム画面で「ギャラリー」
- 撮影日別に並んだデータの一覧画面が表示されます。
- ⋮ をタップすると、各データの一覧画面の機能メニューを表示したりすることができます。
- ☰ をタップすると、カテゴリ別に表示できたり、アルバムを共有したり、ギャラリーの設定などができます。

2 データをタップ
- 🗑 →「ごみ箱に移動」をタップするとデータがごみ箱に移動され、一定期間後にデータは完全に削除されます。

### 静止画を表示する

1 データの一覧画面で表示する静止画をタップ
- 静止画が表示されます。
- データを切り替えるには画面を左右にスクロールします。

**お知らせ**
- 静止画の表示画面で画面を上にフリックすると、データの詳細を確認できます。

### 静止画を編集する

1 データの一覧画面で編集する静止画をタップ
- データを切り替えるには画面を左右にスクロールします。

2 ✎
- フォトエディターを使用して様々な静止画の編集ができます。
- ⋮をタップすると、その他の編集機能を利用できます。

## 動画を再生する

**1 データの一覧画面で再生する動画をタップ**

- 動画が再生されます。
- データを切り替えるには画面を左右にスクロールします。

**お知らせ**

- 動画の表示画面で画面を上にフリックすると、データの詳細を確認できます。

## 動画を編集する

動画のトリミングや、効果の追加、キャプションの追加などができます。

**1 データの一覧画面で編集する動画をタップ**

- データを切り替えるには画面を左右にスクロールします。

**2 ⋮ →「動画プレーヤーで開く」**

**3 ⋮ →「エディター」**

- 画面の指示に従って動画を編集します。

**お知らせ**

- データの一覧画面で編集する動画をロングタッチ →「作成」→「ムービー」をタップすると、簡単な動画の編集ができます。

# アプリ

## dメニュー

dメニューは、ドコモのさまざまなコンテンツやサービスに簡単にアクセスすることができるポータルサイトです。

**1 ホーム画面で「dメニュー」**

- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

※ ご利用時には、「サイトご利用にあたって」をご確認ください。
http://smt.docomo.ne.jp/portal/src/terms.html

## Playストア

Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です（P.31）。

### アプリをインストールする

**1 ホーム画面で「Playストア」**

**2 ダウンロードしたいアプリを検索し、タップ → 詳細を確認**

**3 無料アプリの場合は「インストール」、有料アプリの場合は金額欄をタップ → 画面の指示に従って操作**

お知らせ

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- お客様がPlayストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。
- アプリによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。
- Google Playの詳細については、Playストアの画面でGoogleアカウントのアイコン→「ヘルプとフィードバック」をタップしてご覧ください。
- アプリの自動更新の設定はGoogleアカウントのアイコン→「設定」からできます。
- アプリのアンインストールについては、「アプリのアンインストール」（P.48）をご参照ください。

## Galaxy Store

Galaxy Storeを利用して、おすすめの豊富なアプリをダウンロードすることができます。

### Galaxy Storeに接続する

1 ホーム画面で⊞→「Galaxy Store」

2 利用したいアプリを検索してダウンロード

**お知らせ**

- Galaxy Storeは国や地域によってはご利用になれない場合があります。詳細については、パソコンからGalaxy Storeサイト内のサポートページをご覧ください。

## おサイフケータイ

**お店などの読み取り機に、おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使える「おサイフケータイ対応サービス」がご利用いただける機能です。**

**電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。**

**おサイフケータイの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。**

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。

※ おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

## 「おサイフケータイ対応サービス」の利用方法

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ アプリよりサービスを設定してください。

**1** ホーム画面で⊞→「ツール」→「おサイフケータイ」
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

**2** 利用したいサービスをタップ

**3** サービスに関する設定を行う
- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

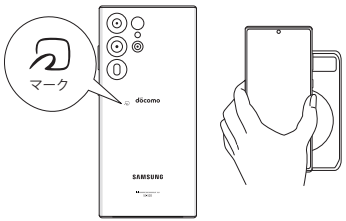
**4** マークを読み取り機にかざす

**お知らせ**

- 本端末の電源を切っていても利用できますが、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- 本端末の省電力モード設定（P.117）やデータセーバー設定（P.101）にかかわらず、おサイフケータイ対応のアプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- 本端末の電源を入れた後、再起動後およびソフトウェアアップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- spモード以外での通信において、ご利用のおサイフケータイ対応サービスによっては一部機能がご利用になれない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
  なお、ahamoプランはspモードに対応しておりません。

## 対向機にかざす際の注意事項

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことにご注意ください。




- マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

## おサイフケータイの機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。NFC／おサイフケータイのロックは、SIMカードロックとは異なります。

**1** ホーム画面で ⊞ →「ツール」→「おサイフケータイ」

**2** 🔓 →「NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF」

- 本機能のロックは画面ロックと連動され、ロック設定／解除時パスワードを設定する必要はありません。
- ロックを解除する場合は、🔒 →「NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF」をタップします。

**お知らせ**

- 「NFC／おサイフケータイ ロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF」がOFFにできなくなりますので、電池残量にご注意ください。電源が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF」をOFFにしてください。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」ご利用中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、「NFC／おサイフケータイ ロック ON／OFF」をOFFにしてください。
- My docomoで設定したおまかせロックの場合はMy docomoアプリで解除してください。おまかせロック設定時には、ステータスバーに が表示されます。

## iDアプリ

**「iD」とは、ドコモが提供する電子マネーです。「iD」を設定したおサイフケータイをお店の読み取り機にかざしてショッピングができます。**

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDアプリ等で設定を行う必要があります。発行の方法、ご利用にかかる費用等については、各カード会社にお問い合わせください。
- iDに関する情報については、iDのホームページ（https://id-credit.com/）をご覧ください。

# GPS ／ナビ

## 位置情報を有効にする

位置情報を利用するアプリを使用するには、あらかじめGPS機能をONにしておく必要があります。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「位置情報」

**2** ◯→「同意する」

### GPSのご利用にあたって

- システムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状態が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害するおそれがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。

**■ 受信しにくい場所**

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- 地下やトンネル、地中、水中
- 鞄や箱の中
- ビル街や住宅密集地
- 密集した樹木の中や下
- 高圧線の近く
- 自動車、電車などの室内
- 大雨、雪などの悪天候
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合

## Googleマップを利用する

Googleマップを利用して、現在地や別の場所を検索したり、目的地への道案内情報を取得したりできます。

- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（5G ／ 4G ／ GSM）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。

### Googleマップを開く

**1** ホーム画面で「Google」→「マップ」
- メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

**2** 検索ボックスに地名などを入力

# 時計

アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。

**1** ホーム画面で⊞→「ツール」→「時計」

**2** 画面下部のタブをタップ
- 各機能の画面に切り替わります。

## アラームを利用する

**1** 「アラーム」画面で＋→各項目を設定→「保存」
- 時／分の数字をタップするとテンキーが表示されます。

**2** アラームを止めるには、⊗を表示される円の外側までドラッグ
- スヌーズをONにした場合は、「スヌーズ」をタップすると設定した時間経過後に再度アラームが鳴動します。
- 「時計」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップしてください。

**お知らせ**
- スヌーズとは、いったんアラームを止めてもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。
- 登録したアラームを削除するには、「アラーム」画面で削除するアラームをロングタッチ→「削除」をタップします。
- 登録したアラームをOFFにするには、◉をタップして○にします。

## 世界時計を利用する

登録した都市の日付と時刻と時差を一覧で確認できます。

**1** 「世界時計」画面で＋→表示される地図上の都市をタップ→「追加」
- 現在地から都市を登録する場合は、◎→都市をタップします。

**お知らせ**
- 「都市を追加」画面で🔍→検索ボックスに検索したい都市名または国名を入力すると、都市名／国名で検索することができます。
- 登録した都市を削除するには、「世界時計」画面で削除する都市をロングタッチ→「削除」をタップします。
- ⋮→「タイムゾーンコンバーター」をタップすると、タイムゾーンコンバーターが利用できます。

## ストップウォッチを利用する

**1** 「ストップウォッチ」画面で「開始」
- 測定が開始されます。
- ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。

**2** 測定を止めるには「停止」
- 測定を再開するには「再開」、測定をやり直すには「リセット」をタップします。

## タイマーを利用する

**1** 「タイマー」画面で時間、分、秒を設定
- 時間／分／秒の数字をタップするとテンキーが表示されます。

**2** 「開始」
- タイマーが開始されます。

**3** タイムアップ通知音を止めるには、⊗を表示される円の外側までドラッグ
- 「時計」ウィンドウが表示された場合は、「解除」をタップしてください。
- 「リスタート」をタップすると、同じ設定でタイマーがリスタートします。

**お知らせ**
- タイマー画面で⋮→「プリセットタイマーを追加」をタップすると、よく使用する時間のプリセットタイマーを追加できます。
- タイマー画面で⋮→「設定」をタップすると、タイマーについて設定できます。

## カレンダー

カレンダーを表示してイベントを登録できます。

**1** ホーム画面で⊞→「Samsung」→「カレンダー」

**2** ＋
- イベントを登録する日をダブルタップしても操作できます。




イベント登録画面

**3** 項目を設定→「保存」

## Samsung Notes

テキストを入力したり、絵を描いたりしてノートを作成できます。画像やPDFをノートに追加したり、その上にメモを書いたりして保存することもできます。

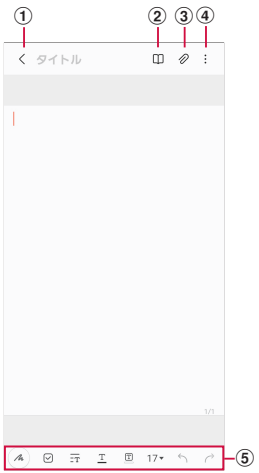
### ノートを作成する

**1** ホーム画面で⊞→「Samsung」→「Samsung Notes」
- 一覧画面が表示されます。

**2**

**3** ノート作成→＜

■編集画面

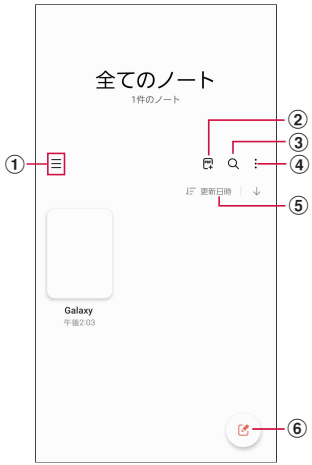



編集画面

① 一覧画面を表示
② 閲覧モード
③ ファイル挿入
- 画像データや音声データ、オーディオファイルなどを添付します。

④ メニュー
⑤ ツールバー

■一覧画面




一覧画面

① ノートの表示形式を変更
② PDFの読み込み
③ ノート内を検索
④ メニュー
⑤ 並び替え
⑥ ノートを作成

## ノートを編集する

**1** 一覧画面で編集したいノートをタップ→
- 編集画面が表示されます。

**2** ノートを編集→〈
- 編集したノートが保存されます。

## メモを書きながら音声を録音する

**1** 編集画面で 📎→「音声録音ファイル」
- 録音が開始されます。

**2** ■
- 録音が終了します。

**3** 〈→▶
- 録音ファイルが再生されます。
- 再生中にメモの任意の場所をタップすると、その録音した部分に移動できます。

# ボイスレコーダー

## 音声を録音する

**1** ホーム画面で⊞→「Samsung」→「ボイスレコーダー」

**2** ●
- 録音が開始されます。
- 録音モードは、「標準」／「インタビュー」／「音声ーテキスト変換」をタップして切り替えます。

**3** ■
- 録音が停止します。ファイル名を入力し「保存」をタップすると、録音した内容が保存されます。

## 音声を再生する

**1** ホーム画面で⊞→「Samsung」→「ボイスレコーダー」

**2** 「リスト」
- 録音したデータの一覧画面が表示されます。

**3** 再生したいデータをタップ
- 音声が再生されます。

## ボイスレコーダーのメニュー

録音画面、録音したデータの一覧画面／再生画面で⋮をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

# 電卓

四則演算（+、−、×、÷）やパーセント計算、関数計算などができます。

**1** ホーム画面で⊞→「ツール」→「電卓」
- 画面の自動回転がONの状態で本端末を横向きにすると、関数電卓に切り替わります。また、画面の自動回転がOFFの状態でも、関をタップすることで、関数電卓に切り替えることができます。
- 単をタップすると、単位コンバーターが使用できます。

## ドコモデータコピー

**「ドコモデータコピー」は、本端末に保存されているデータを他の端末へコピーするためのアプリです。**

**機種変更時のデータ移行にご利用ください。**

- 機種やOS、ファイルの種類によっては、正しくコピーができない場合があります。
- コピー対象の電話帳は、docomoおよび本体のアカウントとして登録されている電話帳です。
- 電池残量が不足しているとコピーが実行できない場合があります。
- ドコモデータコピーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 本端末は「バックアップ＆復元」機能は非対応です。

### データ移行

インターネットを使用しない1対1のダイレクト通信を利用して、電話帳、画像などのデータを移行先の端末へ直接コピーすることができます。
コピー元端末とコピー先端末の両方で「データコピー」を起動し、2台並べた状態で利用してください。

**1 ホーム画面で⊞→「ツール」→「データコピー」→「データ移行」**

- 画面の指示に従って操作してください。
- コピー元端末とコピー先端末の両方に本アプリが必要です。インストールされていない場合、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

# 本体設定

## 設定メニュー

**1** ホーム画面で⊞→「設定」

**2** メニュー項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| Samsungアカウント | Samsungアカウント情報が表示されます。 |
| 接続 | → P.98 |
| 接続デバイス | → P.103 |
| モードとルーチン | → P.104 |
| サウンドとバイブ | → P.104 |
| 通知 | → P.106 |
| ディスプレイ | → P.106 |
| 壁紙とスタイル | → P.107 |
| テーマ | → P.108 |
| ロック画面 | → P.108 |
| セキュリティおよびプライバシー | → P.109 |
| 位置情報 | → P.91 |
| 安全および緊急 | → P.113 |
| アカウントとバックアップ | → P.114 |
| ドコモのサービス／クラウド | → P.115 |
| Google | → P.115 |
| 便利な機能 | → P.35 |
| デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロール | → P.116 |
| バッテリーとデバイスケア | → P.116 |
| アプリ | → P.118 |
| 一般管理 | → P.118 |
| ユーザー補助 | → P.119 |
| ソフトウェア更新 | → P.121 |
| ヒント | → P.122 |
| 端末情報 | → P.122 |

**お知らせ**

- 🔍をタップして検索したいキーワードを検索ボックスに入力すると、本体設定内を検索し、設定内容を確認できます。

## 接続

**1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」**

**2 項目を選択して設定を行う**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| Wi-Fi | → P.98 |
| Bluetooth | → P.125 |
| NFC／おサイフケータイ設定 | → P.100 |
| ウルトラワイドバンド（UWB）（SC-52Dのみ） | ウルトラワイドバンドを使用するかどうかを設定します。<br>• 機内モードをONにすると本機能はOFFになります。 |
| 機内モード | → P.100 |
| SIMマネージャー | → P.26 |
| モバイルネットワーク | → P.101 |
| データ使用量 | → P.101 |
| テザリング | → P.102 |
| その他の接続設定 | → P.103 |

## Wi-Fi

本端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

### ■ Bluetooth機能との電波干渉について

本端末の無線LANとBluetooth機能は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、無線LANとBluetooth機能を近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. 無線LANとBluetoothデバイスは、約20m以上離してください。
2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスの電源を切ってください。

**お知らせ**

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に5G／4G／GSMネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用になる場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- インターネット接続がされないネットワークに接続している、またはユーザー認証が必要なWi-Fiネットワークに接続し、ユーザー認証が未成立の場合 が表示され、Wi-Fiではなく、モバイルネットワークで通信が行われる場合があります。このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、以下のことを行ってください。
  - インターネット接続がされないネットワークの場合：「モバイルデータに切り替え」をOFF（P.99）
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合はdアカウントの設定が必要です。ホーム画面で⊞→「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」→「dアカウント設定」をタップして設定します。

### ■ Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する

**1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」**

**2**

- 接続可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

**3 接続したいWi-Fiネットワークをタップ→「接続」**

- セキュリティで保護されているWi-Fiネットワークに接続する場合は、パスワードを入力し、「接続」をタップします。
- 「自動再接続」をONにすると、Wi-Fiを有効にしたときに自動的にそのネットワークに接続されます。

**お知らせ**

- 一度接続したWi-Fiネットワークのパスワードは自動的に保存され、次回の接続時の入力は不要になります。
- Wi-Fiネットワークにうまく接続できない場合は、Wi-Fi機器かルーターを再起動させてください。
- をタップして接続したいネットワークのQRコードをスキャンすると、パスワードの入力なしに接続できます。

■ Wi-Fiネットワークの設定を削除する

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 接続中のWi-Fiネットワークの⚙→「削除」

お知らせ

- Wi-Fi ネットワークの設定を削除すると、Wi-Fi ネットワークのパスワードも削除され、次回の接続時に入力が必要です。

■ Wi-Fiアクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、本端末のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、ホーム画面で⊞→「設定」→「端末情報」→「ステータス情報」の「端末のWi-Fi MACアドレス」で確認できます。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 「ネットワークを追加」

3 ネットワーク名を入力→セキュリティを設定

4 パスワードを入力→「保存」

■ Wi-Fiの詳細設定を行う

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 ⋮→「詳細設定」

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| Samsungクラウドと同期 | Samsungクラウドと同期するかどうかを設定します。 |
| ネットワークを管理 | 保存されたWi-Fiネットワークを表示します。 |
| Wi-FiのON／OFF切り替え履歴 | 最近Wi-FiをON／OFFにしたアプリを表示します。 |
| Hotspot 2.0 | Wi-Fiアクセスポイントを設定することなく、Hotspot 2.0対応のWi-Fiアクセスポイントのエリアになったときに、Hotspot 2.0対応のWi-Fiアクセスポイントへ自動的に接続させるかどうかを設定します。 |
| ネットワーク証明書をインストール | ネットワーク証明書のインストールを行います。 |

■ Intelligent Wi-Fiの設定を行う

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」

2 ⋮→「Intelligent Wi-Fi」

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| モバイルデータに切り替え | Wi-Fi接続が低速または不安定な場合、モバイルデータ通信に切り替えるかどうかを設定します。 |
| より最適なWi-Fiネットワークに切り替え | より高速で安定したWi-Fiネットワークに自動的に切り替えるかどうかを設定します。 |
| 自動的にWi-FiのON／OFFを切り替え | Wi-Fiを頻繁に使用する場所でWi-Fiが自動的にONになるようにするかなどを設定します。 |
| ネットワークの品質情報を表示 | 利用可能なWi-Fiネットワークのリストにネットワークの品質情報を表示します。 |
| リアルタイムデータを優先 | ネットワークをゲームなど遅延の影響が大きいものから優先して使用するかどうか設定します。 |
| 不審なネットワークを検出 | Wi-Fiネットワークで不審な動作が検出されたときに通知を受信するかどうかを設定します。 |
| Wi-Fi省電力モード | Wi-Fiのトラフィックパターンを分析して、バッテリー使用量を削減します。 |
| 自動Wi-Fiテザリング接続 | 自動Wi-Fiテザリング接続を利用できます。本機能を利用するにはSamsungアカウントへのサインインが必要です。 |
| Intelligent Wi-Fi | Intelligent Wi-Fiのバージョンが表示されます。 |

■ 静的IPアドレスを使用する
静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本端末を設定できます。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」
2 接続するWi-Fiネットワークをタップ→「さらに表示」
3 「IP設定」欄をタップ→「静的」
4 必要な項目を設定
5 「接続」

■ Wi-Fi Directを利用する
Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続し、データのやりとりができます。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」
2 ⋮→「Wi-Fi Direct」
3 検索されたデバイス名をタップ
- 検索されたデバイス側で接続を承認すると、Wi-Fi Directで接続されます。

■ Wi-Fi Directの接続を解除する

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「Wi-Fi」
2 ⋮→「Wi-Fi Direct」
3 接続を解除するデバイス名をタップ

## NFC／おサイフケータイ 設定

おサイフケータイの機能をロックしたり、モバイル決済やNFCタグの読み取り／書き込みを行うことができます。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「NFC／おサイフケータイ 設定」
2 項目を設定

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| NFC／おサイフケータイロックON／OFF | NFC／おサイフケータイの機能をロックします。 |
| 非接触型決済 | 使用する決済サービスの選択ができます。 |

お知らせ
- 決済サービスアプリを新規にインストールしたり更新した場合は以前に使用していた決済サービスが正常に動かないことがあります。その場合はホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「NFC／おサイフケータイ 設定」→「非接触型決済」から使用する決済サービスの選択状態を確認してください。

## 機内モード

すべてのワイヤレス接続を無効にします。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「機内モード」
2 ○

お知らせ
- 通知パネルで✈をタップしても設定を切り替えることができます。
- 「機内モード」を有効にするとWi-FiやBluetoothなどの機能がOFFになりますが、機内モード中に再びONにすることができます。

## モバイルネットワーク

インターネットに接続するためのアクセスポイント（docomo）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。

■利用中のアクセスポイントを確認する

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「APN」

■アクセスポイントを追加で設定する

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「APN」→「追加」

**2** 「名前」→作成するネットワークプロファイルの名前を入力→「OK」

**3** 「APN」→アクセスポイント名を入力→「OK」

**4** その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

- 「携帯国番号」を440、「通信事業者コード」を10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

**5** ⋮→「保存」

**お知らせ**

- 携帯国番号、通信事業者コードの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、アクセスポイントを初期化するか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

■アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、初期状態に戻ります。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「APN」

**2** ⋮→「初期値にリセット」→「リセット」

**お知らせ**

- 本端末のバッテリー残量が15%未満になると、バッテリーを節約するために5GがOFFになります。この設定はホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「バッテリー残量低下時にLTEに切り替え」で変更できます。

## データ使用量

モバイルデータ通信の有効／無効の設定や、データ使用量の上限などを設定します。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「データ使用量」

- データ使用量画面が表示されます。
- 「モバイルデータ」をONにすると、モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- 「モバイルデータ使用量」をタップすると期間ごとやアプリごとのモバイルデータ使用量（目安）が表示されます。⚙をタップするとモバイルデータ使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は、「データ制限を設定」をONにしているときのみ設定できます。

バックグラウンドデータを制限する場合

データ使用量画面で「データセーバー」→ をタップすると、アプリが自動的に行うモバイルデータ通信を制限できます。

**お知らせ**

- 表示されるデータ通信量は目安であり、実際の通信量とは異なる場合があります。
  - ahamo プラン以外をご契約のお客様
    ご利用のデータ通信量は My docomo からご確認いただけます。
  - ahamo プランをご契約のお客様
    ご利用のデータ通信量は ahamo のホームページからご確認いただけます。
- データ使用量が指定の上限に達した場合は、モバイルデータ通信が一時停止されますのでご注意ください。モバイルデータ通信を再開するには、ポップアップ画面で、「再開」をタップするか、データ使用量の上限の設定値を変更してください。
- 「データセーバー」をONに設定している場合は、テザリング機能を利用できません。

## テザリングを利用する

テザリングとは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、無線LAN対応機器、USB対応機器、Bluetooth対応機器をインターネットに接続させる機能です。

- Wi-Fiテザリングをご利用の場合は最大10台、USBテザリングをご利用の場合は1台、Bluetoothテザリングをご利用の場合は最大3台の機器を同時接続できます。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

### ■ Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をインターネットアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに同時接続させることができます。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

**2** ○

### ■ Wi-Fiテザリングのアクセスポイントを設定する

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「テザリング」→「Wi-Fiテザリング」

**2** 「設定」

**3** 各項目を設定→「保存」

### ■ Bluetoothテザリングを設定する

本端末をインターネットアクセスポイントとして利用し、Bluetooth対応機器をインターネットに同時接続させることができます。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「テザリング」→「Bluetoothテザリング」

**お知らせ**

- Bluetoothテザリング機能を利用するには本端末を検出可能にする必要があります。詳細については、「Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする」（P.125）をご参照ください。

### ■ USBテザリングを設定する

本端末とパソコンをUSBケーブルA to C 02（別売）で接続し、インターネットに接続することができます。

**1** 本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブルA to CのType-Cプラグを差し込む

- 接続方法については、「USBケーブルA to Cで接続する」（P.127）をご参照ください。

**2** パソコンのUSBコネクタに、USBケーブルA to CのUSBプラグを差し込む

**3** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「テザリング」→「USBテザリング」

**お知らせ**

- USBテザリング中は本端末内をパソコンから参照できません。
- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。なお、OSのアップグレードや追加／変更した環境での動作は保証いたしかねます。
  - Windows 10
  - Windows 11

## VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

VPN（Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

- 本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

### ■ VPNを追加する

1. ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「その他の接続設定」→「VPN」
2. ⋮→「VPNプロファイルを追加」
3. ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定
4. 「保存」

### ■ VPNに接続する

1. ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「その他の接続設定」→「VPN」
2. 接続したいVPNをタップ
3. 必要な認証情報を入力→「接続」

### ■ VPNを切断する

1. 通知パネルを開く→VPN接続中を示す通知をタップ
   - 画面の指示に従って操作してください。

## 接続デバイス

1. ホーム画面で⊞→「設定」→「接続デバイス」
2. 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| クイック共有 | 近くのユーザーが本端末にファイルを送信できるようにするかどうかを設定します。 |
| イヤホンを自動切り替え | Galaxy Buds（市販品）を使用するときの設定を行います。 |
| 他のデバイスでアプリを続行 | 同一のWi-Fiネットワークおよび Samsungアカウントでサインインしている他の端末で、アプリを引き継いで使用することができます。 |
| Windowsにリンク | 本端末をPCに接続してリンクするかどうかを設定します（P.127）。<br>※ 本機能を利用するには、Microsoftアカウントが必要です。 |
| マルチコントロール | 本端末からマルチコントロールに対応する機器に接続されたマウスとキーボードなどを操作できます。 |
| Samsung DeX | Samsung DeXと接続できます。 |
| Smart View | 本端末と対応機器をWi-Fi接続して、テレビやディスプレイなどに本端末の画面やコンテンツを表示します。 |
| Galaxy Wearable | Galaxy Wearableを使用するときの設定をします。 |
| SmartThings | SmartThingsに対応するデバイスを管理できます。 |
| Android Auto | Android Autoを利用できます。 |

## モードとルーチン

### モードを利用する

各モードの選択と、そのモードが実行される条件を設定できます。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「モードとルーチン」→「モード」

**2** モードを選択
- 「モードを追加」をタップすると、モードを作成できます。

**3** 画面の指示に従って設定

### ルーチンを利用する

よく行う操作を、条件を指定してルーチンとして自動的に行うように設定できます。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「モードとルーチン」→「ルーチン」

**2** ＋

**3** 条件を追加
- 画面の指示に従って条件を追加します。

**4** 実行内容を追加
- 画面の指示に従って実行内容を追加します。

**5** 「保存」→「完了」
- 画面の指示に従ってルーチン名を入力します。
- ルーチンが作成されます。

**お知らせ**

- 実行中のルーチンは通知パネルで確認できます。通知パネルで「停止」をタップすると、ルーチンを停止できます。
- ⋮→「設定」をタップすると、ルーチンの設定ができます。
- 普段の行動に基づいて自動的にルーチンを開始するにはSamsungアカウントへのサインインが必要です。

## サウンドとバイブ

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「サウンドとバイブ」

**2** 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| サウンドモード | サウンド、バイブ、サイレントから選択します。 |
| 着信時にバイブ | → P.105 |
| 着信音 | → P.105 |
| 通知音 | → P.105 |
| システムサウンド | サウンドテーマを設定します。 |
| 音量 | → P.105 |
| 着信時のバイブ | → P.105 |
| 通知時のバイブ | → P.105 |
| システムバイブ | システムバイブとタッチ操作バイブについて設定できます。 |
| バイブの強度設定 | 音声着信時や通知時などのバイブの強弱を調節します。 |
| 音質とエフェクト | お好みの音質にカスタマイズできます。 |
| アプリサウンドの出力デバイスを設定 | 選択したアプリのメディアサウンドを、別のオーディオデバイスで再生します。 |

## マナーモードを設定する

マナーモード（バイブ、サイレント）に設定すると、着信音や通知音などが鳴らなくなります。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「サウンドとバイブ」

2 「バイブ」／「サイレント」

**お知らせ**

- マナーモード（バイブ、サイレント）設定中に「音量」の「着信音」（P.105）を変更すると、マナーモード（バイブ、サイレント）が解除されます。
- マナーモード（バイブ、サイレント）設定中でも、着信音や各種通知音を除く音（動画再生、音楽の再生、シャッター音など）は消音されません。
- サイレント設定中は「一時的に消音」をONにすると、直前に設定していた「サウンド」／「バイブ」に戻るまでの消音時間を設定できます。

## 各種音量を調節する

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「サウンドとバイブ」→「音量」
- 音量バーが表示されます。

2 各音量の●を左右にドラッグ

■ 音量UPキー／音量DOWNキーで音量を調節する

1 ホーム画面などで音量UPキー／音量DOWNキーを押す

**お知らせ**

- 「音量キーでメディアを調整」をONにすると、メディアを再生していない場合でも、音量UPキー／音量DOWNキーでメディアの音量を調整できます。

## 着信／通知を音や振動で知らせる

電話着信時や通知時に鳴らす着信音／通知音などが設定できます。

■ 着信音を設定する

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「サウンドとバイブ」→「着信音」

2 設定したい電話着信音をタップ
- 「サイレント」を選択すると、電話着信音は鳴りません。
- ＋をタップすると、着信音を追加できます。

■ 通知音を設定する

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「サウンドとバイブ」→「通知音」

2 設定したい通知音をタップ
- 「サイレント」を選択すると、通知音は鳴りません。

■ バイブのパターンを設定する

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「サウンドとバイブ」

2 「着信時のバイブ」／「通知時のバイブ」

3 設定したいバイブパターンをタップ

**お知らせ**

- マナーモード（バイブ、サイレント）が設定されていないときに「着信時にバイブ」をONにすると、着信時に着信音とバイブが鳴動します。「着信時にバイブ」をOFFにすると、着信音のみ鳴ります。

## 通知

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「通知」

**2** 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| アプリの通知 | 通知の送信を許可するアプリを選択します。 |
| ロック画面の通知 | ロック画面での通知に関する設定ができます。 |
| 通知ポップアップのスタイル | 通知ポップアップのスタイルを「概要」、「詳細」から選択できます。<br>・「概要」を選ぶと、より詳細な設定ができます。 |
| 通知をミュート | 選択した例外を除いて、着信および通知を消音にします。 |
| 詳細設定 | 通知に関する詳細設定ができます。 |

## ディスプレイ

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「ディスプレイ」

**2** 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| ダークモード設定 | 夜間でも快適に使用できるように、目に優しい暗いテーマを使用します。<br>・一部のアプリでは反映されない場合があります。<br>・ダークモードへの切り替えは通知パネルからもできます。 |
| 明るさ | →P.107 |
| 明るさ自動調整 | 周囲の明るさに合わせて画面の明るさを自動的に調整します。 |
| 動きの滑らかさ | 画面のリフレッシュレートを変更してよりスムーズなスクロール操作などができます。 |
| 目の保護モード | 画面から発するブルーライトの量を制限します。<br>・HDR形式の動画を見る場合は、目の保護モードは適用されません。 |
| 画面モード | 画面のコントラストやホワイトバランスを設定します。<br>→P.107 |
| 文字サイズとフォントスタイル | 文字サイズやフォントスタイルなどを変更できます。 |
| 画面のズーム | 画面のズームを変更できます。 |
| 画面の解像度（SC-52Dのみ） | 画面の解像度を設定します。 |
| 全画面アプリ | 全画面で表示するアプリを選択します。 |
| カメラ領域 | カメラ領域をバーで覆って隠すかどうかを設定します。 |
| 画面のタイムアウト | 画面の表示が消えるまでの時間を設定します。<br>・設定時間が近づくと画面が少し暗くなります。 |
| かんたんモード | シンプルなホーム画面レイアウトと大きなアイコンを使用するかんたんモードにします。<br>・ホームアプリが「docomo LIVE UX」の場合は、画面のズームと文字サイズのみ大きくなります。 |
| エッジパネル | エッジパネルの設定をします。→P.57 |

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| ナビゲーションバー | → P.34 |
| 誤操作を防止 | 本端末がポケットやバッグの中などにあるときに、画面のタッチ操作を検出しないようにします。 |
| タッチ感度 | 保護フィルム使用時の画面のタッチ感度を向上させます。 |
| 充電情報を表示 | Always On DisplayがOFF、または表示されていないときに、バッテリー残量と充電完了までの推定時間を表示します。 |
| スクリーンセーバー | 充電中に表示するスクリーンセーバーのON／OFF、種類を設定します。 |

## ディスプレイの明るさを調整する

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「ディスプレイ」

2 「明るさ」の●を左右にドラッグ

## 画面のホワイトバランスを調整する

画面の色を詳細に調整できます。

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「ディスプレイ」→「画面モード」

2 「ホワイトバランス」の▭を左右にドラッグ

- 「画面モード」が「鮮やか」のときにのみ調整できます。
- 「目の保護モード」がONの間は調整ができません。
- 「鮮やか」モードは一部のアプリでは適用されない場合があります。
- 「詳細設定」をタップすると、赤、緑、青の色ごとに、より詳細にホワイトバランスを調整できます。

## 壁紙とスタイル

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「壁紙とスタイル」

2 「壁紙を変更」

3 設定したい壁紙を選択

4 画面の指示に従って設定

**お知らせ**

- 手順3で、「Galaxy Themes」をタップすると、Galaxy Themesから壁紙をダウンロードできます。
- 「ダークモードがONの場合、壁紙を暗くする」をONにすると、壁紙にダークモードが適用できます（P.106）。
- 「カラーパレット」をタップすると、アプリのボタンなどの色を変更できます。

## テーマ

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「テーマ」
2 「テーマ」／「壁紙」／「アイコン」／「AOD」
3 設定したいテーマなどを選択
4 画面の指示に従って設定

## ロック画面

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「ロック画面」
2 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 画面ロックの種類 | → P.109 |
| Smart Lock | 承認済みの場所やデバイスが検出されると、自動的にモバイル端末のロックが解除されます。<br>・ あらかじめ認証操作が必要なロック解除方法を設定する必要があります。 |
| 安全ロック設定※ | 自動初期化、サイドキーですぐにロックなど安全ロック機能を設定します。 |
| ロック画面 | イラストをタップすると、時計のスタイル、自分の連絡先情報、ショートカット、通知などロック画面に表示される項目を設定できます。 |
| ウィジェット | イラストをタップすると、ロック画面に表示されるウィジェットの設定ができます。 |
| 長押しして編集 | ロック画面で画面をロングタッチしたときに、ロック画面に表示される項目を編集できるかどうかを設定します。 |
| Always On Display | → P.39 |
| ローミング時計 | ロック画面およびAlways On Displayで、ローミング時に、現在地の都市とホーム都市のタイムゾーンを両方表示するかどうかを設定します。 |
| ロック画面について | ロック画面のバージョンやオープンソースライセンスを確認します。 |

※「画面ロックの種類」によって表示が異なります。

## 画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいた画面ロックの解除方法をタッチスクリーンで入力しなければならないように設定できます。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「ロック画面」→「画面ロックの種類」

**2** 画面ロックの解除方法を選択 → 画面の指示に従って入力

**お知らせ**

- 画面ロックをOFFにするには、ホーム画面で⊞→「設定」→「ロック画面」→「画面ロックの種類」→ 設定した解除方法を入力 →「なし」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力に一定回数失敗するごとに、再度実行するようメッセージが表示されます。詳細は画面の表示をご確認ください。
- PINやパスワードを忘れた場合は、パソコンからSmartThings Findのホームページにアクセスし、「ロック解除」を実行すると画面ロックを解除できます。本機能は本端末がWi-FiまたはモバイルネットワークにSamsungアカウントが設定されている場合に利用できます。詳細については、SmartThings Findのホームページをご参照ください。→P.113
- Samsungアカウントが設定されていない状態で画面のロック解除方法を忘れると、本端末を初期化するまで本端末が使えません。このことに関して当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## セキュリティおよびプライバシー

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」

**2** 項目を選択して設定を行う

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| ロック画面 | | |
| | 画面ロック | →P.109 |
| | 指紋認証 | →P.111 |
| アカウント | | |
| | Samsungアカウントのセキュリティおよびプライバシー | Samsungアカウントのセキュリティおよびプライバシーを設定します。 |
| | Googleアカウントのセキュリティ | Googleによるセキュリティ診断を行います。 |
| 端末リモート追跡 | | → P.113 |
| アプリのセキュリティ | | |
| | デバイスを保護 | →P.117 |
| | Google Playプロテクト | Google Playプロテクトの設定をします。 |
| 更新 | | |
| | セキュリティ更新 | セキュリティの更新状態を確認できます。 |
| | Google Play システムアップデート※1 | Google Playシステムの更新状態を確認したり、更新があるかをチェックしたりできます。 |
| プライバシー | | |
| | 過去24時間で使用された権限 | 各権限の使用履歴を確認できます。 |
| | 全ての権限を表示 | 権限の使用状況を確認できます。 |
| | 権限マネージャー | アプリの権限を設定します。 |
| | カメラへのアクセス | アプリにカメラの使用を許可するかどうかを設定します。 |
| | マイクへのアクセス | アプリにマイクの使用を許可するかどうかを設定します。 |

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| | クリップボードにアクセスしたときに通知 | コピーしたテキスト、画像などにアプリがアクセスすると通知を受信するかどうかを設定します。 |
| | その他のプライバシー設定 | SamsungやGoogleのプライバシー設定を行います。 |
| 生体認証 | | |
| | 顔認証 | →P.111 |
| | 指紋認証 | →P.111 |
| | ロック解除の切り替え効果を表示 | 生体認証で画面ロックの解除を行うときに、切り替え効果を表示するかどうかを設定します。 |
| | 生体認証でのロック解除について | 生体認証でのロック解除について確認します。 |
| Samsung Pass | | →P.112 |
| セキュリティフォルダ※2 | | プライベートなコンテンツなどをロックしてセキュリティを強化します。 |
| Private Share | | 有効期限を設定して、受信者がファイルの再共有が出来ないセキュアな方法でファイル共有ができます。 |
| 不明なアプリをインストール | | 提供元不明なアプリのインストールを許可します。 |
| その他のセキュリティ設定 | | |
| | SIMカードロック設定 | →P.32 |
| | パスワードを表示 | パスワードの入力画面で、入力した文字を一時的に表示させるかどうかを設定します。 |
| | デバイス管理アプリ | デバイス管理アプリを有効にするかどうかを設定します。 |
| | セキュリティ証明書を表示 | セキュリティ証明書を表示します。 |
| | ユーザー証明書 | ユーザー証明書を表示します。 |
| | ストレージからインストール※3 | ストレージから証明書をインストールします。 |
| | 証明書を消去 | すべての証明書を消去します。 |

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| | 証明書の管理アプリ | 証明書の管理アプリについて設定します。 |
| | 信頼エージェント※4 | 信頼できる端末が接続されると、選択した操作を実行します。 |
| | アプリを固定 | 本端末の画面に特定のアプリを固定できるようにするかどうかを設定します。 |
| | Galaxyシステムアプリの更新 | Samsungから提供される更新を自動的にインストールします。 |
| | セキュリティポリシーを更新 | セキュリティポリシーを更新して本端末のセキュリティを向上させます。 |

※1 Googleアカウントを設定している場合のみ表示されます。
※2 セキュリティフォルダのロック解除方法を忘れた場合は、Samsungアカウントを使用してロックをリセットできます。
※3 インストールした証明書を削除する場合は、「証明書を消去」をタップし、認証情報ストレージから削除する必要があります。「証明書を消去」では認証情報ストレージ内のすべての証明書が削除されます。
※4 「画面ロックの種類」（P.109）によって表示が異なります。

## 顔認証

所有者の顔を認識して本端末のロック解除ができます。

### ■ 顔認証利用時の注意事項

- 双子などの見た目が似ている他の人でもロック解除ができる場合があります。
- 顔認証の安全性は他の認証方法よりも劣ります。

### ■ 顔登録時の注意事項

- 登録の際は、眼鏡、帽子、マスクの着用、ひげや化粧の濃さなどの状態をよく確認してください。
- 薄暗い環境やカメラのレンズが汚れたまま登録しないでください。
- 認識の成功率を高めるために、画像がぼやけていないことを確認してください。

### 顔認証機能を設定する

■ 顔を登録する

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」→「生体認証」→「顔認証」

- 認証操作が必要なロック解除方法を設定している場合は、認証操作後に手順3へ進みます。

**2** 「続行」→画面のロック解除方法を設定

- 画面ロックの解除方法については、「画面ロックの解除方法を設定する」（P.109）をご参照ください。

**3** 以降、画面の指示に従って顔を登録

■ 顔データを削除する

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」→「生体認証」→「顔認証」

- 顔認証を保護するセキュリティを解除します。

**2** 「顔データを削除」→「削除」

### 顔認証を行う

**1** ロック画面／顔認証中の画面で、顔がフロントカメラの前になるように本端末を持つ

**お知らせ**

- 本端末のロック解除に顔認証を使用しない場合は、ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」→「生体認証」→「顔認証」で「顔認証ロック解除」をOFFにします。
- 画面をスワイプして、顔登録時に登録したロック解除方法を使用しても、画面ロックを解除することができます。

## 指紋認証

指紋認証機能は、指紋センサーに指を当てて行う認証操作です。

### ■ 指紋認証利用時の注意事項

- 画面保護フィルムを使用する場合、指紋センサーに対応した製品であることを確認してください。
- ディスプレイに市販の画面保護フィルムを貼り付けると、指紋認証に失敗する場合があります。
- 本機能は指紋の特徴情報を認証に利用するためのものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で複数回の読み取りが必要です。異なる指で登録を行わないでください。
- 認証性能（正しく指を当てた際に指紋が認証される性能）は、お客様の使用状況により異なります。手が乾燥しているなど、指の状態によっては指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。その場合、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
- 指紋の登録や認証の際は、画面上の指紋センサーに指を置き、振動したら指を離し、これを繰り返します。指紋の端までキャプチャできるように毎回指の位置を変えてください。
- 指を曲げたり、指先だけで指紋センサーに触れたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 指の当て方が弱かったり指の離し方が速すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。できるだけ指紋の渦の中心を指紋センサーの中心に当ててください。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。異なる2つの指紋を指紋センサーが誤認識する可能性は非常に低いですが、特徴が非常に似た異なる指紋を同一の指紋と認識することがあります。当社では本端末を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

### ■ 指紋センサー利用時の注意事項

- 指紋センサー表面や操作する指先に汚れが付着した場合は誤動作の原因となります。柔らかい布で汚れを取り除いてご使用ください。また、水分により指先がふやけた場合でも、誤動作の原因となる場合があります。
- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、指紋センサー表面をひっかいたり、ペン先など先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 爪やストラップの金具など硬いものを押し付けると、指紋センサー表面に傷が付くことがあります。
- 泥などで指紋センサー表面が汚れたり、表面に傷が付いたりすると、故障および破損の原因となることがあります。

- ほこりや皮脂などの汚れなどが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下することがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が解消されることがあります。

## 指紋認証機能を設定する

指紋を登録したり、利用する機能を設定します。

■ 指紋を登録する

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」→「生体認証」→「指紋認証」
- 認証操作が必要なロック解除方法を設定している場合は、認証操作後に手順3へ進みます。

**2** 「続行」→ 画面のロック解除方法を設定
- 画面ロックの解除方法については、「画面ロックの解除方法を設定する」(P.109) をご参照ください。

**3** 以降、画面の指示に従って指紋を登録

■ 指紋を削除する

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」→「生体認証」→「指紋認証」
- 指紋認証を保護するセキュリティを解除します。

**2** 削除する指紋をロングタッチ →「削除」→「削除」

## 指紋認証を行う

**1** 指紋認証画面が表示されたら、指紋センサー全体を覆うように指を置く
- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、もう一度認証操作を行ってください。

**お知らせ**

- 本端末のロック解除に指紋認証を使用しない場合は、ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」→「生体認証」→「指紋認証」で「指紋ロック解除」をOFFにします。
- 画面をスワイプして、指紋登録時に登録したロック解除方法を使用しても、画面ロックを解除することができます。
- 認証回数に一定回数失敗すると、再度実行するようメッセージが表示されます。詳細は画面の表示をご確認ください。

# Samsung Pass

Samsung Passを使うと生体認証を使ってアプリなどで簡単にサインインできます。
- Samsung Passを利用するにはSamsungアカウントへのサインインが必要です。
- Samsung Passを使ったサインインは一部のアプリのみ対応しています。またいくつかのウェブページは本機能に対応していない場合があります。

## Samsung Passを設定する

■ Samsung Passに各生体認証を登録する

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」→「Samsung Pass」
- 各生体認証を保護するセキュリティを解除します。

**2** 以降、画面の指示に従って設定

■ Samsung Passの設定をする

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」→「Samsung Pass」
- Samsung Pass設定時の生体認証（指紋認証）を使用してユーザー認証を行います。

**2** 各項目を設定

■ Samsung Passを使用する

**1** サインインが必要なウェブページを開く

**2** IDやパスワードを入力し、サインインする

**3** 以降、画面の指示に従って設定
- Samsung Passにログインに必要なIDやパスワードが保存され、次回から入力せずにログインできます。

## 端末リモート追跡について

遠隔操作で端末の追跡や管理をします。
- 端末リモート追跡を利用するには、Samsungアカウントの設定が必要です。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「セキュリティおよびプライバシー」→「端末リモート追跡」

**2** 「この端末の捜索を許可」
- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のSamsungアカウントがある場合は、サインインしてください。→P.31

**3** パソコンで端末リモート追跡のホームページを開く
- 詳細については以下のホームページをご覧ください。
  https://smartthingsfind.samsung.com

**4** Samsungアカウントでサインイン後、画面の指示に従って設定を行う

## 安全および緊急

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「安全および緊急」

**2** 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 医療情報 | 医療情報を設定します。 |
| 緊急連絡先 | 緊急連絡先を設定します。 |
| 緊急SOS | 緊急通報などについて設定します。 |
| 緊急時共有 | 緊急時に助けが必要であるときの設定を行います。 |
| 緊急位置情報サービス | 緊急位置情報について設定します。 |
| 緊急速報メール | 緊急速報メールについて設定します。 |

## アカウントとバックアップ

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「アカウントとバックアップ」
2 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| アカウントを管理 | → P.114 |
| データをバックアップ | Samsungクラウドにデータをバックアップします。 |
| データを復元 | Samsungクラウドのデータを復元します。 |
| データをバックアップ | Googleドライブにデータをバックアップします。 |
| 古いデバイスからデータを移行 | 古い端末から画像、連絡先などのコンテンツを転送します。 |
| 外部ストレージ転送 | Smart Switchを使用してデータをUSBストレージデバイスにバックアップしたり、バックアップデータを復元したりすることができます。 |

### アカウントを管理

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「アカウントを管理」

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| docomo | あらかじめdocomoのアカウントが登録されています。 |
| アカウントを追加 | → P.31 |
| データを自動同期 | アカウントのデータを自動同期するかどうかを設定します。 |

### アカウントを削除する

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「アカウントを管理」
2 削除したいアカウントの種類をタップ
3 画面の指示に従って削除

### アカウントを手動同期させる

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「アカウントとバックアップ」→「アカウントを管理」
2 同期したいアカウントの種類をタップ
3 画面の指示に従って操作

**お知らせ**

- 登録されているアカウントによっては、削除できない場合があります。削除するには、「工場出荷状態に初期化」（P.119）を実行してください。

## ドコモのサービス／クラウド

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「ドコモのサービス／クラウド」
2 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| dアカウント設定 | ドコモアプリで利用するdアカウントを設定します。また、本端末に登録されている生体情報（指紋）を利用したdアカウント認証の設定もできます。 |
| ドコモアプリデータバックアップ | ドコモアプリのバックアップの設定をします。 |
| ドコモアプリ管理 | アプリのアップデートなどを行います。 |
| おすすめアプリ | おすすめアプリの設定やこれまでに受信した通知の確認ができます。 |
| おすすめ使い方ヒント | おすすめ使い方ヒントを利用するための設定をします。 |
| スグアプ設定 | スマホを振るなどの直感操作で、スグにアプリの起動ができます（P.46）。 |
| ドコモ位置情報 | イマドコサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。 |
| 端末情報送信 | 端末情報をドコモが管理するサーバへ送信するための設定を行います。 |
| 会員情報／プロフィール情報設定 | ドコモの各種サービスで利用するお客様の会員情報／プロフィール情報を、確認・変更できます。 |
| ドコモ初期設定 | 本端末を利用するためのサービス設定などを一括して行います。 |
| USBデバッグ切替 | ドコモショップなどの専用端末を利用するための設定を行います。 |
| オープンソースライセンス | オープンソースライセンスを表示します。 |

**お知らせ**

- ドコモのサービス／クラウドで表示されるアプリの中には無効化設定できるものがあり、無効化設定されたアプリは、ドコモのサービス／クラウドの一覧には表示されなくなる場合があります。
- 新たにドコモ提供のアプリをダウンロードすることで、ドコモのサービス／クラウドの一覧に項目が追加表示される場合があります。

## Google

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「Google」
2 項目を選択して設定を行う

**お知らせ**

- Google設定の詳細については、Google設定画面で⑦をタップしてヘルプをご覧ください。

## デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロール

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「デジタルウェルビーイングとペアレンタルコントロール」

**2** 項目を選択して設定を行う

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| ダッシュボード | | |
| | スクリーンタイム | 画面点灯時間やアプリごとの点灯時間を確認できます。 |
| | 受信通知件数 | 受信通知件数が表示されます。 |
| | ロック解除 | ロック解除回数が表示されます。 |
| スクリーンタイムの目標 | | 本端末を1日に使用する時間を設定します。 |
| アプリタイマー | | 各アプリの ⌛ をタップすると、アプリの使用時間を制限できます。制限時間に達すると、アプリは使用できなくなります。 |
| 運転モニター | | 運転中の端末使用状況をモニタリングできます。 |
| 音量モニター | | 音量レベルをモニタリングして、耳を安全に保護するかどうかを設定します。 |
| ペアレンタルコントロール | | Google ファミリーリンクを使って本端末の利用時間の管理や制限ができます。<br>• ペアレンタルコントロールを利用するには、Google ファミリーリンクアプリのインストールおよび設定が必要です。 |

## バッテリーとデバイスケア

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「バッテリーとデバイスケア」
- 本端末の状態が表示されます。

**2** 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| バッテリー | → P.116 |
| ストレージ | → P.117 |
| メモリ | → P.117 |
| デバイスを保護 | → P.117 |
| 自動最適化 | 本端末を使用していないときに本端末を自動再起動するかどうかを設定します。 |
| ソフトウェア更新 | → P.140 |
| 診断 | いくつかの機能の動作診断ができます。本機能を利用するには Samsung アカウントへのサインインが必要です。 |
| メンテナンスモード | 本端末を修理している間のセキュリティ設定を行います。 |

### バッテリー

電池使用量データや電池残量、省電力モードに関する設定、アプリごとの使用量などを表示します。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「バッテリーとデバイスケア」→「バッテリー」

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| バッテリーの推定残り使用時間※ | 充電していないときに、バッテリーが使用できる推定時間が表示されます。 |
| 充電完了までの時間※ | 充電しているときに、充電完了までの推定時間が表示されます。ただし、低温または高温の環境で充電した場合、充電完了までの推定時間が表示されない場合があります。 |
| バッテリー残量 | 電池残量がパーセントで表示されます。 |

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| 省電力モード | | 省電力モードをONにすると、バックグラウンドでのネットワークの使用、同期、位置情報の確認などは制限されます。さらにバッテリーを節約できるように追加の制限も設定できます。 |
| バックグラウンドでの使用を制限 | | 頻繁に使用しないアプリのバッテリー使用量を制限します。 |
| 前回の充電完了時以降の使用状況 | | バッテリーの使用量を表示したり、バッテリーをどのアプリが消費しているか確認したりできます。また、アプリごとにバッテリー使用量を最適化できます。<br>バッテリー使用量の最適化の設定を変更するには、ホーム画面で⊞→「設定」→「アプリ」→アプリを選択→「バッテリー」→「最適化」をタップします。 |
| ワイヤレスバッテリー共有 | | ワイヤレスバッテリー共有による給電を行うかどうかを設定します。また、給電を停止する本端末のバッテリー残量を設定します。 |
| その他のバッテリー設定 | | |
| | バッテリーを最適化 | 本端末の使用状況に基づいてバッテリーを節約します。 |
| | パフォーマンスプロファイル | ゲーム以外のパフォーマンスを管理できます。 |
| | バッテリー残量(%)を表示 | バッテリー残量を表示します。 |
| | 充電情報を表示 | Always On DisplayがOFF、または表示されていないときでも、バッテリー残量と充電完了までの推定時間を表示します。 |
| | 急速充電 | ケーブル接続による急速充電を行うかどうかを設定します。 |
| | 急速ワイヤレス充電 | ワイヤレスによる急速充電を行うかどうかを設定します。 |
| | バッテリーを保護 | バッテリーの寿命をより長くするために、最大充電量を85%制限します。 |

※ 本端末の設定や使用状況によっては表示が異なる場合があります。

## ストレージ

本端末のストレージ容量の確認をします。

**1** **ホーム画面で⊞→「設定」→「バッテリーとデバイスケア」→「ストレージ」**
- ストレージの空き容量などが表示されます。

## メモリ

メモリの状態を確認します。

**1** **ホーム画面で⊞→「設定」→「バッテリーとデバイスケア」→「メモリ」**
- メモリの空き容量などが表示されます。

**お知らせ**
- 複数のアプリが起動されていると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。このため使用しないアプリを終了することをおすすめします。

## デバイスを保護

本端末の保護を行います。

**1** **ホーム画面で⊞→「設定」→「バッテリーとデバイスケア」→「デバイスを保護」→「端末をスキャン」**
- 本端末の保護の状態が表示されます。

## アプリ

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「アプリ」

**2** アプリをタップ
- 画面の指示に従って各アプリを設定します。

**お知らせ**
- アプリ設定画面で「標準アプリを選択」をタップすると、ホームアプリやブラウザアプリなどを設定できます。
- アプリ設定画面で⋮をタップすると、アプリの設定をリセットしたり、アプリの権限の設定などができます。

## アプリを無効化する

アプリの無効化を設定したアプリは、動作が停止し、ホーム画面に表示されなくなります。
- アンインストールとは異なります。
- アンインストールできない一部のアプリやサービスについて使用可能です。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「アプリ」

**2** 無効化するアプリをタップ→「無効」→「アプリを無効化」

**お知らせ**
- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連動している他のアプリが正しく動作しない場合があります。再度有効にすることで正しく動作します。再度有効にするには、ホーム画面で⊞→「設定」→「アプリ」→⁞≡→「無効」→「OK」→有効化するアプリをタップ→「有効」をタップします。

## 一般管理

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「一般管理」

**2** 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 言語 | 使用する言語を設定します。 |
| アプリの言語 | 対応しているアプリで使用する言語を選択できます。 |
| テキスト読み上げ | テキストを読み上げるための優先エンジンの設定や、読み上げ速度などを設定します。 |
| 日付と時刻 | → P.119 |
| Samsungキーボード設定 | → P.41 |
| キーボードリストと初期設定 | Samsung キーボード／Google 音声入力について設定します。<br>・「標準キーボード」をタップすると、標準で使用するキーボードを設定できます。<br>・「ナビゲーションバーにキーボードボタンを表示」をONにすると、ナビゲーションバーにキーボードボタンが表示されます。 |
| ハードウェアキーボード | 外付けキーボードを使用する際の設定をします。 |
| マウスとトラックパッド | マウス／トラックパッド使用時について設定します。 |
| パスワードと自動入力 | パスワードと自動入力サービスの設定をします。 |
| リセット | → P.119 |
| カスタマイズサービス | 端末の使用状況に基づいて、ユーザーに合わせてカスタマイズされたコンテンツを取得するかどうかを設定します。本機能を利用するには、Samsungアカウントへのサインインが必要です。 |
| お問い合わせ | Samsung Membersを利用できます。 |

## 日付と時刻

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「一般管理」→「日付と時刻」

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 自動日時設定 | ネットワーク上の日付・時刻情報を基にして、自動的に補正します。お買い上げ時では自動的に補正されるように設定されています。 |
| 日付設定※1※2 | 日付を設定します。 |
| 時刻設定※1※2 | 時刻を設定します。 |
| 自動タイムゾーン | モバイルネットワークで提供されたタイムゾーンを設定します。 |
| 位置情報に基づいてタイムゾーンを設定 | 位置情報に基づいてタイムゾーンを設定するかどうかを設定します。 |
| 24時間形式を使用 | 時刻を24時間表記に切り替えます。 |

※1 「自動日時設定」をOFFにすると表示されます。
※2 日付・時刻情報が自動的に補正されることがあります。

**お知らせ**

- バッテリーが放電されると、日付と時刻がリセットされます。

## リセット

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「一般管理」→「リセット」

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 全ての設定をリセット | 一部のデータ、設定を除き、本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。 |
| ネットワーク設定をリセット | Wi-Fi、モバイルデータ、Bluetoothなどのネットワーク設定をリセットします。 |
| ユーザー補助設定をリセット | ユーザー補助設定をリセットします。 |
| 工場出荷状態に初期化 | 本端末をお買い上げ時の状態にリセットします。<br>・お買い上げ時ではプリインストールされているアプリのうち、一部のアプリはアンインストールされますのでご注意ください。一度アンインストールされても「Play ストア」（P.87）などから再度ダウンロードできる場合があります。 |

## ユーザー補助

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「ユーザー補助」

**2** 項目を選択して設定を行う

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| あなたへのおすすめ | | 使用状況に基づいておすすめ機能が表示されます。 |
| TalkBack | | ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。 |
| 音声アシスタンス | | キーボードの入力内容を読み上げるかなどを設定します。 |
| 視認性向上 | | |
| | 表示モード | 表示モードを選んで簡単に設定できます。 |
| | 高コントラストのテーマ | 高コントラストのテーマを設定します。 |
| | 高コントラストフォント | フォントの色および輪郭を調整します。 |
| | 高コントラストキーボード | キーボードをコントラストをつけて表示します。 |
| | ハイライトボタン | ボタンをフレーム付きで表示します。 |
| | 色を反転 | 画面の色を反転します。 |
| | 色の補正 | 画面表示を最適な色に調整します。 |
| | 色フィルター | 文字が読みづらい場合、画面全体に色フィルターを追加できます。 |
| | アニメーションを削除 | アニメーションや画面の動きが気になる場合、特定の画面エフェクトを削除します。 |
| | 透明度とぼかしを抑制 | ダイアログやメニューのビジュアルエフェクトを抑制して見やすくします。 |
| | 明るさをさらに下げる | 画面の明るさを設定している明るさよりさらに下げることができます。 |
| | 拡大 | 画面の拡大操作を設定します。 |
| | ルーペ | カメラを使用して周囲を拡大して見ることができます。 |

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| | ポインターのサイズと色 | マウスやタッチパッドのポインターの色と大きさについて設定します。 |
| | 文字サイズとフォントスタイル | 文字サイズやフォントスタイルなどを変更できます。 |
| | 画面のズーム | 画面のズームを変更できます。 |
| 聴覚補助 | | |
| | 音声文字変換 | 会話や音声をリアルタイムでテキストに変換して表示します。 |
| | 自動字幕起こし | メディアの音声を検出して自動的に字幕を生成します。英語のみに対応しています。 |
| | 字幕の優先設定 | 字幕の表示方法を設定・確認します。 |
| | 音検知通知 | 音検知通知を使用して、家の中の出来事を検出できます。 |
| | 補聴器サポート | 補聴器を使用している時に、聞こえやすくするために音質を向上させます。 |
| | 周囲の音を増幅 | 周囲の音を増幅します。この機能を使用するには、イヤホンを接続してください。 |
| | Adapt Sound | 音質の最適化を行います。 |
| | 全ての音を消音 | 受話音声を含む、すべての音を消音に設定します。 |
| | モノラル再生 | モノラルイヤホンで聴きやすくするために、オーディオをモノラルに変更します。 |
| | 左右のサウンドバランス | 接続されたオーディオやスピーカーのサウンドバランスを調整します。 |
| 制御と操作 | | |
| | ユニバーサルスイッチ | カスタマイズしたスイッチで本端末を操作します。 |
| | アシスタントメニュー | ハードキーやジェスチャーなどの一般的な操作の代わりに、アクセスしやすいボタンのメニューを表示します。 |

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| | Voice Access | Voice Accessを利用して音声コマンドでの操作ができます。 |
| | 通話応答／終了 | かかってきた電話に出る操作方法を追加したり、サイドキーを押して電話を切ることができるように設定したりすることができます。<br>• 「サイドキーを押して通話終了」がONの状態で、通話中にスリープモードになった場合は、サイドキーを押してスリープモードを解除してからサイドキーを押すと通話を終了できます。 |
| | 入力操作制御 | タッチ操作をブロックする範囲などを設定します。<br>• 本機能を有効にして動作を設定するには、サイドキーと音量UPキーを同時に押して、画面の指示に従って操作してください。<br>• 本機能を有効にすると、「自動回転」（P.34）が自動的にOFFになります。 |
| | 長押しの認識時間 | 画面がロングタッチを感知する時間を設定します。 |
| | タップの認識時間 | 入力操作がタップとして認識されるまでの時間を設定します。 |
| | 繰り返しのタッチを無効化 | タッチの繰り返しを無効にする時間を設定します。 |
| | ポインター停止後に自動操作 | マウス使用時などにポインターが停止したら自動的にクリック操作とみなすかどうかを設定します。 |
| | 固定キー | Shift、Ctrl、Altなどのキーを押すと、そのキーが押されたままになります。 |
| | スローキー | キーを誤って押さないように、キーを押し続けたとき、押したと認識されるまでの時間を設定します。 |
| | バウンスキー | 同じキーを誤って複数回押さないように、同じキーを2回押したと認識されるまでの時間を設定します。 |

| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| 詳細設定 | | |
| | ユーザー補助ボタン | ナビゲーションバーに表示するユーザー補助ボタンについて設定します。 |
| | サイドキーと音量アップキー | サイドキーと音量UPキーを同時に押して起動する機能を設定します。 |
| | 音量アップキーと音量ダウンキー | 音量UPキーと音量DOWNキーを同時に長押しして起動する機能を設定します。 |
| | フラッシュ通知 | 通知を受信したときや、アラームが鳴ったときにカメラのライトまたは画面が点滅します。 |
| | 画面に表示される時間 | 操作の実行を求めるメッセージを表示する時間を設定します。 |
| インストール済みアプリ | | インストール済みのユーザー補助アプリを設定します。 |
| ユーザー補助について | | ユーザー補助のバージョンなどが確認できます。 |
| お問い合わせ | | Samsung Membersを利用できます。 |

**お知らせ**

- 「TalkBack」の使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報、ユーザーインターフェイスでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 「TalkBack」についての詳細は、ホーム画面で⊞→「設定」→「ユーザー補助」→「TalkBack」→「設定」→「チュートリアルとヘルプ」でご確認ください。
- ホーム画面がdocomo LIVE UXのときに、「TalkBack」が正常に動作しないことがあります。

## ソフトウェア更新

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「ソフトウェア更新」

**2** 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| ダウンロードおよびインストール | → P.140 |
| Wi-Fi接続時に自動ダウンロード | → P.140 |
| 最終更新 | ソフトウェアの更新状態を表示します。 |

## ヒント

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「ヒント」

**2** 項目をタップ

- 画面の指示に従って各項目を確認します。

## 端末情報

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「端末情報」

**2** 項目を選択して設定を行う

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 端末名称 | 本端末の名称を確認／変更します。<br>電話番号、製品名、モデル名、シリアル番号、IMEI、IMEI（eSIM）が表示されます。 |
| ステータス情報 | nanoSIMカード／eSIMの状態やIMEI情報などを表示します。 |
| 法定情報 | オープンソースライセンスやGoogle利用規約などを確認します。 |
| 認証情報 | 本端末の認証情報を表示します。 |
| ソフトウェア情報 | Androidのバージョンなどを確認します。 |
| バッテリー情報 | 本端末のバッテリー残量などを表示します。 |

### 自分の電話番号を確認する

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「端末情報」

- 「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

# ファイル管理

## ストレージ構成

### 本体（内部ストレージ）

本端末のお買い上げ時で、内部ストレージ（/storage/emulated/0）に作成される主なフォルダは以下のとおりです。
- 本端末の操作状況によっては、表示されるフォルダが異なる場合があります。

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| Alarms | アラーム音として設定したい音楽データなどを保存します。 |
| Android | システムや各種アプリの設定データや一時ファイルなどが保存されます。 |
| Audiobooks | オーディオブックスが保存されます。 |
| DCIM | カメラで撮影した静止画／動画や表示中の画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）した画像のデータが保存されます。 |
| Documents | オフィス文書などが保存されます。 |
| Download | ブラウザでダウンロードしたデータが保存されます。 |
| Movies | 動画データが保存されます。 |
| Music | 音楽データが保存されます。 |
| Notifications | 通知音として設定したい音楽データなどを保存します。 |
| Pictures | 画像データなどを保存します。 |
| Podcasts | ポッドキャストデータが保存されます。 |
| Recordings | 録音データが保存されます。 |
| Ringtones | 着信音として設定したい音楽データなどを保存します。 |

## ファイル操作

### フォルダやファイルの操作

「マイファイル」を利用して、本端末に保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。
- フォルダによっては、名前の変更や削除などの操作ができないものがあります。

**1** ホーム画面で⊞→「Samsung」→「マイファイル」

**2** 項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ
- フォルダ／ファイルをロングタッチするとチェックが付き、メニューなどの項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

**3** 利用したいファイルをタップ
- ファイルが表示／再生されます。

#### フォルダを作成する

**1** ホーム画面で⊞→「Samsung」→「マイファイル」

**2** カテゴリ内以外の項目をタップ → 必要に応じてフォルダをタップ

**3** ⋮ →「フォルダ作成」→ フォルダ名を入力 →「作成」

## フォルダやファイルの名前を変更する

1 ホーム画面で⊞→「Samsung」→「マイファイル」
2 項目をタップ→必要に応じてフォルダをタップ
3 名前を変更したいフォルダ／ファイルをロングタッチ→「その他」→「名前を変更」→名前を入力→「名前を変更」

## フォルダやファイルを削除する

1 ホーム画面で⊞→「Samsung」→「マイファイル」
2 項目をタップ→必要に応じてフォルダをタップ
3 削除したいフォルダ／ファイルをロングタッチ→「削除」→「削除」
・ ⋮→「設定」→「ごみ箱」をONに設定している場合は、「ごみ箱に移動」をタップします。

## フォルダやファイルを移動／コピーする

1 ホーム画面で⊞→「Samsung」→「マイファイル」
2 項目をタップ→必要に応じてフォルダをタップ
3 移動／コピーしたいフォルダ／ファイルをロングタッチ→「移動」／「コピー」
4 移動先／コピー先のフォルダを選択→「ここに移動」／「ここにコピー」

## マイファイルのメニュー

マイファイルのメイン画面、フォルダ／ファイル一覧画面で⋮をタップすると項目が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

# データ通信

## Bluetooth通信

**本端末とBluetoothデバイス間で、無線でデータのやりとりができます。**

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」（P.142）をご参照ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

### ■ Bluetooth機能使用時のご注意

1. 本端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が短くなります。
2. 他の機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から約2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず約3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
3. 放送局や無線機などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
4. Bluetoothデバイスが発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、電車内、航空機内、病院内、自動ドアや火災報知器から近い場所、ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所では本端末の電源および周囲のBluetoothデバイスの電源を切ってください。

### ■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。

1. Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、約20m以上離してください。
2. 約20m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

### Bluetooth機能を有効にして本端末を検出可能にする

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「Bluetooth」

**2** ○

**お知らせ**

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の消耗を防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

### 他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

本端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（接続設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続までを続けて行うデバイスがあります。
- Bluetoothデバイスによって、ペアリング時にパスコード（PIN）の入力が必要な場合があります。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「Bluetooth」

**2** ○

- 検出されたBluetoothデバイスが一覧表示されます。
- Bluetoothデバイスが表示されない場合は、「スキャン」をタップして再度検索します。

**3** 接続したいデバイスをタップ

**4** パスキーを確認→「ペアリング」

#### 他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合は、必要に応じて「ペアリング」をタップします。

#### 接続を解除する場合

Bluetoothデバイスの一覧表示で、接続中のデバイスをタップします。

## ペアリングを解除する

1 ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「Bluetooth」

2 ペアリングを解除したいデバイスの ⚙ →「ペアリングを解除」→「ペアリングを解除」

## Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

### Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の連絡先データ）、静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。
- 送信は各アプリの「共有」などのメニューから行ってください。

### Bluetooth機能でデータを受信する

1 「ファイル転送」画面が表示されたら、「承認」
- データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。

## NFC通信

**NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。本端末のリーダー／ライター機能（R / W）を利用して、本端末をNFCタグに近づけてデータを受信したりすることができます。**
- 対向機にかざす際の注意事項については、「対向機にかざす際の注意事項」（P.89）をご参照ください。
- 画面ロックの設定中は、NFCタグ情報の送受信はできません。
- すべてのReader ／ Writer機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

# 外部機器接続

## パソコンとの接続

### USBケーブル A to Cで接続する

本端末とパソコンをUSBケーブル A to C 02（別売）で接続すると、パソコン用 Smart Switch（P.127）とデータを同期したり、本端末をメディアデバイスとして認識させたりできます。

**1 本端末のUSB Type-C接続端子に、USBケーブル A to CのType-Cプラグを差し込み、本端末をパソコンに接続**

- USBプラグとType-Cプラグは、水平に差し込みます。

**2 通知パネルを開く →「USBをファイル転送に使用」→「USBをファイル転送に使用」**

- 本端末上に設定画面が表示されます。

**お知らせ**

- USBケーブル A to CのUSBプラグはパソコンのUSBコネクタに直接接続してください。USB HUBやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正しく動作しないことがあります。
- データを転送中にUSBケーブル A to Cを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 「USBを制御するデバイス」で「接続デバイス」を選択すると、本端末に接続されたデバイスに給電できます。接続するデバイスによっては給電できない場合があります。

### Smart Switchを利用する

Smart Switchを利用して、音楽や動画などのメディアファイルや個人情報を管理したり、本端末のソフトウェアを更新したりできます。
ご自分が所有または譲渡する権利を持つコンテンツのみ転送してください。
著作権法の侵害について Samsung Electronics Co., Ltd.は責任を負いかねます。

- パソコン用 Smart Switchは Smart Switchのホームページからダウンロードして、パソコンにインストールします。ご利用時の注意事項や詳細については、下記の Smart Switchホームページをご覧ください。
  https://www.samsung.com/jp/apps/smart-switch/

**お知らせ**

- USBケーブル（C to C）を使って接続する方法については、別紙「データ移行用試供品取扱説明書」を参照ください。

#### パソコンと接続して Smart Switchを起動する

**1 本端末とパソコンをUSBケーブル A to Cで接続（P.127）**

**2 パソコンで「Smart Switch」を起動**

- 画面の指示に従って操作してください。

**お知らせ**

- データを転送中にUSBケーブル A to Cを取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- データを転送する前に十分にバッテリー残量があることを確認してください。

#### Wi-Fi Directで接続して Smart Switchを起動する

Wi-Fi Directで接続することで、ワイヤレスでデータを移行することができます。
例：以前の端末からデータを移行する

**1 以前の端末の Smart Switchを起動する**

- アプリがインストールされていない場合は、Playストアや Galaxy Storeからダウンロードしてください。

**2 本端末のホーム画面で ⊞ →「設定」→「アカウントとバックアップ」→「古いデバイスからデータを移行」**

**3 「データを受信」→ 古い端末の種類を選択 →「ワイヤレス」**

- 選択した端末によって表示される文言が異なる場合があります。

**4 画面の指示に従って操作**

## Windowsと連携する

Microsoftアカウントを利用して、本端末に保存された写真やメッセージなどをパソコンから確認できます。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続デバイス」

**2** 「Windowsにリンク」
- Microsoftアカウントでサインインし、画面の指示に従って操作してください。

## プリンターとの接続

**Wi-Fi機能やUSB接続を利用して本端末に対応しているプリンターで印刷できます。**
- Wi-Fi機能を使用する場合は、本端末とプリンターは、同一のWi-Fiネットワークに接続されているか、Wi-Fi Directで接続している必要があります。あらかじめ無線LAN（Wi-Fi）およびプリンター側の設定を行ってください。
- USB接続を使用する場合、対応している接続ケーブルにつきましては、プリンターの取扱説明書をご確認ください。
- 使用するプリンターに接続するには、あらかじめプリンターのプラグインをインストールしておく必要があります。プラグインをインストールするには、ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「その他の接続設定」→「印刷」→「プラグインをダウンロード」をタップして、画面の指示に従って設定してください。

### プリンターで印刷する

**1** 印刷可能なアプリの画面で⋮→「印刷」
- 画面の指示に従って操作してください。
- 印刷する手順はアプリによって異なります。

# その他の機器との接続

## Smart Viewを利用する

本端末とScreen Mirroring対応機器をWi-Fi接続して、テレビやディスプレイなどに本端末の画面やコンテンツを表示します。

**1** 通知パネルを開く

**2** 

**3** 検出されたScreen Mirroring対応機器をタップ

- Screen Mirroring対応機器と切断するには、通知パネル→「Smart View」をタップしてください。

**お知らせ**

- Screen Mirroringを使った映像送信はトランスコードして送信するため、画像劣化が発生することがあります。

# 海外利用

## 国際ローミング（WORLD WING）の概要

**国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用になれるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。国際ローミング（WORLD WING）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。**
**https://www.docomo.ne.jp/service/world/roaming/**

**お知らせ**

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、ドコモのホームページをご確認ください。

## 海外で利用可能なサービス

（○：利用可能）

| 主な通信サービス | 5G | LTE | 3G | 3G850 | GSM（GPRS） |
|---|---|---|---|---|---|
| 電話 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| SMS | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| パケット通信※ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※ ローミング時にパケット通信を利用するには、データローミングの設定をONにしてください（P.131）。

**お知らせ**

- 接続する海外通信事業者やネットワークによりご利用になれないサービスがあります。
- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます（P.43）。

# 海外でご利用になる前に

## 出発前の確認

海外でご利用になる際は、出発前に日本国内で次の確認をしてください。

### ■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ahamoプランでご利用になる場合、WORLD WINGのお申し込みは不要で廃止はできません。

### ■ 充電について

- 充電についてはドコモのホームページをご確認ください。

### ■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は、日本国内とは異なります。詳細はドコモのホームページをご確認ください。また、ahamoプランでご利用になる際は、必ずahamoのホームページで詳細をご確認ください。
- ご利用のアプリによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリの動作については、お客様ご自身でアプリ提供元にご確認ください。

## 事前設定

### ■ ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。日本国内から（P.66）、海外から（P.134）
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

## 滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者／ネットワークに接続されます。

### ■ 接続について

「通信事業者」の設定で「自動選択」をONにしている場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

# 海外で利用するための設定

### ■ データローミングの設定

海外でパケット通信を行うためには、データローミングの設定をONにする必要があります。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」

**2** 「データローミング」→注意画面の内容を確認して「OK」

### ■ 通信事業者の設定

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「通信事業者」→「自動選択」

- 利用可能なネットワークが表示されます。
- 確認画面が表示された場合は「OK」をタップします。
- ネットワーク検索でエラーが発生する場合は、「モバイルデータ」をOFFにして再度実行してください（P.101）。

**2** 通信事業者のネットワークを選択

**お知らせ**

- 手順1で、「自動選択」をONにすると、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定を戻せます。

### ■ ネットワークモードの設定

**1** ホーム画面で⊞→「設定」→「接続」→「モバイルネットワーク」→「ネットワークモード」

**2** 「5G／4G／3G／GSM（自動接続）」／「4G／3G／GSM（自動接続）」／「3G／GSM（自動接続）」／「GSMのみ」

### ■ 日付と時刻について

「日付と時刻」の「自動日時設定」がONになっている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは、海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」（P.119）

■ お問い合わせについて

- 本端末やnanoSIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。My docomoからも利用中断の手続きは可能です。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。
- ahamoプランをご利用の場合、ahamoのホームページからお問い合わせください。

# 滞在先で電話をかける／受ける

## 滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、滞在国からほかの国・地域へ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、またはほかの国・地域へ簡単に国際電話をかけることができます。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

**1** ホーム画面で

**2** ＋（「0」をロングタッチ）→国番号、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

**3**

- ビデオコールを発信する場合は、をタップします。

**4** 通話が終了したら

**お知らせ**

- ビデオコールの詳細については、「電話をかける」（P.58）をご参照ください。

## 国際ダイヤルアシストを利用して電話をかける

滞在国からほかの国・地域へ電話をかける場合、国際ダイヤルアシストを利用すると、簡単な操作で国際電話をかけることができます。

- あらかじめ国際ダイヤルアシストの電話番号自動変換機能をONに設定する必要があります（P.134）。
- 地域番号の先頭の「0」があらかじめ設定した国番号に自動的に変換されます。

**1** ホーム画面で

**2** 地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力

**3**

- 国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は「（相手国）へ発信」をタップします。
  ※「（相手国）」には国名が表示されます。

**4** 通話が終了したら

## 滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

**1** ホーム画面で

**2** 電話番号を入力

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）、相手先電話番号の順に入力します。

**3**

- 国際ダイヤルアシスト画面が表示された場合は「そのまま発信」をタップします。

**4** 通話が終了したら

## 海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じようにダイヤルしてください。
  ＋（「0」をロングタッチ）-81（日本の国番号）-先頭の「0」を除いた電話番号

## 滞在先で電話を受ける

海外でも日本にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

**お知らせ**

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国・地域からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通信料がかかり、着信側には着信料がかかります。

## 相手からの電話のかけかた

**■ 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合**

日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。

**■ 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合**

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。

**発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80、70）-XXXX-XXXX**

## 国際ローミングの設定

**国際ローミングサービスを利用するときの設定を行います。**
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

**1 ホーム画面で → ⋮ →「設定」→「ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク」→「海外設定」**

**2 必要に応じて設定を変更する**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| ローミング時着信規制 | 国際ローミング中に着信を規制することができます。 |
| ローミング着信通知 | 国際ローミング中に圏外などで着信できなかった場合にSMSでお知らせします。 |
| ローミングガイダンス | 国際ローミング中に電話をかけてきた相手に、国際ローミング中であることをお知らせするガイダンスを流すことができます。 |
| ネットワークサービス | → P.134 |

### ■ 国際ダイヤルアシストの設定

**1 ホーム画面で → ⋮ →「設定」→「その他の通話設定」**

**2 「国際ダイヤルアシスト」**

**3 項目を選択**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 電話番号自動変換 | 国番号と国際プレフィックスを自動的に電話番号に追加します。 |
| 国番号： | 電話番号自動変換で使用される国番号を選択します。 |
| 国際プレフィックス | 電話番号自動変換で使用される国際プレフィックスを選択します。 |

### ■ ネットワークサービス（海外）の設定

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。
- あらかじめ、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります（P.66）。
- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

**1 ホーム画面で → ⋮ →「設定」→「ネットワークサービス・海外設定・オフィスリンク」→「海外設定」**

**2 「ネットワークサービス」→ 目的のサービスを選択**

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 遠隔操作（有料） | 遠隔操作を開始するかどうかを設定します。 |
| 番号通知お願いサービス（有料） | 発信者番号が非通知の電話がかかってきた場合に発信者に番号通知を依頼するガイダンスを流します。 |
| ローミング着信通知（有料） | → P.134 |
| ローミングガイダンス（有料） | → P.134 |
| 留守番電話サービス（有料） | 電波が届かないところにいたり、電源を切っている場合などに電話をかけてきた方の伝言メッセージをお預かりします。（お申し込み必要） |
| 転送でんわサービス（有料） | かかってきた電話を、あらかじめ登録した他の携帯電話などに転送することができます。（お申し込み必要） |

**3 画面表示に従って操作**

**4 音声ガイダンスに従って操作**

## 帰国後の確認

**日本に帰国後は渡航前の設定に戻してください。**

### ■ 海外でパケット通信を利用した場合

- 「データローミング」（P.131）をOFFに設定してください。

### ■ 帰国後に自動的にドコモのネットワークに接続できない場合

- 「モバイルネットワーク」の「ネットワークモード」を「5G ／ 4G ／ 3G ／ GSM（自動接続）」に設定してください（P.131）。
- 「モバイルネットワーク」の「通信事業者」の設定で「自動選択」をONにしてください（P.131）。

# 付録

## トラブルシューティング（FAQ）

### 故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったときに、お客様ご自身で診断することができます。詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。
- ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください（P.140）。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、お気軽にご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

#### □ 電源

| 症状 | チェック項目 |
|---|---|
| 本端末の電源が入らない | • 電池切れになっていませんか。→ P.27 |
| 画面が動かない、電源が切れない | • 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合にサイドキーと音量DOWNキーを7〜8秒間押すと、強制的に再起動することができます。<br>※ 強制的に再起動する操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。 |

#### □ 充電

| 症状 | チェック項目 |
|---|---|
| 充電ができない | • アダプタの電源プラグがコンセントまたはアクセサリーソケットに正しく差し込まれていますか。<br>• アダプタと本端末が正しくセットされていますか。<br>• ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのType-Cプラグが本端末と正しく接続されていますか。→ P.27<br>• USBケーブル A to C 02（別売）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。<br>• 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。 |

#### □ 端末操作

| 症状 | チェック項目 |
|---|---|
| 操作中・充電中に熱くなる | • 操作中や充電中、また、充電しながらアプリを長時間使用した場合などには、本端末やアダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。 |
| 電池の使用時間が短い | • 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。<br>• 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。<br>• 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、内蔵電池の交換時期です。 内蔵電池の交換につきましては、端末をお預かりして有料で承ります。修理受付での対応となりますので「保証とアフターサービス」（P.141）をご確認ください。<br>• 複数のアプリを起動していませんか。使用していないアプリを終了してください。→ P.44<br>• Bluetooth 機能を使用していないときは、設定をOFFにしてください。→ P.125 |
| タッチスクリーンをタップしても動作しない | • 画面ロックが設定されていませんか。サイドキーを押して画面ロックを解除してください。→ P.29、P.109 |

| 症状 | チェック項目 |
| --- | --- |
| タッチスクリーンをタップしたときの画面の反応が遅い | • 本端末に大量のデータが保存されているときなどに起きる場合があります。<br>• 保護シートが貼られていませんか。保護シートによって動作が認識されにくくなる場合があります。 |
| nanoSIMカードが認識されない | • nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。<br>→ P.22 |
| 時計がずれる | • 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。<br>「自動日時設定」が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→ P.119 |
| 端末動作が不安定 | • お買い上げ後に本端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモード（お買い上げ時に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。<br>- セーフモードの起動方法<br>電源がOFFの状態からサイドキーを2秒以上押し、Samsungロゴと Galaxyロゴが表示された状態から、音量DOWNキーを押し続けてください。<br>電源を入れている状態では、サイドキーを1秒以上押す→「電源OFF」をロングタッチ→「セーフモード」をタップしてください。<br>※ セーフモードが起動すると画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。<br>※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。<br>- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。<br>- アプリやウィジェットによっては消去される場合があります。<br>- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。 |
| 本端末の動作が遅くなった／プログラムの動作が不安定になった／一部のプログラムを起動できない | • 本端末のメモリの使用状況を確認し、実行中のプログラムを終了するなどして、メモリの空き容量を確保してください。→ P.117 |

| 症状 | チェック項目 |
| --- | --- |
| データが正常に表示されない／タッチスクリーンを正しく操作できない | • 電源を入れ直してください。電源を入れ直しても問題が解決しないときは、「工場出荷状態に初期化」（P.119）を実行すると問題が改善される場合があります。ただし、本端末に保存されたすべてのデータが削除されるため、必要なデータを事前にバックアップした上で実行してください。 |
| アプリが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど） | • 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。→ P.54 |

### □ 通話

| 症状 | チェック項目 |
| --- | --- |
| 電話発信キーをタップしても発信できない | • nanoSIMカードが正しく本端末に取り付けられていますか。→ P.22<br>• 機内モードを設定していませんか。機内モードを無効にしてから再度操作してください。→ P.100 |
| 着信音が鳴らない | • 「音量」を最小にしていませんか。→ P.105<br>• 「着信音」を「サイレント」にしていませんか。→ P.105<br>• マナーモード（バイブ、サイレント）に設定していませんか。→ P.105<br>• 「番号指定ブロック」を設定していませんか。→ P.66<br>• 機内モードに設定していませんか。→ P.100<br>• 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。→ P.66<br>• 伝言メモの応答時間を「0秒」にしていませんか。→ P.63 |
| 通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない） | • 電源を入れ直すか、nanoSIMカードを取り付け直してください。→ P.29、P.22<br>• 電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。<br>• 「番号指定ブロック」を設定していませんか。→ P.66<br>• 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。 |

| 症状 | チェック項目 |
| --- | --- |
| ネットワークに接続できない | • 電波の弱い場所で使用していませんか。<br>• 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→ P.29 |

### □ 画面

| 症状 | チェック項目 |
| --- | --- |
| ディスプレイが暗い | • 「画面のタイムアウト」で設定した時間を経過していませんか。→ P.106<br>• ディスプレイの明るさを調整していませんか。→ P.107<br>• 省電力モードに設定していませんか。→ P.117<br>• 電池残量が少なくなっていませんか。→ P.116 |

### □ 音声

| 症状 | チェック項目 |
| --- | --- |
| 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる | • 通話音量を変更していませんか。→ P.62 |

### □ メール

| 症状 | チェック項目 |
| --- | --- |
| メールを自動で受信しない | • 「連絡先の同期」をOFFにしていませんか。ONにしてください。→ P.75 |

### □ カメラ

| 症状 | チェック項目 |
| --- | --- |
| カメラで撮影した静止画や動画がぼやける | • カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。 |
| カメラを起動できない | • しばらく時間をおいてから操作をやり直すか、本端末の電源を入れ直してください。電池残量またはメモリの空き容量を確認してください。 |
| 録画に失敗する | • カメラアプリを終了し、アプリを再起動してください。 |

### □ おサイフケータイ

| 症状 | チェック項目 |
| --- | --- |
| おサイフケータイが使えない | • おまかせロックを設定すると、NFC／おサイフケータイ ロックの設定にかかわらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。<br>• NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。→ P.90<br>• 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→ P.89 |

### □ 海外利用

| 症状 | チェック項目 |
| --- | --- |
| 海外で本端末が使えない | **■ アンテナマークが表示されている場合**<br>• WORLD WINGのお申し込みをされていますか。<br>WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。<br>**■ 圏外が表示されている場合**<br>• 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。<br>利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、ドコモのホームページをご覧ください。<br>• ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。<br>「ネットワークモード」を「5G／4G／3G／GSM（自動接続）」に設定してください。→ P.131<br>「通信事業者」の「自動選択」をONに設定してください。→ P.131<br>• 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。→ P.29 |
| 海外でデータ通信ができない | • 「データローミング」をONにしてください。→ P.131 |
| 海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった | • 利用停止目安額を超えていませんか。<br>「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。 |
| 海外で電話がかかってこない | • 「ローミング時着信規制」をONに設定していませんか。→ P.134 |

| 症状 | チェック項目 |
|---|---|
| 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない | • 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。 |

### □ データ管理

| 症状 | チェック項目 |
|---|---|
| データ転送が行われない | • USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。 |
| 画像が表示されない | • 画像データが壊れている場合は が表示されることがあります。 |
| 本端末をパソコンに接続しても動作しない | • Smart SwitchまたはWindows Media Player 12以上をパソコンにインストールしてください。 |

### □ Bluetooth機能

| 症状 | チェック項目 |
|---|---|
| Bluetoothデバイスと接続ができない／サーチしても見つからない | • Bluetoothデバイス（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みのデバイスを削除後、再度登録する場合は、デバイスと本端末の双方で登録されているデバイスを削除してから登録してください。 |
| カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない | • 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。 |

## エラーメッセージ

| エラーメッセージ | 説明／対処方法 | 参照先 |
|---|---|---|
| XXXXは停止しました。／プロセスXXXXは停止しました。※ | 本端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」／「OK」をタップしてから再度操作してください。 | — |
| ネットワークに登録されていません。 | nanoSIMカードが正しく取り付けられていません。nanoSIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。 | P.22 |
| 音声通話サービス停止携帯通信会社によって一時的にOFFにされています | 通話・通信回線においてアクセスが集中しているため、通信規制がかかっているときに表示されます。規制が解除されてから再度操作してください。 | — |
| ビデオコールへの切り替え要求に失敗しました。 | ビデオコールへの切り替えができない場合に表示されます。緊急通報中や音声ガイダンス中、通話相手がキャッチホンを使用している場合、サービスエリアの圏外で通話している場合などは、切り替えができません。 | P.61 |
| 音声通話への切り替え要求に失敗しました。 | 通信エラーなどにより、ビデオコールから音声通話への切り替えができない場合に表示されます。しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。 | P.61 |
| ビデオコールを開始できませんでした。 | ビデオコールの発信ができない場合に表示されます。サービスエリア圏内であることや、通話モード設定、モバイルネットワークの設定などを確認してください。 | P.58 |
| ブラウザは停止しました。 | ブラウザにエラーが発生したときに表示されます。「OK」をタップし、しばらく時間をおいてから操作をやり直してください。 | P.77 |

※ XXXXには、エラーが発生したアプリや機能の名称などが表示されます。

# ソフトウェアアップデート

## ソフトウェアアップデートについて

インターネット上のダウンロードサイトから本端末のアップデートファイルをダウンロードし、ソフトウェアのアップデートを行います。ソフトウェアアップデートには、本端末で直接ネットワークに接続して行う方法と、パソコンにインストールしたパソコン用Smart Switch（P.127）を使って行う方法の2種類があります。

### ソフトウェアアップデートについての注意事項

ソフトウェアアップデートは本端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。万が一のトラブルに備え、本端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェアアップデートの前に以下の準備を行ってください。
  - 本端末で実行中のすべてのプログラムを終了する（P.44）
  - 本端末を充電（P.27）し、電池残量を十分な状態にする
- 本端末で直接ネットワークに接続してソフトウェアアップデートを行う場合は、電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェアアップデートを中断することがあります。
- ソフトウェアアップデート（ダウンロード、アップデートファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェアアップデートファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- 国際ローミング中にアップデートを行う場合は、Wi-Fi接続（nanoSIMカード未挿入）で行ってください。
- ソフトウェアアップデートに失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

## 本端末だけでアップデートする

本端末でネットワークに接続して本端末のソフトウェアをアップデートできます。

**1 ホーム画面で⊞→「設定」→「ソフトウェア更新」→「ダウンロードおよびインストール」**

- Wi-Fi接続時にソフトウェア更新を自動的にダウンロードする場合は、「Wi-Fi接続時に自動ダウンロード」をONにします。

**2 画面の指示に従って操作**

- アップデートするファイルが正常にダウンロードされた後、アップデートするように操作を行うと、本端末が再起動され、アップデートが開始されます。アップデート中には電話などの機能を使用できません。

**お知らせ**

- ソフトウェアをダウンロードした後、インストール続行の確認画面で「インストールを予約」をタップすると、インストールの実行を延期できます。延期した場合でも、以下の操作でインストールをすぐに開始できます。
  - ホーム画面で⊞→「設定」→「ソフトウェア更新」→「ダウンロードおよびインストール」→「今すぐインストール」
  - 通知パネルを開く →「ソフトウェア更新」→「今すぐインストール」
- アップデートの内容によっては、利用できるネットワークが制限される場合があります。
- 更新のダウンロードに失敗した場合は、しばらく時間をおいてから再度やり直してください。

# 保証とアフターサービス

## 保証について

- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- SIM取り出しツール、USBケーブル（C to C）は無料修理保証の対象外となります。
- SIM取り出しツール、USBケーブル（C to C）は、試供品となります。試供品のお問い合わせ先をご覧ください。
- 本端末の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、電話帳などのデータをバックアップしていただくことができます。
※ お客様のご契約内容により、ご利用になれないアプリやサービスがあります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

### 無料修理規定

1 保証期間内に取扱説明書などの注意にしたがった使用状態のもとで、故障が発生した場合は無料で修理いたします。（代替品と交換となる場合があります。）
2 保証期間内でも以下の場合は無料修理対象外となる場合がございます。
(1)改造（ソフトウェアの改造も含む）による故障、損傷。
(2)落下や、外部からの圧力などで本端末、ディスプレイ及び外部接続端子などが破損したことによる故障、損傷、または本端末内部の基板が破損、変形したことによる故障、損傷。
(3)火災、公害、異常電圧、地震、雷、風水害その他天災地変などによる故障、損傷。
(4)本端末に接続している当社指定以外の機器、消耗品による故障、損傷。
(5)本端末内部への水の浸入による故障、損傷、本端末の水濡れシールが反応している場合、本端末に水没・水濡れなどの痕跡が発見された場合、または結露などによる腐食が発見された場合。
(6)ドコモ指定の故障取扱拠点以外で修理を行ったことがある場合。
3 本保証は日本国内においてのみ有効です。
4 本保証は明示した期間、条件においての無料修理をお約束するものでお客様の法律上の権利を制限するものではございません。
5 お預かり品に故障箇所が複数あった場合、一部分の修理だけでは製品の品質が保証できないため、全て修理してご返却いたします。その際は無料修理対象外となる場合がございます。
6 修理実施の有無に関わらず、動作確認試験を実施したお預かり品は、最新のソフトウェアに更新してご返却する場合がございます。
7 修理を実施した場合の修理箇所や修理実施日は、修理完了時にお渡しする修理結果票でご確認ください。

＜販売元＞
株式会社NTTドコモ
東京都千代田区永田町2-11-1

## アフターサービスについて

### 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。

### 修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱拠点（店頭もしくはホームページ）にて修理を受付いたします。
お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。
なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

**■ 保証期間が過ぎたときは**
ご要望により有料修理いたします。

**■ 部品の保有期間は**
本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。
修理受付対応状況については、ホームページをご覧ください。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、詳細はドコモ指定の故障取扱拠点へお問い合わせください。
お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。

## お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - › ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
    - › 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - › 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を実施いただくようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めにドコモ指定の故障取扱拠点にて修理を実施することをおすすめいたします。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

## お客様が作成されたデータおよびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。データの再ダウンロードにより発生するパケット通信料は、当社では補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

## 主な仕様（SC-51D）

| | | | |
|---|---|---|---|
| サイズ | | | 高さ：約146mm、幅：約71mm、<br>厚さ：約7.6mm |
| 重量 | | | 約168g |
| ディスプレイ | | サイズ | 約6.1インチ |
| | | 種類 | Dynamic AMOLED（有機EL） |
| | | 解像度（ピクセル数横×縦） | Full HD+（1080×2340） |
| 内蔵メモリ | | | RAM：8GB<br>ROM：256GB※1 |
| バッテリー容量 | | バッテリー容量 | 3900mAh |
| | | ワット時定格値 | 25Wh |
| 連続待受時間（静止時）※2 | | 4G（LTE） | 約290時間 |
| 連続通話時間※3 | 4G（LTE） | LTE（VoLTE） | 約1750分 |
| | | LTE（VoLTE（HD+）） | 約1610分 |
| | | LTE（VoLTE：ビデオコール） | 約450分 |
| 充電時間 | | | ACアダプタ 08：約80分※4 |
| 無線LAN | | 対応規格 | IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax準拠<br>（IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz）<br>（IEEE802.11ax対応周波数帯：<br>2.4GHz/5GHz/6GHz（Wi-Fi 6E））|
| Bluetooth機能 | | バージョン※5 | 5.3 |
| カメラ | | 撮像素子 種類 | 超広角カメラ：裏面照射型CMOS<br>広角カメラ：裏面照射型CMOS<br>望遠カメラ：裏面照射型CMOS<br>フロントカメラ：裏面照射型CMOS |
| | | 有効画素数 | 超広角カメラ：約1200万画素<br>広角カメラ：約5000万画素<br>望遠カメラ：約1000万画素<br>フロントカメラ：約1200万画素 |

| | | |
|---|---|---|
| 伝言メモ | 保存可能件数 | 制限なし※6 |
| | 1件あたりの最大録音可能時間 | 最大13時間 |

※1　メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」（P.117）をご参照ください。
※2　連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
※3　連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
※4　「急速充電」をONにした際の数値です。ホーム画面で⊞→「設定」→「バッテリーとデバイスケア」→「バッテリー」→「その他のバッテリー設定」→「急速充電」で設定できます。
※5　Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。
※6　最大保存件数は本端末のメモリの空き容量により異なります。

## 主な仕様（SC-52D）

### □ 本体

| | | |
|---|---|---|
| サイズ | | 高さ：約163mm、幅：約78mm、厚さ：約8.9mm |
| 重量 | | 約234g |
| ディスプレイ | サイズ | 約6.8インチ |
| | 種類 | Dynamic AMOLED（有機EL） |
| | 解像度（ピクセル数横×縦） | Quad HD+（1440×3088） |
| 内蔵メモリ | | RAM：12GB<br>ROM：256GB、512GB（Phantom Blackのみ）※1 |
| バッテリー容量 | バッテリー容量 | 5000mAh |
| | ワット時定格値 | 45Wh |
| 連続待受時間（静止時）※2 | 4G（LTE） | 約320時間 |
| 連続通話時間※3 | 4G（LTE） | LTE（VoLTE） 約2210分 |
| | | LTE（VoLTE（HD+）） 約2010分 |
| | | LTE（VoLTE：ビデオコール） 約500分 |
| 充電時間 | | ACアダプタ 08：約75分※4 |
| 無線LAN | 対応規格 | IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax準拠<br>（IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz）<br>（IEEE802.11ax対応周波数帯：2.4GHz/5GHz/6GHz（Wi-Fi 6E））|
| Bluetooth機能 | バージョン※5 | 5.3 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| カメラ | 撮像素子 | 種類 | 超広角カメラ：裏面照射型CMOS<br>広角カメラ：裏面照射型CMOS<br>望遠（3倍）カメラ：裏面照射型CMOS<br>望遠（10倍）カメラ：裏面照射型CMOS<br>フロントカメラ：裏面照射型CMOS |
| | 有効画素数 | | 超広角カメラ：約1200万画素<br>広角カメラ：約20000万画素<br>望遠（3倍）カメラ：約1000万画素<br>望遠（10倍）カメラ：約1000万画素<br>フロントカメラ：約1200万画素 |
| 伝言メモ | 保存可能件数 | | 制限なし※6 |
| | 1件あたりの最大録音可能時間 | | 最大13時間 |

※1　メモリ容量は、撮影した動画や静止画、ダウンロードしたアプリやデータなどの保存にすべての容量を使用することはできません。使用可能な空き容量については、「ストレージ」（P.117）をご参照ください。
※2　連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。連続待受時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
※3　連続通話時間は、設定状況、使用環境や通話・メール・カメラなどのご利用頻度により、大きく変動します。
各種機能のご利用頻度が多い場合、実際の時間は半分以下になることがあります。
※4　「急速充電」をONにした際の数値です。ホーム画面で⊞→「設定」→「バッテリーとデバイスケア」→「バッテリー」→「その他のバッテリー設定」→「急速充電」で設定できます。
※5　Bluetooth機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、データのやりとりができない場合があります。
※6　最大保存件数は本端末のメモリの空き容量により異なります。

### □ Sペン SC07

| | |
|---|---|
| 長さ | 長さ：約105mm |
| 重量 | 約3g |

# 携帯電話機の電波防護への適合性について（SC-51D）

## 携帯電話機の電波防護への適合性

**この機種【SC-51D】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。**

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）を遵守するよう設計されています。この技術基準は、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）や米国電気電子学会（IEEE）電磁界安全に係る国際委員会（ICES）が定める電波防護許容値との整合性を考慮しつつ国が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate、6GHz以下の周波数の場合）および電力密度（PD: Power Density、6GHzを超える周波数の場合）で定めており、携帯電話機に対するSAR、PDの許容値はそれぞれ2W/kg、2mW/cm$^2$です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が1以下であれば、許容値を満足しています。

この携帯電話機の総合照射比は、側頭部における最大値：0.903（※2）、身体に装着した場合の最大値：0.992（※3）となっています（※4）。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SAR、PDはより小さい値となります。個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準に適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones

携帯電話機の電波防護について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html

ドコモのホームページ
https://www.docomo.ne.jp/product/sar/

Samsungのホームページ (※5)
https://www.samsung.com/sar/sarMain.do
→LOCATION欄で「JAPAN」→Phone Model欄で「SC-51D」を入力→「GO」

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※3 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※4 この携帯電話機の総合照射比を算出するために使用した値は、側頭部：SAR 1.165 W/kg、PD 0.640 mW/cm$^2$、身体装着時：SAR 0.654 W/kg、PD 1.329 mW/cm$^2$です。
※5 総合照射比を算出するために使用したSAR値とホームページに掲載のSAR値は異なる場合があります。

## Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Phones

**This model [SC-51D] mobile phone complies with the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves.**

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves (*1). These technical regulations are consistent with the limits of human exposure to radio waves established by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the International Committee on Electromagnetic Safety (ICES) in the IEEE. The permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations set out the limits of exposure to radio waves as the SAR (Specific Absorption Rate, for up to 6 GHz) and the PD (Power Density, for above 6 GHz), and the limits for the SAR and the PD for mobile phones are 2 W/kg and 2 mW/cm$^2$, respectively. If mobile phone supports simultaneous transmission of the frequency bands which should be evaluated in the SAR and PD, the technical regulations require that the Total Exposure Ratio (TER) should be used to indicate its compliance. The TER of less than or equal to 1 indicates the mobile phone satisfies the limits.
The TER for this mobile phone when tested for use near the head is 0.903 (*2), and that when worn on the body is 0.992 (*3) (*4). There may be slight differences of the SAR and PD values in individual product, but they all satisfy the limits. The actual values of SAR and PD of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding protection against human exposure to radio waves.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm

Association of Radio Industries and Businesses Website:
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.docomo.ne.jp/english/product/sar/

Samsung Website(*5):
https://www.samsung.com/sar/sarMain.do
→ Select "JAPAN" from "LOCATION" → Type "SC-51D" in Phone Model field → "GO"

*1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
*4 The SAR and PD values used for obtaining TER for this mobile phone are: SAR of 1.165 W/kg and PD of 0.640 mW/cm$^2$ for use near the head, and SAR of 0.654 W/kg and PD of 1.329 mW/cm$^2$ when worn on the body.
*5 The SAR values used for obtaining TER for this mobile phone and the SAR values posted on Website may be different.

## FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

### Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

## FCC RF exposure information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves (radio frequency electromagnetic fields) adopted by the Federal Communications Commission (FCC).
These limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 1.6 W/kg.
Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.
The highest SAR values under the FCC guidelines for this device model are:

Head：0.89 W/kg
Body-worn accessory : 0.48 W/Kg

During use, the actual SAR values for this device are usually well below the values stated above.
This is because, for purposes of system efficiency and to minimize interference on the network, the operating power of your mobile device is automatically decreased when full power is not needed for the call.
The lower the power output of the device, the lower its SAR value.

Body-worn SAR testing has been carried out at a separation distance of 1.5 cm. To meet RF exposure guidelines during body-worn operation,
the device should be positioned at least this distance away from the body.

Organizations such as the World Health Organization and the US Food and Drug Administration have suggested that if people are concerned and want to reduce their exposure, they could use a hands-free accessory to keep the wireless device away from the head and body during use, or reduce the amount of time spent using the device.

Note:
The maximum SAR value listed above is the value recorded for the latest version of this handset.
Earlier versions may have different measured SAR values, which are detailed in the User Manuals that accompany those handsets.

## Body-worn operation

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of
https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on FCC ID A3LSMS911JPN.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at https://www.ctia.org/.

## European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves (radio frequency electromagnetic fields) recommended by international guidelines. The guidelines were developed by an independent scientific organization (ICNIRP) and include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg.
Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.
The highest SAR values under the ICNIRP guidelines for this device model are:

Head SAR : 0.910 W/Kg
Body SAR : 1.521 W/Kg

During use, the actual SAR values for this device are usually well below the values stated above.
This is because, for purposes of system efficiency and to minimize interference on the network, the operating power of your mobile device is automatically decreased when full power is not needed for the call.
The lower the power output of the device, the lower its SAR value.

Body-worn SAR testing has been carried out at a separation distance of 0.5 cm.
To meet RF exposure guidelines during body-worn operation, the device should be positioned at least this distance away from the body.

Organizations such as the World Health Organization and the US Food and Drug Administration have suggested that if people are concerned and want to reduce their exposure, they could use a hands-free accessory to keep the wireless device away from the head and body during use, or reduce the amount of time spent using the device.

Note:
The maximum SAR value listed above is the value recorded for the latest version of this handset.
Earlier versions may have different measured SAR values, which are detailed in the User Manuals that accompany those handsets.

## Declaration of Conformity

SAMSUNG

### Declaration of Conformity

**Manufacturer**

Name : Samsung
Registered trade name : Samsung Electronics Co., Ltd.
Address : 129 Samsung-ro, Yeongtong-gu, Suwon-si, Gyeonggi-do, Korea

**Product details**

For the following
Product : Mobile Phone
Model(s) : SC-51D

**Declaration & Applicable standards**

We hereby declare under our sole responsibility, that the product above is in compliance with the essential requirements of the Radio Equipment Directive (2014/53/EU) by application of:

| | | |
|---|---|---|
| SAFETY | EN 50360 : 2017 | EN 50566 : 2017 |
| | EN 50663 : 2017 | EN 62311 : 2008 |
| | EN IEC 62368-1:2020 +A11:2020 | EN IEC 62368-3 : 2020 |
| | IEC/IEEE 62209-1528 :2020 | |
| EMC | EN 301 489-1 V2.2.3 | EN 301 489-17 V3.2.4 |
| | EN 301 489-19 V2.1.1 | EN 301 489-3 V2.1.1 |
| | EN 301 489-52 V1.2.1 | EN 55035:2017 + A11:2020 |
| RADIO | 3GPP TS 38.521-1 V17.6.1 | 3GPP TS 38.521-3 V17.6.0 |
| | Draft EN 303 687 V1.0.0 | EN 300 328 V2.2.2 |
| | EN 300 330 V2.1.1 | EN 300 440 V2.1.1 |
| | EN 301 511 V12.5.1 | EN 301 893 V2.1.1 |
| | EN 301 908-1 V15.1.1 | EN 301 908-13 V13.1.1 |
| | EN 301 908-2 V13.1.1 | EN 303 345-3 V1.1.1 |
| | EN 303 413 V1.2.1 | EN 303 417 V1.1.1 |
| OTHER | Regulation (EU) 2019/320 | |

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment by application of EN IEC 63000:2018

and the Eco-Design Directive (2009/125/EC) implemented by Regulation (EC) No 1275/2008 for standby and off mode, and network standby, electric power consumption using test methods from EN 50564:2011

The Notified Body TÜV SÜD Denmark, 2443 has reviewed the technical file for the product to assess the compliance of the product with requirements of the RED 2014/53/EU and has issued the EU-type examination certificate:DK-RED002655 i01

**Signed for and on behalf of : Samsung**

Samsung
Euro QA Lab
Saxony Way, Yateley,
GU46 6GG UK

2023.02.09
(Place and date of issue)

Stephen Colclough / Director of Regulatory Affairs
(Name and signature of authorised person)

* This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

# 携帯電話機の電波防護への適合性について（SC-52D）

## 携帯電話機の電波防護への適合性

**この機種【SC-52D】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。**

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）を遵守するよう設計されています。この技術基準は、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）や米国電気電子学会（IEEE）電磁界安全に係る国際委員会（ICES）が定める電波防護許容値との整合性を考慮しつつ国が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準は電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate、6 GHz以下の周波数の場合）および電力密度（PD: Power Density、6 GHzを超える周波数の場合）で定めており、携帯電話機に対するSAR、PDの許容値はそれぞれ2 W/kg、2 mW/cm$^2$です。また、それぞれの指標で評価すべき無線機能が同時に動作する場合には、総合照射比で示すことを規定しています。総合照射比が1以下であれば、許容値を満足しています。

この携帯電話機の総合照射比は、側頭部における最大値：0.891（※2）、身体に装着した場合の最大値：0.708（※3）となっています（※4）。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SAR、PDはより小さい値となります。個々の製品によってこれらの数値に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準に適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones

携帯電話機の電波防護について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html

ドコモのホームページ
https://www.docomo.ne.jp/product/sar/

Samsungのホームページ (※5)
https://www.samsung.com/sar/sarMain.do
→LOCATION欄で「JAPAN」→Phone Model欄で「SC-52D」を入力→「GO」

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※3 5G/LTEと同時に使用可能な無線機能を含みます。
※4 この携帯電話機の総合照射比を算出するために使用した値は、側頭部：SAR 0.692 W/kg、PD 1.090 mW/cm$^2$、身体装着時：SAR 0.815 W/kg、PD 0.600 mW/cm$^2$です。
※5 総合照射比を算出するために使用したSAR値とホームページに掲載のSAR値は異なる場合があります。

## Compliance Information on Human Exposure to Radio Waves of Mobile Phones

**This model [SC-52D] mobile phone complies with the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves.**

This mobile phone was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding human exposure to radio waves (*1). These technical regulations are consistent with the limits of human exposure to radio waves established by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the International Committee on Electromagnetic Safety (ICES) in the IEEE. The permissible limits include substantial safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations set out the limits of exposure to radio waves as the SAR (Specific Absorption Rate, for up to 6 GHz) and the PD (Power Density, for above 6 GHz), and the limits for the SAR and the PD for mobile phones are 2 W/kg and 2 mW/cm$^2$, respectively. If mobile phone supports simultaneous transmission of the frequency bands which should be evaluated in the SAR and PD, the technical regulations require that the Total Exposure Ratio (TER) should be used to indicate its compliance. The TER of less than or equal to 1 indicates the mobile phone satisfies the limits.
The TER for this mobile phone when tested for use near the head is 0.891 (*2), and that when worn on the body is 0.708 (*3) (*4). There may be slight differences of the SAR and PD values in individual product, but they all satisfy the limits. The actual values of SAR and PD of this mobile phone while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

This mobile phone can be used in positions other than against your head. By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body, this mobile phone is certified the compliance with the Japanese technical regulations.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

https://www.who.int/news-room/fact-sheets/detail/electromagnetic-fields-and-public-health-mobile-phones

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding protection against human exposure to radio waves.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm

Association of Radio Industries and Businesses Website:
https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html (in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:
https://www.docomo.ne.jp/english/product/sar/

Samsung Website(*5):
https://www.samsung.com/sar/sarMain.do
→ Select "JAPAN" from "LOCATION" → Type "SC-52D" in Phone Model field → "GO"

*1 The technical regulations are provided in Article 14-2 of Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.
*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
*3 Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.
*4 The SAR and PD values used for obtaining TER for this mobile phone are: SAR of 0.692 W/kg and PD of 1.090 mW/cm$^2$ for use near the head, and SAR of 0.815 W/kg and PD of 0.600 mW/cm$^2$ when worn on the body.
*5 The SAR values used for obtaining TER for this mobile phone and the SAR values posted on Website may be different.

## FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

### Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

## FCC RF exposure information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves (radio frequency electromagnetic fields) adopted by the Federal Communications Commission (FCC).
These limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 1.6 W/kg.
Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.
The highest SAR values under the FCC guidelines for this device model are:

Head：0.78 W/kg
Body-worn accessory : 0.45 W/Kg

During use, the actual SAR values for this device are usually well below the values stated above.
This is because, for purposes of system efficiency and to minimize interference on the network, the operating power of your mobile device is automatically decreased when full power is not needed for the call.
The lower the power output of the device, the lower its SAR value.

Body-worn SAR testing has been carried out at a separation distance of 1.5 cm. To meet RF exposure guidelines during body-worn operation,
the device should be positioned at least this distance away from the body.

Organizations such as the World Health Organization and the US Food and Drug Administration have suggested that if people are concerned and want to reduce their exposure, they could use a hands-free accessory to keep the wireless device away from the head and body during use, or reduce the amount of time spent using the device.

Note:
The maximum SAR value listed above is the value recorded for the latest version of this handset.
Earlier versions may have different measured SAR values, which are detailed in the User Manuals that accompany those handsets.

## Body-worn operation

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of
https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid after searching on FCC ID A3LSMS918JPN.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at https://www.ctia.org/.

本端末とSペン SC07はFederal Communications Commission (FCC)の承認を取得しています。
本端末とSペン SC07のFCC IDは、以下の手順で確認できます。
ホーム画面で⊞→「設定」→「端末情報」→「ステータス情報」

## European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves (radio frequency electromagnetic fields) recommended by international guidelines. The guidelines were developed by an independent scientific organization (ICNIRP) and include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg.
Tests for SAR are conducted using standard operating positions with the device transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands.
The highest SAR values under the ICNIRP guidelines for this device model are:

Head SAR : 0.694 W/Kg
Body SAR : 1.565 W/Kg

During use, the actual SAR values for this device are usually well below the values stated above.
This is because, for purposes of system efficiency and to minimize interference on the network, the operating power of your mobile device is automatically decreased when full power is not needed for the call.
The lower the power output of the device, the lower its SAR value.

Body-worn SAR testing has been carried out at a separation distance of 0.5 cm.
To meet RF exposure guidelines during body-worn operation, the device should be positioned at least this distance away from the body.

Organizations such as the World Health Organization and the US Food and Drug Administration have suggested that if people are concerned and want to reduce their exposure, they could use a hands-free accessory to keep the wireless device away from the head and body during use, or reduce the amount of time spent using the device.

Note:
The maximum SAR value listed above is the value recorded for the latest version of this handset.
Earlier versions may have different measured SAR values, which are detailed in the User Manuals that accompany those handsets.

## Declaration of Conformity

SAMSUNG

### Declaration of Conformity

**Manufacturer**

Name : Samsung
Registered trade name : Samsung Electronics Co., Ltd.
Address : 129 Samsung-ro, Yeongtong-gu, Suwon-si, Gyeonggi-do, Korea

**Product details**

For the following
Product : Mobile Phone
Model(s) : SC-52D

**Declaration & Applicable standards**

We hereby declare under our sole responsibility, that the product above is in compliance with the essential requirements of the Radio Equipment Directive (2014/53/EU) by application of:

| | | |
|---|---|---|
| SAFETY | EN 50360 : 2017 | EN 50566 : 2017 |
| | EN 50663 : 2017 | EN 62311 : 2008 |
| | EN IEC 62368-1:2020 +A11:2020 | EN IEC 62368-3 : 2020 |
| | IEC/IEEE 62209-1528 :2020 | |
| EMC | EN 301 489-1 V2.2.3 | EN 301 489-17 V3.2.4 |
| | EN 301 489-19 V2.1.1 | EN 301 489-3 V2.1.1 |
| | EN 301 489-33 V2.2.1 | EN 301 489-52 V1.2.1 |
| | EN 55035:2017 + A11:2020 | |
| RADIO | 3GPP TS 38.521-1 V17.6.1 | 3GPP TS 38.521-3 V17.6.0 |
| | Draft EN 303 687 V1.0.0 | EN 300 328 V2.2.2 |
| | EN 300 330 V2.1.1 | EN 300 440 V2.1.1 |
| | EN 301 511 V12.5.1 | EN 301 893 V2.1.1 |
| | EN 301 908-1 V15.1.1 | EN 301 908-13 V13.1.1 |
| | EN 301 908-2 V13.1.1 | EN 302 065-1 V2.1.1 |
| | EN 303 345-3 V1.1.1 | EN 303 413 V1.2.1 |
| | EN 303 417 V1.1.1 | |
| OTHER | Regulation (EU) 2019/320 | |

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment by application of EN IEC 63000:2018

and the Eco-Design Directive (2009/125/EC) implemented by Regulation (EC) No 1275/2008 for standby and off mode, and network standby, electric power consumption using test methods from EN 50564:2011

The Notified Body TÜV SÜD Denmark, 2443 has reviewed the technical file for the product to assess the compliance of the product with requirements of the RED 2014/53/EU and has issued the EU-type examination certificate:DK-RED002656 i01

**Signed for and on behalf of : Samsung**

Samsung
Euro QA Lab
Saxony Way, Yateley,
GU46 6GG UK

2023.02.17
(Place and date of issue)

Stephen Colclough / Director of Regulatory Affairs
(Name and signature of authorised person)

* This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

## 輸出管理規制

本製品及び付属品は、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国再輸出規制の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。

## 知的財産権

### 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

### 肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

### 商標について

- 「FOMA」「マチキャラ」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「おまかせロック」「イマドコサーチ」「エリアメール」「eトリセツ」「おサイフケータイ」「dマーケット」「dメニュー」「dフォト」「my daiz」「ahamo」および「おサイフケータイ」ロゴ、「ドコモデータコピー」ロゴ、「ドコモ電話帳」ロゴ、「dmarket」ロゴ、「dmenu」ロゴ、「iD」ロゴ、「dフォト」ロゴは（株）NTTドコモの商標または登録商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。

Bluetooth®

- Wi-Fi Certified® とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。




- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2023 All Rights Reserved.
- 「Disney DX」アプリには、ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。
  利用条件は利用規約（ディズニー）をご覧ください。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby Atmos及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- その他本書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

## HEVC Advance




## その他

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

# 索引

## 索引

## かな

## あ


アカウント…… 114
　削除…… 114
　設定…… 31
アクセスポイント
　初期化…… 101
　設定…… 101
アプリ…… 118
アプリ画面…… 53
暗証番号
　PINコード …… 31
　PINロック解除コード（PUK）…… 32
　ネットワーク暗証番号…… 31
位置情報…… 91
印刷…… 128
インテリジェント機能…… 83
ウェブブラウザ…… 77
エッジパネル…… 57
おサイフケータイ…… 88
音量を調節する…… 105


## か


海外で利用可能なサービス…… 130
顔認証…… 111
カメラ…… 78
　カメラの設定…… 80
　撮影画面の見かた…… 78
　静止画の撮影…… 79
　動画の撮影…… 79
画面ロックの解除方法を設定する…… 109
画面ロックを解除する…… 29
画面ロックを設定する…… 29
カレンダー…… 93
かんたんモード…… 106
キーボードの種類（入力方法）を切り替える…… 39
機内モード…… 100
キャッチホン…… 66
ギャラリー…… 85
緊急速報「エリアメール」…… 76
緊急通報…… 59
公共モード（電源OFF）設定…… 66
国際電話（WORLD CALL）…… 64
国際ローミング（WORLD WING）…… 130


## さ


最近使用したアプリの一覧…… 44
指定した電話番号からの着信やSMSをブロックする …… 66
自分の電話番号を確認…… 122
指紋認証…… 111
充電…… 27
仕様…… 142
省電力モード…… 117
初期設定…… 30
スーパースローモーション…… 84
スクリーンキャプチャ…… 34
スクロール…… 33
ステータスバー…… 42
　主なステータスアイコン…… 42
　主な通知アイコン…… 42
ストレージ…… 117
スワイプ…… 33
静止画
　撮影…… 79
　表示…… 85
設定メニュー…… 97
ソフトウェアアップデート…… 140

## た


**タッチスクリーン**…… **33**
**タップ**…… **33**
**ダブルタップ**…… **33**
**着信音**
　設定…… 105
**着信拒否**…… **60**
　SMSで送信する拒否理由を登録する …… 66
　メッセージを送信…… 60
**通知音**
　設定…… 105
**通知パネル**…… **43**
**通話設定**…… **64**
**通話履歴**…… **62**
**ディスプレイ**…… **106**
**ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える**…… **34**
**データ使用量**…… **101**
**電源を入れる／切る**…… **29**
**伝言メモ**…… **63**
**転送でんわサービス**…… **66**
**電卓**…… **95**
**電話帳**…… **67**
　電話をかける…… 68
　登録…… 67
**電話を受ける**…… **60**
**電話をかける**…… **58**
　電話帳…… 68
　履歴…… 62
**動画**
　再生…… 85
　撮影…… 79
**時計**…… **92**
　アラーム…… 92
　ストップウォッチ…… 92
　世界時計…… 92
　タイマー…… 92
**ドコモアプリ管理**…… **115**
**ドコモデータコピー**…… **96**
**ドコモメール**…… **70**
**ドラッグ**…… **33**
**トラブルシューティング（FAQ）** …… **136**


## な


**内蔵電池**
　充電時間…… 142, 143
　内蔵電池の寿命について…… 27
　連続通話時間…… 142, 143
　連続待受時間…… 142, 143
**ナビゲーションバー**…… **34**


## は


**バイブのパターンを設定**…… **105**
**パソコンとの接続**
　USBケーブル A to Cで接続…… 127
**発信者番号通知**…… **66**
**ビデオコール**
　通話中の画面…… 61
**ピンチアウト**…… **34**
**ピンチイン**…… **34**
**フリック**…… **33**
**分割画面表示**…… **45**
**便利な機能**…… **35**
**ボイスレコーダー**…… **95**
**防水／防塵性能**…… **18**
**ホーム画面の見かた**…… **47**


## ま


**マイファイル**…… **123**
**マイマガジン**…… **50**
**マナーモード**…… **105**
**メール**…… **70**
　＋メッセージ…… 70
　Eメール …… 74
　Gmail …… 75
　ドコモメール…… 70

文字入力 39
切り取り 40
コピー 40
設定 41
貼り付け 40

## ら

留守番電話サービス 66
ロック画面 30
ロングタッチ 33

## 英数字

ACアダプタ 27
充電 27
Always On Display 39
AR手描き 85
Bixby Vision 82
Bluetooth 125
docomo LIVE UX 47
dメニュー 87
eSIM 26
Eメール 74
アカウントを設定 74
作成して送信 74
受信 74
設定 74
Galaxy Store 88
Gmail 75
Google Play 87
Googleマップ 91
GPS 91
nanoSIMカード 22
PINコード 31
取り付ける 22, 24
取り外す 23, 25
NFC／おサイフケータイ 設定 100
One UIホーム 52
Playストア 87
Samsung Notes 93
Samsung Pass 112
Samsungアカウント 31
Samsungキーボード 39
キーボードの種類 39
SIMカードロック設定 32
Smart Switch 127
Smart View 129
Sペン（SC-52Dのみ） 36
VPN 103
Wi-Fi 98

## 記号

＋メッセージ 70
スレッドを削除 73
設定 73
メッセージを削除 73
メッセージを送信 71
メッセージを転送 72
メッセージを読む 72

## マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

### こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

### こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合
自動車、原動機付自転車、自転車などを運転中の使用にはご注意ください。法令で定める場合を除き、運転中に本端末の画面を注視したり、手で持って通話することは、罰則の対象となります。

■ 劇場・映画館・美術館・図書館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

### 使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

### プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

### 歩きながらのスマートフォンの使用はやめましょう

■ スマートフォンや携帯電話の画面を見つめながらの歩行は大変危険です。視野が極端に狭くなり、自分自身だけでなく、周囲の方も巻き込む事故につながることもあります。

■ スマートフォンを使用する際は、安全な場所で立ち止まって使用するようにしてください。

### こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）（P.66）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスを流し、自動的に電話を終了します。

■ バイブ（P.105）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード（バイブ、サイレント）（P.105）
キー確認音・着信音など本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス（P.66）、転送でんわサービス（P.66）などのオプションサービスが利用できます。

## オンラインでのご利用料金・ご利用データ量・ご契約内容の確認・各種お手続きなど

本端末から　dメニュー → My docomo
パソコンから　My docomo（https://www.docomo.ne.jp/mydocomo/）

● システムメンテナンスやご契約内容などにより、ご利用になれない場合があります。
●「My docomo」のご利用には、「ネットワーク暗証番号」や「dアカウントのID／パスワード」が必要です。

## 海外からのお問い合わせ先（紛失・盗難・つながらない場合など）

■ ドコモの携帯電話からの場合

「+」を画面表示　**-81-3-6832-6600（無料）**

（「+」は「0」をロングタッチします。）
※「+」発信のかわりに国際電話アクセス番号でも発信できます。

■ 一般電話などからの場合

滞在国の国際電話アクセス番号　**-81-3-6832-6600（有料）**

※ 日本向け通話料がかかります。
※ 国際電話アクセス番号については、ドコモのホームページをご覧ください。

受付時間　24時間（年中無休）

● 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
● 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
● お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱拠点へご持参ください。




ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

## 総合お問い合わせ

お問い合わせはこちら▶

ドコモのホームページ

https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/

## ahamo プランをご契約のお客様

■ 故障等のお問い合わせ

ahamo のホームページ

https://ahamo.com/

## 試供品のお問い合わせ先

■ Samsung カスタマーサポートセンター
https://www.samsung.com/jp/support/

● 試供品については、本書内でご確認ください。

危険です、歩きスマホ。

キケン！水ぬれ充電

あぶない！電池への衝撃

Li-ion 00

## 総合お問い合わせ先
## ＜ドコモ インフォメーションセンター＞

ドコモの携帯電話専用窓口(無料)

※ 一般電話などからはご利用になれません。

151

受付時間　午前 9:00 ～ 午後 8:00（年中無休）

## 故障お問い合わせ・修理お申込み先

ドコモの携帯電話専用窓口(無料)

※ 一般電話などからはご利用になれません。

113

一般電話などから

※ 一部の IP 電話からは接続できない場合があります。

0120-800-000

受付時間　24 時間（年中無休）

● 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
● 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモのホームページにてお近くのドコモショップなどをご確認の上、お問い合わせください。
● オンライン修理受付サービスについては、ドコモのホームページをご覧ください。

ドコモのホームページ

https://www.docomo.ne.jp/support/inquiry/repair/

販売元　株式会社 NTT ドコモ
'23.3（1 版）